令和６年度

事 業 報 告

社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会

目　次

１　概況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２　具体的事業の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
３　業務の適正を確保するための体制の整備と運用状況・・・・８
４　事項別報告
Ⅰ 総務企画部
【総務経営班・法人運営事業関係】
１　法人運営及び関係機関・団体（会員）との連携強化・・・・・・・ 9
２　法人運営基盤の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
【総務経営班・社会福祉事業従事者福利厚生事業及び表彰事業関係】
１　社会福祉事業従事者の福利厚生事業等への取組・・・・・・・・・20
【企画班・市町村社協活動支援事業関係】
１　市町村社会福祉協議会の活動支援、地域福祉の推進・・・・・・・24
２　和歌山県民生委員児童委員協議会との連携、民生委員・児童委員
活動の支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
【企画班・施設関係】
１　「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト」
を通じ、地域を支える社会福祉法人の活動を支援・・・・・・・・・34
２　社会福祉法人（社会福祉施設）をはじめとする関係団体との連携
強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
【企画班・企画調整関係】
１　新たな福祉課題（分野）への対応と地域福祉推進フォーラムの
開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
Ⅱ 地域福祉部
【地域福祉班・地域福祉権利擁護事業関係】
１　日常生活自立支援事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・47
２　成年後見制度利用促進基本計画に基づく取組促進への協力・・・・48
３　問題の深刻化の予防・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51
４　事業開始時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51
５　本事業にかかる一部業務委託・・・・・・・・・・・・・・・・・51
６　契約締結審査会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
７　専門員・生活支援員の研修実施状況・・・・・・・・・・・・・・56
８　広報・啓発実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
【生活資金班・生活福祉資金等貸付事業関係】
１　特例貸付借受世帯等に対する生活支援及び適正な債権管理・・・・62
２　生活福祉資金等貸付事業の効果的な運営（適正な貸付け・債権管理）　・64
３　臨時特例つなぎ資金貸付制度の運用・・・・・・・・・・・・・・68

【生活資金班・福祉人材確保等にかかる返還免除付き貸付事業関係】
1　福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業の広報啓発及び適正な貸付の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・69
2　福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業の適正な債権管理の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・74
3　運営委員会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・75
4　その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・76
【ボランティア振興班・ボランティアセンター事業・災害ボランティアセンター事業関係】
1　広域におけるボランティア活動支援機能の強化・・・・・・・・・・93
2　大規模災害における県災害ＶＣの機能・体制を強化・・・・・・・・98
【健康生きがい班・和歌山県いきいき長寿社会センター事業関係】
1　地域活動を行うシニアリーダー養成・・・・・・・・・・・・・・・ 103
2　高齢者の生きがいづくり・健康増進・・・・・・・・・・・・・・・ 107
3　社会参加活動を希望する高齢者と企業や団体、学校等を結びつける取組を推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・109
4　その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・110
Ⅲ 福祉人材研修部
【福祉人材センター事業関係】
1　福祉人材の確保・定着支援、福祉の魅力発信 ・・・・・・・・・・111
2　福祉人材の育成と定着の促進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・127
3　社会福祉事業従事者を育成するため、階層別・課題別・資格取得支援研修の充実、強化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・128
4　介護支援専門員実務研修受講試験の実施 ・・・・・・・・・・・・133
5　その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・134
Ⅳ 福祉介護サービス評価センター
【福祉介護サービス評価センター関係】
1　受審事業所数の拡大と評価の質の向上 ・・・・・・・・・・・・・135
Ⅴ 和歌山県福祉サービス運営適正化委員会
【和歌山県福祉サービス運営適正化委員会関係】
1　和歌山県福祉サービス運営適正化委員会の組織・委員等 ・・・・137
2　福祉サービス運営適正化委員会（全体会議）の開催 ・・・・・・138
3　福祉サービスに関する苦情への対応 ・・・・・・・・・・・・・・138
4　苦情解決システムの機能強化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・140
5　福祉サービス利用援助事業の運営監視 ・・・・・・・・・・・・・140
6　福祉サービス運営適正化委員会全般にかかる事業の実施 ・・・・143

1 概況報告

令和６年度は、「ともに生きる地域社会（わかやま）の実現をめざして ～ふだんのくらしのしあわせをみんなの力でつくります～」を基本理念とする第６次和歌山県社会福祉協議会活動計画の５か年計画の第三年次として、新たに掲げた６つの重点目標を達成するべく、それぞれの事業に取り組みました。

≪６つの重点目標≫							総務企画部	地域福祉部	福祉人材研修部	福祉介護サービス評価センター	運営適正化委員会
	１ 社会的孤立への対応										
		２ 市町村社協とともに地域福祉の基盤づくり									
			３ 相談支援・生活支援と権利擁護の充実								
				４ 多様な主体や社会資源がつながる地域づくりの支援							
					５ 地域福祉を支える組織や専門職の確保・養成						
						６ 自然災害への対応					
具体的事業	○	○	○	○	○	○	①市町村社協活動支援事業	○				
	○	○	○				②生活福祉資金等貸付事業		○			
	○	○	○				③日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護・成年後見支援)		○			
	○	○	○	○		○	④民生委員・児童委員協議会活動との連携・協働	○				
	○	○		○	○	○	⑤ボランティアセンター事業		○			
	○	○		○	○	○	⑥災害ボランティアセンター事業		○			
	○			○			⑦いきいき長寿社会センター事業		○			
	○	○	○	○	○	○	⑧制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト	○				
	○		○	○	○	○	⑨社会福祉施設・団体との連携強化及び支援事業	○				
					○		⑩福祉人材センター事業			○		
	○		○		○		⑪福祉人材確保等にかかる返還免除付き貸付事業		○			
					○		⑫福祉介護サービス評価センター事業				○	
					○		⑬民間社会福祉事業従事者共済事業・福利厚生センター受託事業	○				
			○		○		⑭福祉サービス運営適正化委員会事業					○

「６つの重点目標」に基づく取組の特徴は次のとおりでした。その後に、14 の具体的事業の実施状況及び「事項別報告」で事業取組の詳細を各部署別に記載しています。

１ 「社会的孤立への対応」では、県市町村社協連絡協議会と連携し、特例貸付借受人等生活困窮者への支援をはじめとする４つのテーマで業務課題検討会を開催し、それらの検討内容を踏まえ研修会等の企画・実施に取り組みました。

２ 「市町村社協とともに地域福祉の基盤づくり」では、地域において「個別（相談）支援」「地域づくり支援」を担う人材の育成及び資質向上を目的に、「地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会」を開催しました。

３ 「相談支援・生活支援と権利擁護の充実」では、成年後見制度の利用を促進するため、専門的な助言を必要とする市町村及び市町村社協に対し、アドバイザーを派遣し中核機関設置のサポートを行いました（中核機関設置済 R5：11 市町→R6：22 市町）。また、市町村社協が抱える福祉サービス利用援助事業での困難事例に対し、市町村社協法律相談支援事業を実施し、弁護士からアドバイスを受け、課題対応を図りました。

４ 「多様な主体や社会資源がつながる地域づくりの支援」では、わかやま市民生活協同組合、㈱オークワ、㈱セブンーイレブン・ジャパンとの協定により寄贈いただいた食品や雑貨等を、市町村社会福祉協議会を通じて地域住民や社会福祉施設等へ配分しました。

５ 「地域福祉を支える組織や専門職の確保・養成」では、求職者と求人事業所との効果的なマッチングを行うため、ハローワークとのさらなる連携強化を図りました。また、介護分野における生産性向上の取組を支援するための相談窓口を設置しました。

６ 「自然災害への対応」では、能登半島被災地への支援として、県内社協職員の派遣及びボラ

ンティアバスの運行を行うとともに、県内支援者の活動報告及び課題整理に取り組みました。また、広域訓練を開催し、近年の災害からの学びを踏まえた活動を実践するとともに、市町村社協等関係機関実施の研修・訓練に参画し、講義や助言による支援を行いました。このほか、「災害福祉支援ネットワーク・災害派遣福祉チーム（ＤＷＡＴ）」の運営では、新たに３４名をチーム員登録しました。

２ 具体的事業の実施状況

（１）市町村社協活動支援事業（総務企画部 企画班）

地域共生社会の実現に向け、地域において「個別（相談）支援」「地域づくり支援」を担う人材の育成及び資質向上を目的に、市町村社協・社会福祉施設・市町村（行政）職員等を対象とした「地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会」を３回シリーズで開催しました。

また、県市町村社協連絡協議会と連携し、特例貸付借受人等生活困窮者への支援や災害時の社協活動など、4 つのテーマで業務課題検討会を開催しました。それらの検討内容を踏まえ研修会等の企画・実施に取り組みました。

企業の CSR（社会貢献活動）との連携では、わかやま市民生活協同組合（4 月 25 日締結）、（株）オークワ及び（株）セブン - イレブン・ジャパンとの協定により寄贈いただいた食品や雑貨等を、市町村社協を通じて地域住民や社会福祉施設等へ配分しました。寄贈品をお届けすることを通じて、社会福祉施設等との関係性を構築する契機となっています。

災害対応では、令和 6 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震災害では令和 5 年度から引き続き、「社会福祉協議会における災害時の相互支援協定」を適用し、七尾市災害ボランティアセンター（石川県）運営支援のため、6 月 30 日まで市町村社協職員による応援派遣を実施しました（令和 6 年度の県内市町村社協職員延べ 18 名）。

災害対応・被災地支援の経験を通じ、今後もさらに、平時からの住民や地域の関係者と大切に、共に地域福祉を推進してまいります。

（２）生活福祉資金等貸付事業（地域福祉部 生活資金班）

生活福祉資金貸付事業は、社会福祉法第２条第２項第７号に規定されている生計困難者に対して無利子又は低利で資金を融通する事業です。

令和 2 年 3 月 25 日から申請受付を開始した新型コロナウイルス感染症にかかる特例貸付は、令和 4 年 9 月末で受付終了となり、32,043 件（13,006,989,500 円）の貸付決定を行いました。

また、特例貸付については、借受人及び世帯主が住民税非課税世帯に該当すること等により償還免除できるとされており、年度末までに 17,795 件（7,085,590,230 円）の償還免除（次年度非課税免除を含む）決定を行いました。

令和 5 年 1 月から順次償還が開始され、年度末の償還中債権は 11,320 件、その他は猶予期間中債権となっています。

なお、年度末の貸付中件数は 13,516 件（貸付中債権額約 56 億 6 千万円）で、内訳は通常貸付 1,035 件（約 7 億円）、特例貸付 12,481 件（約 49 億 6 千万円）になりました。

「償還履行者率（本会独自指標）」について、通常貸付の年度平均値は、61.4％（集計開始時・平成 19 年度末は 31.7％）、特例貸付の償還開始以降の平均値は、52.7％でした。

特例貸付においては、膨大な債権数に加え複雑な免除要件など、債権管理が煩雑になっていることに加え、借受人等への必要なフォローアップ支援・相談支援を実施していくことが課題です。

（３）日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護・成年後見支援）（地域福祉部 権利擁護班）

日常生活自立支援事業の中核である福祉サービス利用援助事業は、判断能力が不十分な高齢者、知的障がい、精神障がいのある方などに対して福祉サービスの利用援助や日常生活上の手続きに関する援助等、福祉サービス利用のための一連の援助を一体的に行うことにより、地域において自立した生活を送れるように支援する事業で、県内全市町村社協に委託して実施しました。併せて、市町村社協が抱える本事業の困難事例に対しては、市町村社協法律相談支援事業を実施し、弁護士よりアドバイスをいただいたうえ、課題対応を図りました。また、事業従事者の資質向上や事業の普及啓発等に取り組みました。

本年度の新規契約者数は 109 件、事業開始からの累計は 2,482 件、本年度末の実利用者は 723 名で、利用者数は年々増加しており、近年、障がい（知的、精神）のある方の利用割合が増加傾向にあります。

次に、成年後見制度の利用促進に向けた取組では、国が策定した「第二期成年後見制度利用促進基本計画」において、都道府県の機能強化として、市町村支援の強化を図ることが掲げられています。これを受け、令和 5 年度より成年後見制度利用促進に係る 4 事業（県域協議会運営、市町村長申立研修会、県域総合相談窓口の設置、アドバイザー派遣）を県から受託し市町村の体制整備（中核機関の設置等）の促進を図りました。また、県の「和歌山県成年後見制度に関する担い手の育成方針」の作成協力を行い、三士会（弁護士・司法書士・社会福祉士）・市町村・市町村社協から成る協議会において承認をいただきました。併せて、市町村・市町村社協が抱える成年後見制度利用促進についての種々の課題について、意見交換を図ったうえで、アドバイザーから助言を行い制度の利用促進を働きかけました。

今後も、生活課題が深刻になる前に支援できる、切れ目のない権利擁護体制構築を目指します。

（４）民生委員・児童委員協議会活動との連携・協働（総務企画部 企画班）

少子高齢化や人口減少・過疎化の進行、地域社会や家庭構造の著しい変化により、地域住民の生活課題が複合化・複雑化しており、民生委員・児童委員に求められる役割は広がっています。

本会では、広報誌やホームページを通じて民生委員・児童委員の活動（相談支援・生活支援等）の周知を図るとともに、県民生委員児童委員協議会が実施する新任民生委員・児童委員研修会で社協関連事業の説明を行う等、その活動支援に取り組みました。今後も、民生委員活動の情報収集・把握、広報啓発を行い、その「なり手」が広がるように、情報発信に取り組みます。

（５）ボランティアセンター事業（地域福祉部 ボランティア振興班）

ボランティア活動の重要な原則である「自主性・自発性」及びお互いさまという「互酬性」が損なわれることなく、ボランティアへの関心を高めるために、市町村社協ボランティア・市民活動センター並びにボランティア連絡協議会と連携しながら活動体験機会と情報の収集・提供に取り組みました。

社会福祉のためにと寄せられた善意の金員や関心を、実際の活動へとつなげることを目的としたボランティア活動交流普及事業では、３団体・４事業に助成支援を行いました。

また、市町村社協ボランティア・市民活動センター担当者会議では、全国ボランティア・市民活動振興センター発出の「市区町村社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター強化方策 2023」をベースに、ボランティア活動支援をめぐる潮流を学び、コーディネーターが直面している課題解

決に向けた取組の強化を促進しました。

さらに、全国福祉教育推進員研修への参加を促進し、修了者等実践者の学びの場としてプラットフォーム会議を開催し、県内の好事例等に学ぶなど、市町村社協における福祉教育実践の支援を図りました。

今後更に、地域共生社会の実現に向けて、一人ひとりのボランタリーな活動を応援し、幅広い層に対し、ボランティア活動の魅力や価値を発信し、ボランティア活動をしたいと思える環境づくりをすすめ、広域的なボランティア活動の振興を図ります。

（６）災害ボランティアセンター事業（地域福祉部 ボランティア振興班）

前年度に続き、能登半島地震における被災地支援としてボランティアバスを運行しました。県内支援者の振り返り会、防災ボランティア集会や防災デイキャンプを実施したほか、本会職員研修、市町村社協事務局長会議及び会長会議にて活動報告及び課題整理を行いました。

広域被災を想定し、県内支援者が合同実践する場として「広域・同時多発災害対応訓練（２月２３日、参加約４００名）」を紀北エリア（和歌山市、海南市、紀の川市）で実施しました。地域訪問、介助体験、災害ボランティアセンター運営支援システム（キントーン）の活用など、近年の災害からの学びを踏まえた活動を実践しました。また、県市町村社協連絡協議会と連携し、災害時の社協活動について課題を検討しました。

さらに、年間を通じて、市町村社協等関係機関実施の研修・訓練に参画し、講義や助言による支援を行ったほか、和歌山弁護士会との災害発生時における法律相談業務に関する協定締結、和歌山大学学生災害ボランティアステーションの運営支援、災害ボランティアセンター運営支援システムの試験導入、災害ボランティア活動支援資機材の配備などに取り組みました。

発生の切迫性が高まる南海トラフ巨大地震等に備え、様々な主体と連携し、「広域支援機能の強化」や「県内支援者の育成」に取り組み、災害時にも支え合える関係構築を促進します。

（７）いきいき長寿社会センター事業（地域福祉部 健康生きがい班）

人生を前向きに考え、地域活動や趣味活動などに参加している人は、健康で長生きすると言われていますが、その「健康長寿」に寄与するため、シニアのスポーツや文化活動、社会や地域に貢献する活動などを支援し、シニアが生きがいを持ち豊かな経験を活かして積極的に社会に参加することを目指し、各事業を進めてまいりました。

地域の日常的な支え合い活動を担うための人材養成を目的とした、いきいきシニアリーダーカレッジ（和歌山校、橋本校、田辺校）「シニアの住みよいまちづくり実践学科」を開講しました。各カレッジにおけるカリキュラムは、それぞれの地域のニーズにあった人材を養成するために各校と協議し、設定しました。

また、カレッジの受講者や修了者による活動を進めるため、アドバイザーの派遣等を行う「仲間づくり支援事業」に取り組み、地域活動の指導者等として活動していただきました。

次に和歌山県から委託を受け運営している「わかやま元気シニア生きがいバンク事業」については、新たな活動分野を開拓するとともに、ホームページを充実させバンク登録者の公開や、Ｗｅｂ上での登録や活用がスムーズに行えるよう改良を行い、幅広く利用していただけるよう広報を行いました。

次に、高齢者の生きがいと健康づくりを推進する事業としては、「紀の国いきいき健康長寿祭」の名称で、スポーツ交流大会及び文化交流大会を開催しました。

スポーツ交流大会は、卓球、ペタンク、グラウンド・ゴルフ、ボウリング、パークゴルフの５種

目を開催し、延べ 901 名の参加を得ました。

このほか、文化交流大会では、囲碁・将棋大会、健康マージャン大会、シルバー美術展を開催しました。

なお、紀の国いきいき健康長寿祭は、全国健康福祉祭（ねんりんピック）に出場する県代表選手（作品）の選考会を兼ねています。

第 36 回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取 2024）に、23 種目、監督・選手 139 名を派遣しました。

また、高齢者の生きがいとふれあい交流を目的とした「ふれあい作品展」を開催し、県内の老人福祉施設及び介護保険施設等の利用者が制作した手芸、工芸などの作品を展示しました。

今後、一層高齢化が進展するなかで、「健康な高齢者」を増やすために、いきいきシニアリーダーカレッジについては、参加者を増やすため今以上に魅力的なカリキュラムづくりに取り組むとともに、県内全域でスポーツ・文化交流大会を開催し、高齢者ニーズの高いニュースポーツを取り入れ、内容を充実してまいります。

（８）制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト

（総務企画部 企画班）

社会福祉法人制度改革により「地域における公益的な取組」が責務化され、さらには国が推進する「地域共生社会」の実現に向けて社会福祉法人がその一翼を担うことが求められている現状を踏まえ、平成 29 年度から本プロジェクト推進委員会を県社協に設置。制度の狭間にある様々な課題に対し、社会福祉法人（社会福祉施設）の力を結集した取組を推進しています。

令和２年以降の新型コロナウイルス感染症の影響により、集合型の委員会活動や地域に出向いての活動が実施しづらい状況が続いていましたが、令和６年度は下記のモデル（助成）事業や意識醸成・啓発活動等に取り組みました。

また、設置要綱を見直し、参画法人の負担金の軽減及び県社会福祉法人経営者協議会会員との整合性（一体化）を図りました。

モデル（助成）事業	６法人：助成総額 1,445,000 円 （寿敬会、白浜コスモス福祉会、一麦会、千翔会、和歌山県社会施設事業会、山口葵園）
意識醸成・広報啓発 （活動の見える化）	ふくしフォトコンテスト 2024 の開催 （163 作品の応募）
幹事会・総会開催	幹事会（２回）、総会（１回） ※書面開催

令和５年度に引き続き、県経営協、県経営協青年会との連携で取り組んだ「ふくしフォトコンテスト 2024」は、「福祉」・「地域福祉」の県民への啓発と、「福祉職場の素晴らしさ」、「福祉のイメージＵＰ」を目的として実施し、令和５年度を上回る 163 作品の応募がありました。

令和 7 年度も、多様な生活課題に対応するため、本プロジェクトを通じて「地域を支える社会福祉法人」の活動強化を図ります。

（９）社会福祉施設・団体との連携強化及び支援事業（総務企画部 企画班）

社会福祉事業の主たる担い手である社会福祉施設や、関係団体の活動支援のため、各種事業に取り組みました。事務局業務の受任では、県社会福祉法人経営者協議会、県保育連合会、県児童館連絡協議会、県訪問介護事業所協議会の業務を受任し、研修会等を開催すること等によりその活動支援に取り組みました。

「災害福祉支援ネットワーク・災害派遣福祉チーム（ＤＷＡＴ）」の運営では、県との共同事務局により体制整備を図るなか、災害派遣福祉チーム登録時研修を実施し、新たに 34 名のチーム員を登録、合計 122 名となりました（令和 7 年 3 月 31 日現在）。

（10）福祉人材センター事業（福祉人材研修部 人材班・研修班）

社会福祉法第 93 条に基づく県指定の「福祉人材センター」として、慢性的に不足している福祉現場における人材確保事業及び人材の育成と定着を支援するための研修事業を実施しました。

人材確保については、中学生・高校生やその保護者、教員等を対象とした介護職の魅力を紹介する冊子の作成、中学校・高校や初任者研修実施先への出前講座の開催等、関係機関との連携に取り組むとともに、無料職業紹介事業を中心に、就職フェアや職場体験、出張相談等のきめ細かなマッチング支援に引き続き取り組みました。

これらの事業を通じて令和６年度は、124 人（無料職業紹介 62 人、就職フェア 15 人、職場体験７人、その他 40 人）が新たに就職に結びついています。

また、介護事業所における業務効率化や業務改善等の生産性向上の取組を支援し、職員の業務負担の軽減を促すことにより、介護分野の魅力向上や介護人材確保につなげるため、介護事業所向けのワンストップ型相談窓口「和歌山県介護生産性向上総合相談センター」を設置し、相談受付等を開始しました。

研修事業としては、最新の専門知識や技術を習得できる研修を開催し、現場の職員一人ひとりが福祉介護のプロとして自信を持って働けるよう支援するため、階層別・課題別・資格取得を目的とした 31 研修を計画し、内 27 研修（27 回、31 日間）を実施した結果、受講者数は延べ 869 名でした。なお、学びやすい研修体系の構築を目指して、27 研修中 2 研修をオンラインで、3 研修を対面とオンラインの併用で実施しました。

併せて、社会福祉事業従事者が求める研修ニーズ把握のため、県内各施設にアンケート調査を行うとともに、県の指定機関として、介護支援専門員実務研修受講試験を実施しました。

今後、少子高齢化が進行する中、福祉・介護サービスを提供する人材の確保や定着、質の向上が喫緊の課題であるとともに、受講者にとってより参加しやすく学びやすい研修の機会を提供し、福祉職場で働く人材の育成支援などに総合的に取り組んでいく必要があります。

（11）福祉人材確保等にかかる返還免除付き貸付事業（地域福祉部 生活資金班）

福祉人材確保及び自立支援のための「返還免除付き貸付」の状況は、次のようになりました。

	人材確保		自立支援	
	介護福祉士等	保育士	ひとり親家庭	児童養護施設退所者
貸付件数累計	1,586 件	723 件	149 件	88 件
貸付額累計	776,372,854 円	955,294,324 円	56,081,213 円	70,130,950 円
償還免除件数累計 （当然免除・裁量免除）	570 件	91 件	10 件	23 件
償還免除額累計 （当然免除・裁量免除）	119,434,108 円	117,992,004 円	3,681,517 円	8,888,320 円

貸付は平成 28 年度開始当初は令和元年度までの予定でしたが、さらに原資が追加され、貸付中（債権管理）件数の増加とともに、債権管理事務の増大が課題です。

（12）福祉介護サービス評価センター事業（福祉介護サービス評価センター）

福祉サービスを提供する事業者のサービスの質の向上を目的として、社会福祉法第 78 条第 2 項の規定に基づき、公正・中立な第三者機関が専門的・客観的な立場から評価を行う仕組みである福

祉サービス第三者評価事業と地域密着型サービス外部評価事業を実施しました。

福祉サービス第三者評価事業については、平成 18 年に県福祉サービス第三者評価事業推進組織から評価機関の認証を受けるとともに、平成 24 年度に 3 年ごとの受審が義務付けられた社会的養護関係施設の第三者評価についても、全国社会福祉協議会から評価機関としての認証を受けており、本年度は、福祉サービス施設 1 か所、社会的養護関係施設 8 か所の第三者評価を実施するとともに、受審後の継続的な事業所支援にも努めました。

地域密着型サービス外部評価事業については、平成 18 年に県から評価機関としての選定を受けており、本年度は、23 事業所の外部評価を実施しました。

今後も、受審が義務づけられていない福祉サービス関係施設に対し周知していくとともに、調査員が高齢化していることから、調査員の養成を図っていきます。

（13）民間社会福祉事業従事者共済事業・福利厚生センター等受託事業（総務企画部 総務経営班）

民間社会福祉事業従事者共済事業については、加入施設数 285 か所（前年度比 1 か所増）、会員数 8,190 人（前年度比 124 人減）となり、1,381 人の会員に対し退職金及び慶弔金給付を行いました。また、資産運用に関する基本方針に基づく運用を実施し、退職金充足率は 135.70％（前年度 140.37％）となりました。

福利厚生センター和歌山事務局では、バスツアー等の会員交流事業を企画し実施しました。

今後は、民間社会福祉事業従事者共済事業のより安定的な資産運用を目指して協議を重ねていきます。また、福利厚生センター事業では未加入法人への加入勧奨を継続するとともに、加入者が参加、利用しやすい会員交流事業の充実に取り組みます。

（14）福祉サービス運営適正化委員会事業（福祉サービス運営適正化委員会）

和歌山県福祉サービス運営適正化委員会は、社会福祉法第 83 条の規定に基づき、県社会福祉協議会に設置され、福祉サービス利用援助事業の適正な運営を確保するとともに、福祉サービスに関する利用者からの苦情を適切に解決することを目的とし、公正・中立に対応するため外部の有識者（委員）で構成され、県社会福祉協議会の他の活動から独立して運営されています。なお、苦情については、社会福祉法第 82 条に「社会福祉事業の経営者は、常に、その提供する福祉サービスについて、利用者等からの苦情の適切な解決に努めなければならない」と規定されています。

この委員会の委員（12 名）は、別に設置された選考委員会の同意を得て選任され、２つの合議体に分かれ事務を分担しています。

① 福祉サービス利用援助事業に関する合議体（運営監視合議体、委員７名）

福祉サービス利用援助事業の実施主体からの報告を受け、事業委託先から抽出した１１市町村社協について現地調査を行いました。現地調査では、預かり品の確認のため、金融機関に出向き貸金庫での保管状況についても確認しました。

② 福祉サービスの苦情解決に関する合議体（苦情解決合議体、委員５名）

苦情の受付件数は、60 件であり、合議体に諮り審議し、対処しました。

苦情の受付方法は電話が最も多く 45 件（75.0％）でした。申出人は利用者が最も多く 32 人（53.3％）でした。その利用者の内 27 人（84.40％）は障がい者でした。

この事業の周知を図るため広報活動（インターネット掲載、広報紙掲載、ポスター配布）に

努めました。

社会福祉事業の経営者における適切な苦情解決への取組強化を促進するため、研修会の開催、出前講座実施、巡回訪問を行いました。

（15）令和６年能登半島地震及び奥能登豪雨災害への対応

（総務企画部総務経営班・企画班、地域福祉部ボランティア振興班）

① 令和 6 年能登半島地震災害

令和 6 年 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震災害に対して、本会では次の取組を行いました。

○「近畿ブロック府県・指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づき、（社福）全国社会福祉協議会（近畿ブロック幹事・（社福）奈良県社会福祉協議会経由）から職員派遣要請を受けました。和歌山県内からは、「社会福祉協議会における災害時の相互支援協定」に基づき、4 月 1 日から 6 月 30 日までの間、24 名（県内 13 市町村社協 18 名、県社協 6 名）の社会福祉協議会職員を七尾市災害ボランティアセンター（石川県）へ派遣し、被災地ニーズに対応した災害ボランティアセンターにおけるコーディネートを支援しました。

○和歌山県との合同により石川県能登町へボランティアバスを 4 月から 5 月にかけて 3 回運行（延べ 58 人参加）し、ボランティアによる支援活動を行いました。

② 令和 6 年 9 月 20 日からの大雨（奥能登豪雨）災害

9 月 20 日からの大雨（奥能登豪雨）災害に対して、本会では次の取組を行いました。

○8 月 6 日より近畿ブロック幹事県となった本会へ（社福）全国社会福祉協議会より 10 月 8 日付け文書によりブロック派遣要請及び派遣調整依頼がありました。これを受け、「近畿ブロック府県・指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づき、10 月 18 日から 12 月 23 日までの期間において近畿ブロック府県・指定都市社協の派遣調整を行うとともに、和歌山県として本会職員 5 名を輪島市災害ボランティアセンター（石川県）へ派遣し、被災地ニーズに対応した災害ボランティアセンターにおけるコーディネートを支援しました。

３ 業務の適正を確保するための体制の整備と運用状況

業務の適正を確保するための体制（社会福祉法第 45 条の 13 第４項第５号）として、本会全体で「内部管理体制の基本方針」（平成 30 年５月 28 日理事会議決）に基づき、内部管理体制を運用しました。

～事項別報告～

Ⅰ 総務企画部

≪総務企画部・総務経営班・法人運営事業関係≫

１　法人運営及び関係機関・団体（会員）との連携強化

（１）法人経営体制の充実と強化

①　理事会、評議員会の定期的な開催及び必要な情報提供

ア　理事会の開催（計３回）

期日	会場	議題
6 月 3 日	ビッグ愛	①　令和５年度事業報告の承認 ②　令和５年度計算書類の承認 ③　評議員補欠候補者の推薦 ④　令和６年度定時評議員会の開催 【報告事項】 ①　会長及び業務執行理事の職務執行状況
2 月 27 日	― （決議の省略）	①　就業規則の一部改正 ②　嘱託職員就業規則の一部改正 ③　職員給与規則の一部改正 ④　育児休業等規則の一部改正 ⑤　事務局規程の一部改正
3 月 27 日	ビッグ愛	①　令和６年度補正予算の承認 ②　嘱託職員給与支給要領の一部改正 ③　令和７年度事業計画の承認 ④　令和７年度予算の承認 ⑤　会長による利益相反取引の承認 ⑥　会計監査人の報酬 ⑦　役員等賠償責任保険契約 ⑧　理事の補欠選任候補者の提案 ⑨　重要な役割を担う職員の選任 ⑩　「評議員選任・解任委員会」委員の欠員に伴う後任者の選任 ⑪　臨時評議員会の開催 【報告事項】 ①　会長及び業務執行理事の職務執行状況

イ　定時評議員会の開催

期日	会場	議題
6 月 24 日	ビッグ愛	①　令和５年度事業報告の承認 ②　令和５年度計算書類の承認

ウ　評議員選任・解任委員会の開催（計１回）

決議があったものとみなされた日	議題
6 月 7 日	①　辻岡龍閣氏を評議員として選任

エ　監事会の開催（計１回）

期日	会場	議題
5 月 21 日 5 月 23 日	ビッグ愛	① 令和５年度事業概況報告、決算報告 ② 会計監査人による令和５年度会計監査結果報告 ③ 監事監査要領に基づく令和５年度事業､決算に関する監査

② 会計監査人による適切な会計監査の実施

7 月 3 日に稲田旭彦公認会計士事務所 稲田旭彦氏と令和６年度にかかる監査契約を締結した。

（２）会員制度の充実・強化

① 正会員・賛助会員の加入促進

ア 一般会費の納入依頼

会員規程により、新設施設への加入依頼を含め、市町村社会福祉協議会、民生委員・児童委員、社会福祉事業経営者（法人単位)、社会福祉に関する活動を行う団体に会費の納入依頼を行った。

【会費納入依頼先数】

①市町村社協会費	30 市町村社協
②民生委員・児童委員会費	30 市町村民児協　　2,693 名
③社会福祉事業経営者会費	法人・施設及び市町村　　336 ヶ所
④社会福祉に関する活動を行う団体	29 団体及び 34 郡市町村老人クラブ連合会

イ 賛助会員の募集

令和６年度賛助会員の募集を行い、企業、団体等より 50 口のご協力をいただいた。

（３）全国・近畿ブロック社協及び行政機関、関係団体との連携強化

① 全国・近畿ブロック等会議への参加

会議名	期日		場所等	参加者
全国社会福祉協議会評議員会	第１回	3 月 25 日	東京都	１名
全国社会福祉団体職員退職手当積立基金常任委員会	第１回	7 月 17 日	東京都	１名
	第２回	1 月 23 日		
都道府県・指定都市社協常務理事・事務局長セミナー	7 月 25 日～26 日		神奈川県	２名
近畿ブロック府県社協常務理事・事務局長会議	第１回	9 月 17 日	奈良県	２名
全国社会福祉協議会福祉懇談会	10 月 8 日		東京都	１名
福祉ビジョン２１世紀セミナー	10 月 9 日		東京都	１名

会議名	期日		場所等	参加者
全国社会福祉団体職員 退職手当積立基金運営委員会	第1回	7月26日	神奈川県	1名
	第2回	1月31日	東京都	
都道府県・指定都市社協 常務理事・事務局長会議	1月31日		東京都	2名

② 県内関係団体会議への参加

会議名	期日	場所	参加者
令和６年度介護給付費等審査会	4月25日、5月29日、6月27日、7月29日、8月28日、9月27日、10月29日、11月27日、12月25日、1月29日、2月27日、3月27日	和歌山市	１名
和歌山県障害者スポーツ協会理事会	5月9日	和歌山市	１名
第24回和歌山県障害者スポーツ大会	5月19日	和歌山市	１名
和歌山県精神保健福祉協会理事会	5月30日	和歌山市	１名
第72回全国ろうあ者大会式典	6月9日	和歌山市	１名
和歌山市障害児者父母の会60周年記念式典	6月9日	和歌山市	２名
和歌山県交通遺児を励ます会評議員会	6月13日	和歌山市	１名
和歌山県障害児教育振興会総会	6月14日	和歌山市	１名
和歌山県青少年育成協会通常総会	6月22日	和歌山市	１名
和歌山県共同募金会定時評議員会	6月25日	和歌山市	１名
和歌山県地域公共交通活性化協議会	6月26日	和歌山市	１名
和歌山県社会福祉審議会民生委員専門分科会	7月12日	和歌山市	１名
中央競馬馬主社会福祉財団助成事業推薦委員会	7月19日	和歌山市	１名
和歌山県障害者社会参加推進協議会	7月19日	和歌山市	１名
和歌山県介護普及センター運営委員会	7月29日	和歌山市	１名
和歌山県社会福祉審議会地域福祉専門部会	7月31日	和歌山市	１名
白梅賞選考委員会 白梅賞受賞者表彰式	8月21日 11月8日	和歌山市	１名
和歌山県社会福祉施設+SAFE協議会	9月4日	和歌山市	１名

第 71 回和歌山県母子寡婦福祉大会	9 月 7 日		海南市	1 名
紀の国チャレンジド賞選考等委員会 紀の国チャレンジド賞表彰式	9 月 11 日 12 月 5 日		和歌山市	1 名
認知症の人と家族への支援を進める第 40 回全国集会	10 月 20 日		和歌山市	1 名
和歌山県交通遺児を励ます会評議員会	10 月 31 日		和歌山市	1 名
和歌山県済生会理事会	第 1 回	11 月 21 日	和歌山市	1 名
	第 2 回	1 月 30 日		
市町村単位老人クラブリーダー研修会	紀南	11 月 26 日	田辺市	1 名
	紀北	11 月 29 日	和歌山市	
和歌山県ナースセンター事業運営に関する懇話会	2 月 13 日		和歌山市	1 名
和歌山県長寿社会対策推進会議	3 月 14 日		和歌山市	1 名
和歌山県精神保健福祉審議会	3 月 21 日		和歌山市	1 名

（4）共同募金会との連携

① 社会福祉法第 119 条に基づく意見の提出及び赤い羽根共同募金街頭募金等への協力

ア 共同募金に関する意見書の提出

イ 令和６年度「赤い羽根共同募金運動」街頭募金

期日	内容	本会参加者
10 月 1 日	街頭募金への協力	1 名
10 月 11 日	「赤い羽根共同募金運動」キックオフセレモニーへの協力	7 名
12 月 12 日	NHK 歳末たすけあい街頭募金への協力	2 名

ウ 自販機型募金箱「ハートフルベンダー」の設置・普及協力

② 共同募金の周知及び理解促進

ア 広報誌による共同募金の普及啓発の促進

（5）災害時の福祉救援活動への取組

① 近畿ブロック府県・指定都市社協災害時の相互支援に関する協定に基づく会議に出席し、情報交換を行った。

期日	内容	会場等
8 月 5 日	・令和 6 年能登半島地震における災害支援振り返り	奈良県

② 令和 6 年能登半島地震災害

「近畿ブロック府県・指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づき、（社福）全国社会福祉協議会（近畿ブロック幹事・（社福）奈良県社会福祉協議会経由）から令和 6 年 4 月 1 日付け文書により職員派遣要請を受けた。

和歌山県内からは、「社会福祉協議会における災害時の相互支援協定」に基づき、令

和6年4月1日（月）から6月30日（日）までの間、石川県七尾市へ24名（県内13市町村社協18名）の社会福祉協議会職員を派遣した。

派遣職員は、被災地社協災害ボランティアセンターのスタッフとして、被災地ニーズに対応した災害ボランティアセンターにおけるコーディネートを支援した。

ア　石川県（七尾市）への派遣調整

・令和6年4月9日：近畿ブロック府県・指定都市社協第6回連絡会議
・令和6年5月14日：近畿ブロック府県・指定都市社協第7回連絡会議
・令和6年6月11日：近畿ブロック府県・指定都市社協第8回連絡会議
・令和6年8月23日：全社協　災害ブロック幹事県・市社協会議

イ　石川県七尾市社協災害ボランティアセンターへのブロック派遣の状況

・和歌山県内社協からの派遣状況

クール	派遣期間	人数	派遣社協
第18	4月1日～4月7日	1	県社協
第19	4月5日～4月11日	1	紀の川市
第20	4月9日～4月15日	1	湯浅町
第21	4月13日～4月19日	1	橋本市
第23	4月21日～4月27日	1	有田市
第24	4月25日～5月1日	1	和歌山市
第25	4月29日～5月5日	1	上富田町
第26	5月3日～5月9日	2	みなべ町/田辺市
第27	5月7日～5月13日	2	県社協/和歌山市
第28	5月11日～5月17日	1	かつらぎ町
第29	5月15日～5月21日	1	白浜町
第30	5月19日～5月25日	1	有田川町
第31	5月23日～5月29日	1	県社協
第32	5月27日～6月2日	1	和歌山市
第33	5月31日～6月6日	1	田辺市
第34	6月4日～6月10日	1	上富田町
第35	6月8日～6月14日	1	湯浅町
第36	6月12日～6月18日	1	海南市
第37	6月16日～6月22日	2	県社協/県社協
第38	6月20日～6月26日	1	県社協
第39	6月24日～6月30日	1	御坊市
		24	市町村社協（18）

③　令和6年9月20日からの大雨（奥能登豪雨）災害

令和6年8月6日より近畿ブロック幹事県となった本会へ（社福）全国社会福祉協議会から令和6年10月8日付け文書によりブロック派遣要請及び派遣調整依頼があ

った。

令和 6 年 10 月 18 日（金）から令和 6 年 12 月 23 日（月）までの期間において「近畿ブロック府県・指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づき、計 6 回会議を開催し派遣調整を行った結果、和歌山県として本会職員 5 名を石川県輪島市へ派遣した。

派遣職員は、被災地社協災害ボランティアセンターのスタッフとして、被災地ニーズに対応した災害ボランティアセンターにおけるコーディネートを支援した。

ア　石川県（輪島市）への派遣調整

・令和 6 年 10 月 2 日：近畿ブロック府県・指定都市社協第 1 回連絡会議
・令和 6 年 10 月 4 日～5 日：石川県輪島市への先遣隊による情報収集
（本会から 2 名）
・令和 6 年 10 月 9 日：近畿ブロック府県・指定都市社協第 2 回連絡会議
・令和 6 年 10 月 31 日：近畿ブロック府県・指定都市社協第 3 回連絡会議
・令和 6 年 11 月 15 日：全社協　災害対応ブロック幹事県・市社協会議
・令和 6 年 11 月 18 日：近畿ブロック府県・指定都市社協第 4 回連絡会議
・令和 6 年 12 月 3 日：近畿ブロック府県・指定都市社協派遣職員情報交換会
・令和 6 年 12 月 13 日：近畿ブロック府県・指定都市社協派遣職員情報交換会
・令和 7 年 1 月 28 日：全社協災害対応ブロック幹事県・市社協会議

イ　石川県輪島市社協災害ボランティアセンターへのブロック派遣の状況

・和歌山県社協からの派遣状況

班	派遣期間	人数
第 1	10 月 18 日～10 月 24 日	1
第 2	11 月 3 日～11 月 9 日	1
第 3	11 月 19 日～11 月 25 日	1
第 4	12 月 5 日～12 月 11 日	1
第 5	12 月 17 日～12 月 23 日	1

④　令和 6 年度広域・同時多発災害対応訓練に合わせた本会事務局の対応訓練

日時	内容
2 月 18 日	・初動対応（緊急会議の開催、職員の安否確認等） ・災害救援本部設置 ・県内社協相互支援協定に基づく連絡、情報収集
2 月 20 日	・市町村社協等情報共有会議の開催（オンライン） ・本会内部職員への支援活動説明会の開催（オンライン）
2 月 22 日 ～23 日	・災害ボランティアセンター開設及び運営支援（災害救援本部として）

２　法人運営基盤の強化

（１）公費の安定的確保

県への翌年度予算要求に際し、県から事業費のシーリングは示されなかったが、事業の見直し及び事務の省力化等により、事業の実施に必要な予算を確保した。

（２）自主財源の確保促進

①　収益事業の実施

区分	令和６年度収入金額
ア 飲料自動販売機の設置設営 和歌山県立医科大学	7,729,258 円
イ 全国社会福祉協議会出版図書等の斡旋販売 社会福祉手帳の販売斡旋	51,653 円
ウ 自動車共済斡旋	10,699 円

②　共同募金を中心とした民間財源の活用促進

赤い羽根共同募金の受配金により、下記の事業を実施した。（事業内容は別掲）

事業名称	配分額
広報誌「福祉わかやま」発行事業	2,900,000 円
地域福祉推進フォーラム開催事業	230,000 円

③　基金等の運営

ア　はまゆう基金

発足 44 年目を迎えた本基金の原資総額は 277,514,535 円となった。

a　原資内訳

種　別	金　額
県補助金	100,000,000 円
寄附金	173,671,360 円
利息繰入金	3,843,175 円
合　計	277,514,535 円

b　活用事業

県ボランティア連絡協議会助成事業等に対し預金利子（3,069,386 円）を活用した。

イ　堤基金

a　原資内訳

種　別	金　額
寄附金	32,100,000 円
利息繰入金	36,401,739 円
合　　計	68,501,739 円

b　活用事業

企画広報事業に対し預金利子（471,807 円）を活用した。

ウ　いきいき事業基金

a　原資内訳

種　別	金　額
寄附金	100,530,000 円
合　　計	100,530,000 円

b　活用事業

いきいき長寿社会センター事業に対し預金利子（1,111,889 円）を活用した。

エ　福祉基金

本会の緊急に必要な経費及び災害救援活動経費に充てるために積み立てを行っているもので、本年度末の積立額は 55,733,530 円となった。

④　寄附の受入れ

ア　一般寄附

日　付	寄附者（敬称略）	金　額
6 月 26 日	収集ボランティア	12,000 円
9 月 11 日	収集ボランティア	9,000 円
11 月 29 日	一般財団法人近畿陸運協会	250,000 円
12 月 25 日	収集ボランティア	6,700 円
12 月 27 日	（株）テレビ和歌山	150,000 円
2 月 13 日	那賀ライオンズクラブ	50,000 円
3 月 25 日	収集ボランティア	3,000 円
合　　計		480,700 円

令和７年度の本会事業費に充当予定。

⑤　寄附の受入れ（物品）

車いす及び寄附物品等については、ボランティアセンター事業等において掲載。

（３）情報収集・情報提供機能の強化

第６次活動計画６つの重点目標（①社会的孤立への対応、②市町村社協とともに地域福祉の基盤づくり、③相談支援・生活支援と権利擁護の充実、④多様な主体や社会資源がつながる地域づくりの支援、⑤地域福祉を支える組織や専門職の確保・養成、⑥自然災害への対応）に関する取組を広報誌「福祉わかやま」及び本会ホームページ、SNS にて随時紹介した。

また令和６年度よりリニューアルしたホームページの運用を開始し、随時情報を更新し、情報提供を図った。

（４）本会広報誌「福祉わかやま」の発行

発行日	毎月１日、年 11 回発行
体裁	Ａ４版、８ページ、４色カラー刷り
発行部数	10,000 部
配布先	市町村社協、民生委員児童委員、社会福祉施設・団体、行政関係

	機関、学校・教育関係機関、図書館、公民館、病院、その他

（５）ホームページによる情報提供（随時更新）

名称	ＵＲＬ
社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会	https://www.wakayama-wel.jp
代表メールアドレス	washakyo@wakayamakenshakyo.or.jp

（６）社会福祉関係助成事業の情報集約・提供・協力

関係機関の助成事業情報を集約し、ホームページや広報誌を用いて情報提供に努めるとともに、下記の推薦事務等を行った。

① 各種助成事業の情報提供・協力

ア 24時間テレビチャリティーキャンペーンへの協力

募集・選考に協力し、次のとおり県内の助成団体が決定された。

団体名	寄贈車種
公益財団法人　白浜医療福祉財団	リフト付きバス
特定非営利活動法人　よつ葉福祉会	リフト付きバス
紀の国医療生活協同組合	スロープ付き軽自動車

（７）職員育成・資質向上に向けた取組強化

① 職員研修の実施・参加

ア 内部研修

研修名	期日	会場	参加
新規採用職員向け説明会	4/2	県社協内	４名
社協基本要項の改訂	8/29、8/30	県社協内	60名
人権同和研修	1/7、1/8	県社協内	49名

イ 全社協及び県社協福祉人材研修部をはじめとする関係外部機関等の研修への参加

研修名	期日	会場	参加
福祉サービス接遇マナー研修	4/25	ビッグ愛	３名
ファシリテーション研修	5/15	ビッグ愛	４名
質の高い仕事の進め方のノウハウを学ぶ！研修	6/27	ビッグ愛	６名
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程指導者養成研修	7/6、7/7、7/8	中央福祉学院（ロフォス湘南）	１名
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程指導者養成研修　【ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟｺｰｽ】	7/6	中央福祉学院（ロフォス湘南）	１名
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【初任者研修】	7/30、7/31	ビッグ愛	２名
アンガーマネジメント研修	8/8	ビッグ愛	４名
社会福祉協議会　中堅職員研修会	10/15	ビッグ愛	１名

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【中堅職員】	10/22、10/23	ビッグ愛	１名
高齢者の権利擁護・虐待防止研修	10/29	ビッグ愛	１名
コーチング＋（プラス）研修	11/20	ビッグ愛	１名
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【チームリーダー】	1/23、1/24	ビッグ愛	１名
カスタマーハラスメント対策研修	1/30	ビッグ愛	２名

（８）人事・労務管理の強化

① 事業の進行管理（目標管理）の遂行

県社協の事業が計画どおり進行するよう管理体制の確立を図るとともに、組織及び個人の目標を明確化することにより、職員一人ひとりの業務に対する意欲の向上、能力の開発を図り、人材の育成強化、組織の活性化・成果の向上に資することを目的として「目標管理制度」による目標管理を実施した。

② 職場説明会・体験会の実施（計１回）

福祉業界を取り巻く状況や福祉の魅力に対する理解を深めていただくとともに、職場説明会・体験会を通して社会福祉協議会の事業に興味をもっていただくことで、本会の職員採用試験受験者の増加に繋げることを目的に開催した。

実施日	参加者数	内　容
8 月 19 日	３名	【オリエンテーション・アイスブレイク】 【説明①】県社協の概要 【説明②】若手職員が就活・県社協の仕事内容を説明 【まとめ】採用情報等説明

③ 労働セミナーへの参加

期日	場所
11 月 13 日	オンライン

（９）その他

① 県社協企画広報ワーキングチーム

構成人数	開催回数	主な内容
11 名	12 回	①広報誌「福祉わかやま」の企画編集 ②ホームページ、SNS 等の企画・効果的運用 ③その他、福祉情報の収集・提供

第６次県社協活動計画の基本理念等の実現に向けて、県社協の「情報発信・広報力の強化」を目指し、月刊広報誌「福祉わかやま」やホームページ、SNS 等の内容充実をはじめ、福祉情報の収集・提供、本会事業の PR、地域福祉推進フォーラムの内容検討等、セクションの枠を超えた協議を柔軟に行うために、県社協企画広報ワーキングチームを設置した。

② 「企業における人権」講演会

期日	場所	内容
11 月 29 日	和歌山市	県人権尊重の社会づくり協定締結団体として自組織の取組を発表した。

③ 安全運転管理者講習

期日	場所
11 月 12 日	和歌山市

④ 人権フェスタへの参画

期日	場所
11 月 16 日	田辺市

≪総務企画部・総務経営班・社会福祉事業従事者福利厚生事業及び表彰事業関係≫

１　社会福祉事業従事者の福利厚生事業等への取組

（１）県民間社会福祉事業従事者共済の運営

①　給付事業、貸付事業、福利厚生事業の実施

ア　加入状況（令和７年３月 31 日現在）

施設・団体数　285 か所、会員　8,190 名

イ　給付事業

種　別	人　員	給付額
退職手当給付金	935 人	880,274,154 円
結婚祝金	123 人	3,540,000 円
出産祝金	176 人	5,040,000 円
傷病見舞金	139 人	5,100,000 円
災害見舞金	1 人	10,000 円
死亡弔慰金	7 人	700,000 円
合　計	1,381 人	894,664,154 円

ウ　貸付事業

種　別	人　員	貸付額
生活資金	0 人	0 円
住宅資金	0 人	0 円
合　計	0 人	0 円

エ　福利厚生事業

家庭常備薬の斡旋

- ６月実施：168 事業所、1,471 人が利用
- 10 月実施：162 事業所、1,412 人が利用
- ２月実施：173 事業所、1,789 人が利用

②　運用基本方針に基づいた資産運用の実施

ア　「民間社会福祉事業従事者共済運営委員会」の開催

期　日	名　称	場　所	議　事
7 月 23 日	第１回 運営委員会	ビッグ愛	・令和５年度事業報告について ・令和５年度決算報告について ・民間共済貸付規程の一部改正について
3 月 14 日	第２回 運営委員会	ビッグ愛	・「資産の運用ガイドライン」の一部改正について ・資産運用外部委託の追加拠出について ・令和６年度補正予算（案）について ・令和７年度事業計画（案）について ・令和７年度予算（案）について ・民間共済資金借入申込みについて 【協議事項】 「民間社会福祉事業従事者共済」退職金給付制度の見直しについて

イ　資産運用に関する基本方針に基づいた運用

基本方針に基づき、外部委託による資産運用の実施。

【外部委託資産運用状況（令和７年３月 31 日現在)】

金融機関名	信託元本	時価総額	時間加重収益率
三菱 UFJ 信託銀行	4,973,647,931 円	5,984,164,922 円	－2.29%
りそな銀行	4,666,675,834 円	4,999,540,016 円	-2.51%
みずほ信託銀行	2,198,816,994 円	2,771,174,032 円	0.44%
計	11,839,140,759 円	13,754,878,970 円	

③　退職金充足率

135.70%（令和７年３月 31 日現在の要支給額に基づく）

④　加入施設・事業所及び会員への情報公開

加入施設・事業所及び会員に対して文書にて報告を行った。

期　日	報告内容
７月 31 日	令和６年３月末現在の共済の現状
10 月 18 日	令和６年９月末現在の資産運用状況

⑤　共済制度の加入促進

新規加入施設・事業所　１か所

⑥　全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会及び他の共済実施団体との連携

会議名	期　日	場所
令和６年度 全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会 全国会議	10 月 3 日～10 月 4 日	岡山県
令和６年度 東海・近畿ブロック会議	1 月 21 日	滋賀県

⑦事務説明会の開催

期　日	場　所	内　容	参加者
12 月 5 日	ビッグ愛	第１部 民間社会福祉事業従事者共済の事務について 第２部 独立行政法人福祉医療機構　新退職共済システムについて	第１部 67 名 第２部 84 名

（２）独立行政法人福祉医療機構「社会福祉施設職員等退職手当共済制度」の事務受託

①　受託事務の遂行

共済契約法人・団体数　165 法人・団体（令和７年３月 31 日現在）

（３）福利厚生センターの地方事務局の受託

①　受託事務の遂行及び会員交流事業の企画・実施

ア　加入状況（令和７年３月 31 日現在）

加入法人・団体：51 法人・団体　（会員数：1,917 名）

イ　会員交流事業の企画・実施

期　日	事業名	参加人数
４月１日～2 月 28 日	ナガシマリゾート電子クーポン	会員・家族　26 名
６月１日～12 月 31 日	海遊館入館割引券	会員・家族　42 名
７月１日～10 月 31 日	ラフォーレ倶楽部宿泊プラン	会員・家族　66 名

期　日	事業名	参加人数
9 月 21 日	よしもと新喜劇観劇バスツアー	会員・家族　45 名
12 月 1 日～3 月 31 日	ディナークーポン	会員・家族 296 名
1 月 19 日	宝塚歌劇観劇バスツアー	会員・家族　45 名
2 月 15 日	近江八幡日帰りバスツアー	会員・家族　45 名

② その他

会議への参加

会議名	期　日	場所等
福利厚生センター近畿ブロック会議	6 月 19 日	大阪府
福利厚生センター全国連絡会議	7 月 19 日	オンライン

（4）社会福祉関係功労者の顕彰

① 県社会福祉功労者表彰式の開催

ア 期　日　10 月 10 日

イ 場　所　県民交流プラザ和歌山ビッグ愛（和歌山市）

ウ 参加者　約 100 名

エ 内　容

・和歌山県知事感謝	35 名 2 団体
民生委員・児童委員功労者	25 名
社会福祉事業従事功労者	8 名
福祉ボランティア功労者	2 名 2 団体
・和歌山県社会福祉協議会会長表彰	87 名 5 団体
民生委員・児童委員功労者	28 名
社会福祉施設役員、職員功労者	37 名
社会福祉関係団体役員、職員功労者	4 名
社会福祉協議会役員、職員功労者	10 名
ボランティア功労者	1 名 4 団体
永年勤続功労者	7 名
優良社会福祉協議会	1 社協

② 県社協会長表彰、感謝の授賞

ア 県社協会長表彰

10 月 10 日に和歌山市で開催された令和６年度和歌山県社会福祉功労者表彰式において、社会福祉関係者の功労をたたえ、本会会長表彰を行った。

（被表彰者数は、前掲①県社会福祉功労者表彰式の開催のエ内容に記載）

イ 県社協会長表彰及び全社協会長表彰候補者推薦審査会の開催

期　日	場　所
7 月 9 日	和歌山県庁北別館

③　各種表彰等への推薦

ア　全社協会長表彰候補者の推薦

全国社会福祉協議会会長表彰の推薦を行い、下記のとおり計 23 名が受賞された。

区　分	受賞者数
民生委員・児童委員功労者	5 名
社会福祉法人・福祉施設功労者	7 名
社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労者	1 名
永年勤続功労者	10 名

≪総務企画部・企画班・地域福祉活動推進支援事業関係≫

１　市町村社会福祉協議会の活動支援、地域福祉の推進

地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築を視野に入れ、人材の育成・資質向上を促進するとともに、各地域における事業展開を支援した。

（1）包括的な相談支援に取り組める人材の育成・資質の向上

①　地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期　日　令和6年7月3日 場　所　和歌山ビッグ愛 展示ホール 参加者　社協14名、施設12名、行政2名 （計28名）	【講義編】 (1)「地域共生社会の実現に向けた県の取組について」 県福祉保健部福祉保健政策局社会福祉課 主査　竹内　康模 氏 (2)講義 ①「地域生活課題の捉え方」 ②「地域共生社会とは何か」 ③「ソーシャルワークの基礎」 講師：摂南大学　講師　上野山 裕士 氏
2	期　日　令和6年8月20日 場　所　和歌山ビッグ愛 展示ホール 参加者　社協12名､施設6名 （計18名）	【演習編】 (1)事例報告「社会福祉施設×地域生活課題」 天美苑カフェ（社福）中庸会 特別養護老人ホーム天美苑　菅野 雅行 氏 (2)演習：「わたしのアクションプラン」作成 助言者：摂南大学　講師　上野山 裕士 氏
3	期　日　令和6年9月11日 場　所　和歌山ビッグ愛 801会議室 参加者　社協10名､施設2名 （計12名）	【実践編】 (1)事例報告「生活福祉資金相談事例について」 田辺市社会福祉協議会　永井　一樹　氏 (2)演習:地域生活課題の解決に向けたアクションプラン作成 助言者：摂南大学　講師　上野山 裕士氏

②　社会福祉協議会中堅職員研修会

期日・参加者・場所	内容概要
期　日　令和6年10月15日 場　所　和歌山ビッグ愛 1201・1202会議室 参加者　7社協9名	(1)【講義①】「情勢認識、中堅職員への期待」 県社協　総務企画部　副部長　井上　真典 (2)【仲間づくり・昼食】 (3)【鼎談】私が中堅職員だった頃のはなし ～皆さんへのエールを込めて～ 講師：由良町社会福祉協議会 事務局長 東 亜矢 氏

	日高川町社会福祉協議会 事務局長 的場　寿美 氏 上富田町社会福祉協議会 事務局次長 前地 加容 氏 インタビュアー:すさみ町社会福祉協議会 事務局長 地本 達行 氏 (4)【ワーク】明日からの行動指針 (5) 仲間に向けてメッセージ

（２）地域福祉推進の中核を担う市町村社協活動の強化促進

① 市町村社協巡回訪問等による個別支援

期日	支援社協	内容
4 月 16 日	有田地方社協	令和 6 年度有田地方社協連絡協議会職員研修（講師派遣）
1 月 28 日	有田地方社協	令和 6 年度有田地方社協連絡協議会総務部会研修会

② 和歌山県市町村社協連絡協議会活動の支援

ア 市町村社会福祉協議会 会長会議

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期　日 令和 6 年 12 月 19 日 場　所 勤労福祉会館 プラザホープ 4 階 参加者 27 社協、副会長・ 事務局長等 52 名	(1) 優良社協表彰　活動報告 「特例貸付借受人等生活困窮者への支援について」 報告 ：和歌山市社会福祉協議会 副主事 有働 理恵 氏 (2) 報告・協議①「能登半島地震災害・豪雨災害支援について」 説明 :県社協　地域福祉部 副部長 兼 県災害ボランティアセンター 所長 南出 考 (3) 説明・協議②「地域共生社会の実現に向けた取組～企業との連携、こども食堂応援ネットワークの支援～」 説明 ：県社協 総務企画部 部長 竹内 秀樹 (4) 情勢報告「社協基本要項改訂について」 説明 ：県社協 地域福祉部　部長 榎本 幸治

イ 市町村地域福祉主管課長・市町村社会福祉協議会事務局長会議

1	期　日 令和 6 年 11 月 11 日 場　所 和歌山ビッグ愛 大ホール 参加者 28 社協 35 名、行政	(1) 行政説明 ①地域共生社会について ②重層的支援体制整備事業について ③和歌山県災害派遣チーム(DWAT)の活動について

	22 市町村 24 名	④その他 県福祉保健部福祉保健政策局　社会福祉課 地域福祉班　主査 竹内　康模 氏 (2)県社協説明 ①能登半島地震での活動について ②令和６年能登半島地震災害への対応状況について 県社協　地域福祉部 副部長 兼 県災害ボランティアセンター 所長　南出　考 (3)活動報告 DWAT 第一班としての活動概要報告 有限会社 ViVifala 島ゆかこ 代表取締役 島由佳子氏 (4)説明「災害ケースマネジメントについて」 県福祉保健部福祉保健政策局　社会福祉課 政策企画班　班長　楠本　良太 氏

ウ　業務課題検討会の開催

a　地域共生社会に向けた取組の具体化

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期　日 令和 6 年 6 月 21 日 場　所 勤労福祉会館 プラザホープ 3 階 参加者 <会場>10 市町社協、17 名、 オブザーバー2 名 （県こども未来課） <オンライン>5 社協、6 名	「地域づくり」と「居場所のチカラ」実践研修会 (1)講義：こども食堂と行政支援 認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・ むすびえ　理事長　湯浅　誠 氏 (2) 事例報告： ①矢巾町社協（岩手県） ②美浜町社協（福井県） ③出雲市社協（島根県）
2	期　日 令和 6 年 10 月 23 日 場　所 和歌山ビッグ 12 階 参加者 10 市町社協、16 名	(1)前回（「地域づくり」と「居場所のチカラ」協働実践研修会）の振り返り (2)社会福祉協議会基本要項の改訂について ①解説　②グループワーク「社協の使命について」

b　人材確保、人材育成

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期　日 令和 6 年 7 月 19 日 場　所 和歌山ビッグ愛 7 階 参加者 7 市町社協、7 名	(1) 検討テーマの確認 ①令和 6 年度社会福祉協議会中堅職員研修会について ②職場説明会について (2)令和 6 年度県内社会福祉協議会版職場体験事業について（進捗報告）
2	期　日 令和 6 年 9 月 25 日	(1)和歌山県社会福祉法人経営者協議会とのタイアップ

	場　所 オンライン 参加者 4 市町社協、4 名	による研修会について (2)介護サービス部門の人材確保について
3	期　日 令和 6 年 12 月 2 日 場　所 オンライン 参加者 5 市町社協、5 名	(1)県経営協第 3 回研修会・市町村社協連協・県保連合同研修会（福祉現場での人材確保・人材育成）について（報告） (2)介護保険事業実施状況、事業継続のための協議状況等（情報交換） (3) 人材確保、魅力ややりがいを発信するために（協議）

c　災害時の社協活動

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期　日 令和 6 年 7 月 18 日 場　所 和歌山ビッグ 12 階 参加者 23 社協、37 名	(1)災害ボランティアセンター運営支援のＩＣＴ化に向けて ①これまでの経過確認 ②令和 6 年能登半島地震の支援経験により必要なＩＣＴに関する備え ③災害ボランティアセンター運営支援システム「キントーン」とは ④システムの導入に向けたスケジュール確認 (2)ＩＣＴ化に関する意見・疑問点について
2	期　日 令和 6 年 9 月 20 日 場　所 和歌山ビッグ愛 8 階 参加者 25 社協、39 名	(1)【講義】災害ボランティアセンター運営支援システム（キントーン）について 講師：サイボウズ災害支援チームリーダー 柴田 哲史 氏 ①キントーン、災害ボランティアセンターのＩＣＴ化、サイボウズ災害支援チームとは ②他府県でのキントーン活用事例
3	期　日 令和 7 年 1 月 17 日 場　所 和歌山ビッグ愛 8 階 参加者 23 社協、33 名	(1)令和 6 年度広域・同時多発災害訓練について (2)災害ボランティアセンター運営のＩＣＴ化（キントーン）について
4	期　日 令和 7 年 3 月 7 日 場　所 和歌山ビッグ愛 8 階 参加者 22 社協、34 名	(1)災害ボランティアセンター運営支援システム（キントーン）について ゲストスピーカー：サイボウズ災害支援 チームリーダー 柴田 哲史 氏 ①災害ボランティア運営支援システム(キントーン)について ②平時業務におけるキントーンの活用について

d　生活課題への取組（特例貸付借受人等生活困窮者への支援）

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期　日 令和6年7月9日 場　所 和歌山ビッグ愛 参加者 15社協、26名	(1)昨年度検討会の振り返り (2)課題提起 (3)検討事例の選定
2	期　日 令和6年8月6日 場　所 和歌山ビッグ愛 参加者 15社協、26名	(1)事例検討 ①事例の概要説明 ②経過の整理、現状課題の整理 ②社協としてのアプローチ
3	期　日 令和6年10月8日 場　所 印南町防災福祉センター 参加者 15社協、31名	(1)事例検討での“学び”を自社協での実践に活かす ①“学び”を自社協での実践にどう活かしたか ②「相談支援の実践力強化」のため大切にしたいこと
4	期　日 令和6年11月29日 場　所 和歌山ビッグ愛 参加者 14社協、22名	(1)「実践事例集」の内容について (2)「相談支援の実践力強化に向けて」 ～アクションプランの作成～

エ　市町村社会福祉協議会役職員研修会

期日・参加者・場所	内容概要
期　日 令和7年1月30日 場　所 勤労福祉会館プラザホープ2階 参加者 21社協59名	和歌山県市町村社協連絡協議会　業務課題検討会報告 (1)人材確保・人材育成 有田川町社会福祉協議会 総務課 副主任 谷口 友紀 氏 (2)地域共生社会の実現に向けた取組の具体化 和歌山県市町村社協連絡協議会 事務局 (3)災害時の社協活動 海南市社会福祉協議会 主任 田中 健人　氏 (4)生活課題への取組（特例貸付借受人等生活困窮者への支援） かつらぎ町社会福祉協議会 事務局長 山本 幸則 氏

オ　過去の災害支援を踏まえた確認事項等への対応

a　令和6年度広域・同時多発災害対応訓練

地域福祉部ボランティア振興班に記載。

カ　業務課題検討会にかかる企画の実行支援

a　社会福祉協議会職業体験

期日・参加者・場所	内容概要
期　　日　令和6年8月 ～令和7年3月 場　　所　各受入社協 （エントリー14社協） 参 加 者　3市町社協　計3名	○近畿府県の福祉系大学、短大、専門学校及び、県内の大学、短大、専門学校へのPR ○各受入社協での職業体験（1～5日）

③　県内市町村社協における地域福祉活動計画の策定・実行の状況把握

ア　白浜町社会福祉協議会

回	期日	内容概要
1	3月12日	(1) 地域福祉推進計画評価委員委員長・副委員長の互選について (2) 第4期白浜町地域福祉推進計画の概要について (3) 第4期白浜町地域福祉推進計画の進捗状況について (4) 助言者からの全体の評価について （日本福祉大学 学長補佐 野尻 紀恵氏）

イ　紀美野町社会福祉協議会

回	期日	内容概要
1	4月11日	(1) 第２次きみの地域福祉活動計画最終（案）について (2) 第２次きみの地域福祉活動計画概要版について
2	6月12日	(1) 講演『第２次きみの地域福祉活動計画と地域共生社会の実現に向けて』 講演者　摂南大学現代社会学部講師　上野山 裕士氏 (2) トークセッション『実践者と語る紀美野町における地域福祉のこれから』 ①松本守信氏から下神野地区の事例紹介 ②上野山裕士氏との意見交換
3	3月25日	(1) 令和6年度紀美野町における地域福祉活動の実践について（事例紹介） (2) 令和7年度紀美野町における地域福祉活動の展開について

④　多様な地域福祉実践の情報収集と発信

民生委員児童委員活動、市町村社会福祉協議会等の地域福祉活動事例等の収集及びホームページやSNSによる掲載に努めた。

（3）「相談・支援体制の強化」と「地域づくりのための活動基盤整備」の支援

①　生活課題への取組

上記、（2）地域福祉推進の中核を担う市町村社協活動の強化促進-②和歌山県市町村社協連絡協議会活動の支援-ウ 業務課題検討会の開催-d 生活課題への取組（特例貸付借受人等生活困窮者への支援）参照

② 市町村社会福祉協議会活動支援事業（助成）

社協名	事業名	交付額
海南市	第３次海南市地域福祉活動計画策定	234 千円
有田町	子どもたちを取り巻くネットワーク強化事業	500 千円
湯浅町	地域共生社会に向けた基盤整備事業	140 千円
北山村	災害ボランティアセンター設置訓練	126 千円
合　計	4 事業	1,000 千円

（4）地域福祉活動推進のための関係機関との連携強化

① 和歌山県市町村社協連絡協議会活動の支援

ア 総会

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期　日　令和 6 年 4 月 19 日 場　所　和歌山ビッグ愛 801・802 会議室 参加者　30 社協（うち委任状による出席 5 社協） 44 名	(1) 議　事 ①令和 5 年度事業報告・決算について ②令和 5 年度事業報告・決算にかかる監事監査報告について ③令和 6 年度事業計画・予算（案）について ④わかやま市民生活協同組合との「和歌山県における地域福祉活動の推進に係る連携・協力に関する協定書」（案）について ⑤その他

イ 理事会

回	期日・参加者・場所 等	内容概要
1	期　日　令和 6 年 4 月 19 日 場　所　和歌山ビッグ愛 2 階 参加者　新旧理事 15 名（うち委任状による出席 1 名）、新旧監事 4 名	(1) 令和 5 年度事業報告・決算について (2) 令和 5 年度事業報告・決算にかかる監事監査報告について (3) 令和 6 年度事業計画・予算（案）について (4) 総会議事の確認及び進行について (5) 新役員による会長・副会長の互選について (6) わかやま市民生協との「和歌山県における地域福祉活動の推進に係る連携・協力に関する協定書」（案）について (7) 和歌山県社会福祉審議会（地域福祉専門分科会）委員の推薦について (8) その他
2	期　日　令和 7 年 3 月 5 日 場　所　和歌山ビッグ愛 7 階 参加者　理事 9 名、監事 2 名	(1) 令和 6 年度事業報告（案）、決算（見込み）について (2) 令和 7 年度事業計画（案）、予算（案）について

		(3)令和 7 年度総会の開催について

ウ　監事会

期日・場所	参加者	内容概要
期　日　令和 6 年 4 月 19 日 場　所　かつらぎ町社協、御坊市社協	監事 2 名	令和 5 年度事業および財産状況の監査

②全国・近畿ブロック会議等への参加

ア　生活支援コーディネーター関連

期日	場所	名称
5 月 20 日	和歌山市	生活支援コーディネーター実践研修会（第 1 回）（欠席）
11 月 14 日	紀美野町	生活支援コーディネーター実践研修会（第 2 回）

イ　全国社会福祉協議会、近畿ブロック府県社協等関連

期日	場所	名称
5 月 16 日 5 月 17 日	東京都	都道府県・指定都市社協地域福祉推進担当部・課・所長会議 能登半島地震振り返り会議
6 月 18 日	岡山市	社会福祉協議会基本要項フォーラム
9 月 5 日	オンライン	中期経営計画策定セミナー
11 月 29 日	堺市	近畿ブロック府県・指定都市社協地域福祉・ボランティア担当部・課・所長会議

ウ　近畿地域福祉学会

期日	場所	名称
6 月 15 日～ 6 月 16 日	東京都	日本地域福祉学会第 38 回大会
8 月 20 日	オンライン	2025 年度第 1 回近畿地域福祉学会役員 第 36 回京都大会第 1 回実行委員会
9 月 13 日	オンライン	日本地域福祉学会 2024 年度 第 1 回 地方部会懇談会
12 月 21 日	京都市	第 36 回近畿地域福祉学会京都大会

③災害対応

「社会福祉協議会における災害時の相互支援協定」に基づき、市町村社協職員による応援派遣を実施した。

ア　令和 6 年 1 月能登半島地震及び 9 月奥能登豪雨災害

・羽咋市災害ボランティアセンター及び七尾市災害ボランティアセンター（石川県）へ、県内市町村社協職員を派遣した（令和 5 年度から継続して、6 月 30 日で派遣終了。18 クール以降 39 クール、延べ 24 名派遣）。

・輪島市災害ボランティアセンター（石川県）へ県社協職員を派遣した（10 月～12 月、延べ 5 名派遣）。

・現地情報、派遣職員の事前説明、支援方針の共有等のため、市町村社協情報共有会議を開催した（4 月 8 日、5 月 17 日、5 月 30 日）。
・能登半島地震災害支援にかかる振り返り会を開催した（7 月 26 日）。

④関係機関との連絡調整

ア　（株）セブン-イレブン・ジャパン「商品寄贈による社会福祉貢献活動 寄贈品に関する協定書」に基づく連携

セブン-イレブン、県、県社協の三者で締結した協定に基づき寄贈された商品（加工食品・飲料、雑貨等）について、地域で支援を必要とする世帯・個人（生活に困難を抱える方）、社会福祉施設、こども食堂等への配分に協力した。

回	寄贈日	分量	配分先（ブロック）
1	6 月 28 日	928 点	紀北
2	10 月 4 日	304 点	紀中
3	11 月 14 日	294 点	紀南
4	2 月 28 日	560 点	紀中

イ　（株）オークワ「和歌山県における地域福祉活動の推進に係る連携・協力に関する協定」に基づく連携

オークワと県社協で締結した協定に基づき寄贈された商品（精米）について、地域で支援を必要とする世帯・個人（生活に困難を抱える方）、社会福祉施設、こども食堂等への配分に協力した。

寄贈月	回数	分量	配分先（ブロック）
4 月	1 回	66.50 kg	紀中
5 月	3 回	204.50 kg	紀南、紀北、紀中
6 月	2 回	113.95 kg	紀南、紀北
7 月	2 回	133.45 kg	紀中、紀南
8 月	1 回	38.50 kg	紀北
9 月	2 回	47.65 kg	紀中、紀南
10 月	2 回	31.50 kg	紀北、紀中
11 月	1 回	21.50 kg	紀南
12 月	3 回	130.00 kg	紀北、紀中、紀南
1 月	2 回	105.00 kg	紀北、紀中
2 月	2 回	88.00 kg	紀南、紀北
3 月	2 回	70.00 kg	紀中、紀南
合計	23 回	1050.55 kg	

ウ　わかやま市民生活協同組合「和歌山県における地域福祉活動の推進に係る連携・協力に関する協定」に基づく連携

新たに 4 月 25 日に、わかやま市民生活協同組合と県社協で協定を締結した。協定

に基づき寄贈された商品（加工食品・飲料等）について、地域で支援を必要とする世帯・個人（生活に困難を抱える方）、社会福祉施設、こども食堂等への配分に協力した。

回	期　　日	分　量	配分先ブロック
1	5月24日	475点	紀中
2	6月26日	1,642点	紀南（東牟婁郡）
3	スキップ	―	チョコレート商品のため、見送り
4	9月4日	1,302点	紀北（かつらぎ町）
5	10月31日	1,668点	紀中（有田郡地方）
6	1月7日	666点	紀南（西牟婁郡）
7	3月6日	1,851点	紀北（紀美野町）

エ　生命保険協会 和歌山県協会からの福祉巡回車寄贈

期日・参加者・場所	内容概要
期　日 12月4日 場　所 和歌山市	「生命保険協会和歌山県協会」福祉巡回車寄贈式 寄贈先：白浜町社会福祉協議会

オ　保険等の取扱い(本会受付分)

保険種別	加入件数
福祉サービス総合補償	10件
送迎サービス補償	なし

2　和歌山県民生委員児童委員協議会との連携、民生委員・児童委員活動支援

（1）社会福祉協議会活動との連携強化

「新任民生委員・児童委員研修会」において、担当職員を派遣し、生活福祉資金貸付制度、福祉サービス利用援助事業及び福祉サービス苦情解決事業の説明を行った。

≪総務企画部・企画班・施設関係≫

１　「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト」を通じ、地域を支える社会福祉法人の活動を支援

地域共生社会の実現に向けて、地域における公益的な取組を責務とする社会福祉法人がその一翼を担うことができるよう、「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト」を通じて社会福祉法人の公益的な取組を支援した。

（1）プロジェクトにおける多様な事業活動の開発、展開

① 協働プロジェクト活動の見直し、発展強化に向けた検討

参画法人の負担金の軽減及び県社会福祉法人経営者協議会会員との整合性（一体化）を図るため、設置要綱を一部改正した。

② 地域共生社会の実現に向けた取組の促進モデル（助成）事業の実施

地域共生社会の実現に向けて、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な福祉サービス提供体制の整備を目的とした改正社会福祉法が令和３年４月に一部施行された。

社会福祉法人・福祉施設には、社会福祉法人制度改革で求められてきた「地域における公益的な取組」の推進を図る中で、より一層、地域の様々な生活課題に積極的に対応し、地域共生社会の一翼を担うことが期待されている。こうした状況から、個々の社会福祉法人独自の取組を促進、支援するため、モデル（助成）事業を実施した。

【令和６年度指定法人：６法人 ／ 助成総額1,445千円】

寿敬会	和歌山市平尾	300千円
事業名	つながり大日カフェ（強化発展）	
認知症や介護全般、その他日々の暮らしに対する相談を受けられる職員を常時配置したり、来所だけでなく電話や手紙、メール、SNS等での相談対応も、年間を通じて各種相談対応に応じる。集合型によるカフェ（大日カフェ）を開催し、身体・手先・心を動かす等を行い、実際のつながりの機会を持てるようにするほか、大日カフェ通信等、通信誌の発行やＳＮＳの活用し、つながりを拡げ、地域共生を真に目指せる取り組みと出来る。		
白浜コスモス福祉会	西牟婁郡白浜町	300千円
事業名	緩やかなつながりと居場所づくりプロジェクト（継続）	
ふと思い立った時に立ち寄れる居場所づくりと、緩やかなつながりの基盤作りの１年目を踏まえ、地域コミュニティの形成に向けて、様々な機関・団体と連携し、地域の子ども、障害児・者、高齢者などの垣根のない共生社会の実現を目指した事業を展開していく。		
一麦会（紀の川生活支援センター）	紀の川市尾崎	300千円
事業名	麦の郷多文化共生・国際交流センター（強化発展）	
令和４年度に引き続き、生きづらさや発達障害、メンタルヘルスの課題等を抱えた若者（思春期世代）が、気軽に相談できたり、立ち寄ることができる居場所づくりを行う（同センター機能を活用／月２回／１回あたり10～15名想定）。那賀圏域自立支援協議会活動と教育機関へのはたらきかけを強化し、制度で対応できないニーズを把握。教育機関ともケースを共有しながら支援へつなぐ。		
千翔会	有田郡有田川町	300千円
事業名	誰もが住みやすいまちづくり　～地域のひとりぼっちをなくそう～（新規）	

年々、高齢化率が上昇し、独居老人が増えているが、一人の時間の寂しさなどは、どんな見守り家電や見守り事業でも埋められない。 そんな中で、近年あまり取り組まれてこなかったシニア世代の婚活（友活）で、恋愛・結婚にこだわらない、残りの人生を豊かにする生涯のパートナー探しのお手伝いをすることで、最強の見守り事業を実施していく。		
和歌山県社会施設事業会	和歌山市直川	150 千円
事業名	園庭開放事業（新規）	
地域の未就学児童とその保護者を対象に、園庭や雨天時には図書室を開放し、天候に左右されることなく、安全にのびのびと遊べる場所の提供を行い、保護者同士の交流や、子育てについて必要がある時には相談に応じ、施設が連携している機関へつながる支援を行うことにより、子供の貧困防止や子育て家庭の孤立防止等を目指す。		
山口葵園	和歌山市藤田	95 千円
事業名	葵園元気ライフ（新規）	
地域の 70 歳以上の（独居）高齢者を対象とした、月１回１時間程度の専門の担当職員による健康体操等を実施し、住み慣れた場所での交流等の居場所づくりやご自宅で生活を続けられるように健康維持を促進し、参加者への継続した支援を目標とする。		

※モデル助成事業開始（平成 28 年度～）からの延べ助成件数 … 48 事業（19 法人）

③　関係会議・研修、個別訪問等によるプロジェクトへの参画促進

社会福祉法人の「地域における公益的な取組」を促進・支援するため、下記モデル事業実施法人の取組を広報誌で紹介し、普及啓発に努めた。

掲載号	法人名	掲載事例（テーマ）
令和 6 年 12 月	和歌山県社会施設事業会	児童養護施設がおこなう公益的な取組「園庭開放事業」

（2）実践事例の収集・発信（見える化）と普及啓発

①　「ふくしフォトコンテスト２０２４」の開催

地域共生社会の実現に向け、誰もの身近にある「福祉」「地域福祉」を県民及び関係者に向けて啓発する（福祉への理解をすすめる）とともに、「福祉職場」の素晴らしさ、福祉のイメージＵＰを目的とし、令和４年度に引き続き、県社協（協働プロジェクト）、県経営協、経営協青年会の３者共催による取組として「ふくしフォトコンテスト」実施した。

ア　応募総数　　１６３作品（応募者８３人）

イ　入　　賞　　計１３点

賞の名称	選定数	賞品
最優秀賞	１作品	商品券３万円
優秀賞	２作品	商品券１万円
入選	１０作品	商品券５千円

ウ　参加賞　　手作りらくがき帳（製作：社会福祉法人やおき福祉会）

エ　審査委員会

	団体名	職名	氏名	備考
1	県経営協	会　長	森 田 昌 伸	審査委員長
2	県経営協青年会	会　長	今 西 基 之	
3		副会長	切 士 知 憲	（企画実務担当）
4	県社会福祉協議会	常務理事	中 村 茂	
5	外部アドバイザー	写真家	諸 永 恒 夫	アドバイザー

オ　取組経緯

期日	内容
令和6年 7月4日～	募集案内通知、広報ＰＲ（プレスリリース）
令和6年 7月16日～ 9月 6日	作品募集期間（県社協ホームページ・応募専用フォーム
令和6年 9月19日	第１次審査（経営協青年会役員会）
令和6年10月30日	第２次審査（審査委員会・入賞作品決定）
令和6年11月 8日	審査結果を県社協SNSで公開
令和6年11月11日	審査結果通知（応募者全員）、参加賞送付
令和6年11月20日	審査結果を県社協ホームページで公開
令和6年11月25日	令和６年度 第３回合同研修会（講演後） ・入賞作品披露（ｽﾗｲﾄﾞｼｮｰ）　・表彰式
令和6年12月	県社協広報誌「福祉わかやま」12月号にて作品紹介
令和6年12月16日～12月23日	第１回パネル展示（スーパーセンターオークワ 南紀店）
令和7年 1月20日～ 1月27日	第２回パネル展示 （スーパーセンターオークワ パームシティ 和歌山店）
令和7年 2月10日～ 2月17日	第３回パネル展示（オークワ パビリオンシティ田辺店）
令和7年 2月 22日	那智勝浦町健康福祉まつり 展示

（3）推進委員会事務局の運営

①　幹事会の開催

期日	場所	参加者	内容
令和6年9月20日	書面審議	幹事10名	・地域共生社会の実現に向けた取組の促進モデル事業助成先の選定について
令和6年12月23日	書面審議	幹事10名	

②　総会の開催

期日	場所	参加者	内容
令和7年3月14日	資料送付	参画44法人あて	ア 令和6年度事業進捗状況について イ 令和7年度事業計画・予算（案）について ウ その他

２　社会福祉法人（社会福祉施設）をはじめとする関係団体との連携強化

（１）和歌山県社会福祉法人経営者協議会及び社会福祉施設協議会との連携による支援

①　研修機会の提供

ア　和歌山県社会福祉法人経営者協議会との連携による研修機会提供

期日	場所	内　容
8 月 6 日	和歌山市	全国経営協共催 都道府県経営協セミナー（前期） （県社会福祉法人経営者協議会及び経営青年会　第２回合同研修会） 【講義Ⅰ】「はて？令和のいま考える 社会福祉法人の公益性 ～昨今の社会保障・社会福祉をめぐる動向と全国経営協の取組を踏まえて～」 講師：全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 専門委員　　千葉　正展 氏 【動画】「全国青年会がいま目指していること～各委員会の取り組み～」 説明者：和歌山県社会福祉法人経営青年会 会長 今西　基之 氏 【講義Ⅱ】「これでスッキリ！テクノロジー等の活用と社会福祉法人経営」 講師：全国社会福祉法人経営者協議会 ふくし DX 推進委員会 専門委員　木村　敦至 氏
11 月 25 日	和歌山市	社会福祉法人 ICT 化推進研修（独自研修） （県社会福祉法人経営者協議会及び経営青年会 第３回合同研修会） （県市町村社協連絡協議会 人材確保・人材育成検討会 研修会） （県保育連合会　研修会） 【講義】『ＩＣＴ化推進で目指す働きやすい環境づくり』 ～介護・保育の DX へ向けて～ 講師：株式会社 ビーブリッド 代表取締役　竹下　康平 氏 シニアコンサルタント　高橋　利明 氏 【ふくしフォトコンテスト 2024 入賞作品披露・表彰式】
1 月 16 日	和歌山市	全国経営協共催 都道府県経営協セミナー（後期） （県社会福祉法人経営者協議会及び経営青年会　第４回合同研修会） 【講義①】「協働化も大規模化も社会福祉法人が決める！ ～昨今の社会保障・社会福祉をめぐる動向と全国経営協の取組を踏まえて～」 講師：全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会　専門委員　吉川　郁子 氏 【動　画】「SGWC ダイジェスト」 説明者：和歌山県社会福祉法人経営青年会 会長 今西　基之 氏 【講義②】「災害に負けない！「すべての人と命と生活を守り抜く」社会福祉法人による災害支援の考え方と取り組み」 講師：全国社会福祉法人経営者協議会 災害支援特別委員会　副委員長　塘林　敬規 氏

イ　和歌山県保育連合会との連携による研修機会提供

期日	場所	内　　容
5 月 18 日	和歌山市	県保育連合会 総会・研修会 テーマ：「安心・安全な保育の実施にむけて」 ～虐待など不適切事案の防止、私たちが取り組むべきこと～ 講師：フェリアン　津　村　　薫 氏

11月17日	田辺市	県保育士部会研修会 【基調報告】和歌山県保育連合会　会長　森田 昌伸 氏 【 研修Ⅰ 】研修Ⅰ「乳幼児期の性～保育の現場でできること～」 講師：株式会社　PLATICA代表取締役/京都あいこ助産院院長 渡邉　安衣子　氏 【 研修Ⅱ 】「福田りゅうぞうのハローあそびうたセミナー」 講師：あそびダンス作家　福田　りゅうぞう　氏　氏
2月8日	田辺市	第６２回県保育研究会 【研究発表】 ①　「地域の子育て家庭への支援の充実」 ～笑顔で広げよう子育ての“わ”～ 【発表】和歌山市立　宮前保育所 ②「地域の子育て家庭への支援の充実に向けて」 ～つながる心・ひろがる楽しさ～」 【発表】有田川町立　金屋第一こども園 【助言者】和歌山信愛大学教育学部 子ども教育学科 教授 森下順子 先生

②　各施設協議会・福祉関係団体との連絡調整、情報収集と課題把握、助成

ア　メールニュースの発行（県経営協３２回／県保連３１回）

社会福祉法人関連の情報を迅速に提供するため、県社会福祉法人経営者協議会及び県保育連合会との連携によりメールニュースを配信した。

イ　関係会議等への出席

期日	場所	名　称
5月18日	和歌山市	県保育連合会 総会・研修会
6月4日	和歌山市	県児童福祉施設連絡協議会　総会
6月6日	和歌山市	県経営協 総会・研修会
9月7日	和歌山市	第３３回「三つわ祭り」
9月12日	白浜町	第４５回全国福祉施設士セミナー
10月20日	和歌山市	第１０回かかしコンテスト（社会福祉法人哲人会主催）
10月26日	和歌山市	創業７０周年記念式典（社会福祉法人和歌山つくし会）
2月8日	田辺市	県保育連合会 第６３回県保育研究会
2月17日	和歌山市	県児童福祉施設連絡協議会 施設長・職員研修会

ウ　種別施設協議会・福祉関係団体への助成等

a　種別施設協議会への助成（種別組織育成事業助成金）

団体名	助成金額
和歌山県保育連合会	50,000円
一般社団法人和歌山県老人福祉施設協議会	50,000円
和歌山県児童福祉施設連絡協議会	50,000円
和歌山県母子生活支援施設協議会	50,000円
和歌山県知的障害者福祉協会	50,000円
和歌山県福祉施設士会	50,000円
計	300,000円

b　福祉団体への助成（社会福祉団体事業助成金）

団体名	助成金額
公益社団法人母子寡婦福祉連合会	150,000円
社会福祉法人和歌山県身体障害者連盟	150,000円
和歌山県里親会	50,000円

和歌山県障害児者父母の会連合会	50,000 円
計	400,000 円

c　企業等からの寄付の受入れ調整

団体名	寄贈内容	寄贈先
株式会社ケーエスケー	車いす２５台	協働プロジェクト参画法人
関西電力送配電株式会社	キッザニアアクティビティ体験ツアー無料招待	（申込なし）

③　全国・近畿ブロック等の情報収集、整理、発信（全国会議、ブロック会議等への参加、派遣）

期日	場所	会議・研修会名等
4 月 2 日	京都市	近畿ブロック保育協議会 第 1 回正副会長会議
4 月 15 日	京都市	全国経営協 近畿ブロック会議
5 月 31 日	東京都	全国経営協 第 1 回協議員総会
6 月 18 日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第 1 回役員会
7 月 4 日～5 日	京都市	2024 年度 近畿ブロック保育研究集会
7 月 5 日	京都市	近畿ブロック保育協議会 第 2 回正副会長会議（処理委員会）
7 月 5 日	京都市	第 1 回近畿ブロック保育研究集会あり方検討委員会
7 月 11 日～12 日	大津市	滋賀県・奈良県・和歌山県　経営協青年会　合同研修会
7 月 16 日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 総会・第 2 回役員会・研修会
8 月 29 日～30 日	横浜市	第 43 回全国社会福祉法人経営者大会
9 月 2 日	大阪市	第 2 回近畿ブロック保育研究集会あり方検討委員会
9 月 12 日～13 日	白浜町	第 45 回全国福祉施設士セミナー
10 月 15 日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第 3 回役員会
10 月 17 日～18 日	奈良県	全国保育協議会 第 67 回全国保育研究大会
11 月 18 日	京都市	近畿ブロック保育協議会 第 3 回正副会長会議
11 月 20 日	京都市	近畿社会福祉法人経営者協議会 ブロックセミナー（京都大会）
12 月 17 日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第 4 回役員会
1 月 21 日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会総会・第 5 回役員会
2 月 18 日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第 6 回役員会

④　団体事務局受任による支援

ア　和歌山県社会福祉法人経営者協議会事務局

県社会福祉法人経営者協議会及び県社会福祉法人経営青年会の活動推進、各種情報の提供、研修会の開催、全国及び近畿社会福祉法人経営者協議会との連携等を通じ、活動支援を行った。

イ　和歌山県保育連合会事務局

県保育連合会及び保育士部会の総会・研修会の開催、近畿・全国保育協議会との連携、会議への派遣等の活動支援を行った。また、令和 8 年度近畿ブロック保育研究集会（和歌山大会）開催のため、実行委員会を立ち上げた。

ウ　和歌山県児童館連絡協議会事務局

県児童館連絡協議会総会、児童厚生員等研修会の開催、一般財団法人児童健全育成推進財団との連携、関係会議への出席等を通じ、活動支援を行った。

エ　和歌山県訪問介護事業所協議会事務局

県訪問介護事業所協議会総会、訪問介護員等研修会の開催、近畿ブロックホームヘルプ業務推進に係る連携会議への出席等を通じ、活動支援を行った。

（2）新たな生活課題への対応と協働の場づくり（協働プロジェクトに包含）

（3）災害福祉支援ネットワーク及び災害派遣福祉チーム（DWAT）の運営

① 関係機関及び施設種別協議会関係会議等における説明

期日	場所	名　称
6月6日	和歌山市	県経営協 総会・研修会

② 和歌山県災害福祉支援チームの派遣に関する基本協定書の締結

ネットワーク構成団体	協定締結日
和歌山県社会福祉法人経営者協議会	令和5年10月12日
和歌山県児童福祉施設連絡協議会	
一般社団法人和歌山県老人福祉施設協議会	
和歌山県訪問介護事業所協議会	
和歌山県知的障害者福祉協会	
和歌山県療護施設連絡協議会	
和歌山県保育連合会	令和5年11月22日
和歌山県	（ネットワーク事務局）
社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会	

③ 全国会議等への出席

期日	会議名	場所
11月12日	災害福祉支援センター情報共有会議	東京都
11月13日	災害福祉支援ネットワーク全国会議	東京都
3月26日	災害派遣福祉チームに関する6府県意見交換会	オンライン

④ チーム員候補者の届出　３４名（令和6年度）

⑤ チーム員登録時研修会の開催（県と共催）

期日	場所	内　容
12月24日	和歌山市	講義①　【行政説明】災害派遣福祉チームについての基本事項 講義②　【事務局説明】災害派遣福祉チームの活動 講義③ 【報告と質疑応答】令和 6 年能登半島地震における支援活動について 基調講義：「石川県における DWAT による支援の全体像」 講師：華頂短期大学　武田 康晴 教授 報 告：和歌山 DWAT チーム員 〈 15 分× 2 名〉 （社福）和歌山つくし会 つくし医療・福祉センター 小山 有佳乃 氏 （有） ViVifala 島ゆかこ 代表取締役 島 由佳子 氏 演習①　ディスカッション ～避難所における福祉ニーズを考える 講師：華頂短期大学 武田康晴 教授 演習①　ディスカッション ～避難所における福祉ニーズを考える～ 講師：華頂短期大学　武田 康晴 教授 演習②　一般避難所での災害派遣福祉チームの活動 講師：華頂短期大学　武田 康晴 教授 その他　和歌山 DWAT 登録説明

【受講者&チーム員登録証発行】計１２２名

⑥ 関係機関、団体との連絡調整

期日	場所	内　容
9月20日	和歌山市	地域医療連携わかやまネットワーク実務者の会（講師派遣調整）

⑦ その他

活動に必要な資機材の整備

（4）教員免許取得に係る「介護等体験」事業の実施

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（平成 9 年法律第 90 号)」に基づき、教員免許の取得を希望する者は社会福祉施設等での「介護等体験」が義務づけられていることから、本会が受入調整業務を実施している。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和５年２月 28 日付けで文部科学省から特例（代替）措置適用の通知が令和２年度～５年度に引き続き発出されたが、令和６年度の介護等体験については、受入調整業務を実施した。

① 介護等体験事業の実績

介護等体験期間	7 月 1 日～11 月 29 日（1 人あたり 5 日間）		
申込大学等	11 大学	申込者数	70 人
体験修了者数	69 人	体験受入施設数	45 施設

（5）障害者施設授産活動活性化資金融資事業の実施

県内の就労継続支援 A 型・B 型事業所、就労移行支援事業所、地域活動支援センター及び小規模作業所で行われている授産活動を活性化させ、施設利用者等の工賃支給状況を改善し、もって障害者の社会参加と自立を図るため、授産活動の活性化を目的とする無利子融資事業を実施した。

① 新規融資（なし）

② 債権管理状況（令和 7 年 3 月 31 日現在）

融資中件数	融資中金額	原資残額
0 件	0 円	10,000,000 円

≪総務企画部・企画班・企画調整関係≫

1　新たな福祉課題（分野）への対応と地域福祉推進フォーラムの開催

（1）和歌山県こども食堂応援ネットワーク事業

令和6年4月1日から、和歌山県こども食堂応援ネットワークを新たに設置し、運営を開始した。

① 会員数（令和7年3月31日現在）

こども食堂会員　104か所

サポート会員　個人1名、団体31団体

② 食材・寄付等の物資の受入体制の構築・分配・マッチング

企業・団体・個人等から提供された食材・寄付等について、適切に分配を行った。

ア　寄付物品

受領日	相手	物品	配布先
7月5日	企業	みかんジュース （12本×150ケース）	16か所（和歌山市 内）
11月5日 ・6日	団体	サツマイモ （100kg）	4か所（和歌山市内）
11月5日 ・6日	団体	フードドライブ商品 （コンテナ1杯）	2か所（和歌山市内）
12月13日	団体	フードドライブ商品 （4.4kg）	1か所（和歌山市内） ※スタートアップ支援として、開設1年未満のこども食堂会員を対象に送付
2月21日	企業	鮮魚（20尾）	11か所（和歌山市内）
2月6日～ 2月13日	個人	パンケーキミックス （10kg×13袋）	13か所（和歌山市内）
3月5日	企業	チョコストロー （100本×30箱）	20か所（和歌山県内）

イ　寄付金

・寄付金の受入れ

団体数	13団体
寄付金総額	2,365,420円

・活動助成事業として配分

令和6年12月に本ネットワーク会員に、運営費用（食材費、水光熱費、消耗品費等）を助成した（@27,000円×72団体）。

ウ　ダイレクトマッチング

少量の寄付物品については、寄付者の近隣で実施しているこども食堂を紹介した（1件）。

③ こども食堂交流会の開催

こども食堂運営者、支援機関等向けのセミナー・交流会を開催し、団体間での情報や課題の共有等を行った。

ア　設立シンポジウム

期日・場所	参加者数	内容
6月5日 和歌山市	こども食堂46名、企業・団体・支援者52名、自治体関係者42名、市町村社	○講演 「地方創生とこども食堂」 認定NPO法人全国こども食堂 支援センターむすびえ 理事長　湯浅 誠 氏

	協 20 名、その他 計 195 名	○パネルディスカッション パネリスト ほんまち子ども食堂 代表 三岩 眞紀 氏 わかやま市民生協 常勤理事 大塚 太加守 氏 和歌山県　知事　岸本周平 氏 和歌山県こども食堂応援ネットワーク 会長 岡 哲司 氏 コーディネーター 認定 NPO 法人全国こども食堂 支援センターむすびえ 理事長 湯浅 誠 氏

イ　こども食堂研修会・交流会

期日・場所	参加者数	内容
9 月 26 日 和歌山市	25 名	（紀北会場・紀南会場共通） ○衛生管理の事例説明 「食中毒の事故の実際、その原因と対策」 紀南：田辺保健所 衛生環境課 紀北：和歌山県　生活衛生課 ○講義・グループワーク 「HACCP（ハサップ）の考え方を取り入れ、安全に活動を進めよう！」 近畿大学生物理工学部　准教授 江口 陽子 氏
9 月 18 日 田辺市	17 名	

④　新規開設立ち上げ支援

こども食堂の新規立上げにかかる相談対応、立上げ支援講座の実施、ヘルプメイトの派遣、地域との調整等の支援を行った。

ア　開設等相談

電話、来所、メールにより随時開設相談を行った。

相談内容	件　数
新規開設相談	43 件
運営相談	6 件

イ　開設支援講座

期日・場所	参加者数	内容
2 月 4 日 和歌山市	14 名	【説明】特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ　光田 美穂 氏
2 月 5 日 田辺市	7 名	【活動報告】 《紀北ブロック》 ①みやきたこども食堂　②ふれあい食堂 《紀南ブロック》 ①すさみの地域食堂 ②認定ＮＰＯ法人ハートツリー 【説明】 ①認定特定非営利活動法人わかやま ＮＰＯサポートセンター 理事長　志場 久起 氏 ②和歌山県こども食堂応援ネットワーク事務局 【個別相談】 希望者を対象に相談対応した

ウ　ヘルプメイト（令和7年3月から実施）

a　ヘルプメイト事業説明会

期日・形式	参加者数	内容
2月13日 オンライン	7食堂、むすびえ　2名、県2名、振興局6名	ヘルプメイト事業の説明等

b　登録数：22団体

c　活動数　1団体（3月13日、見学等）

d　県域アドバイザー（令和6年12月から実施）

上記ヘルプメイトの活動が円滑に行われるよう、専門的知識及び実務経験を有し、助言や支援ができる県域アドバイザーを設置した。

NPO法人こども食堂わかやま 理事長　岡 定紀 氏

⑤　ホームページ等による情報発信

ホームページ・ＳＮＳ等を活用し、こども食堂の取組等の情報を発信した。

a　ホームページ（随時）

令和6年5月20日　簡易ホームページ開設（https://w-kodomo.hp.peraichi.com/）。

令和7年3月31日に、正規ホームページ(現行)を開設。掲載内容は、会員名簿（毎月更新）、活動報告等。URL　https://wakayama-kodomo.jp

b　メールニュース　（21通）

助成等情報を随時メールニュースにより発信した。

⑥　その他

ア　関係機関との連携

a　和歌山市こども食堂連絡協議会

期日	場所	内容
7月1日	和歌山市	総会（出席）
10月20日 11月17日	みその商店街	みそのマルシェに参加し、本ネットワークの活動啓発を行った。
1月20日	和歌山市	事業打ち合わせ

b　振興局（地域づくり課）

期日	場所	内容
11月19日	和歌山市	情報交換
12月12日	和歌山市	事業打ち合わせ
2月13日	オンライン	ヘルプメイト説明等

c　認定NPO法人全国こども食堂支援センターむすびえ

期日	場所	内容
6月12日	オンライン	今後のネットワーク事業の進め方について
6月27日	オンライン	助成金を活用した事業について
7月12日	オンライン	助成金を活用した事業について、オープンデータ化について
7月30日	オンライン	事業の進捗状況について
8月23日	オンライン	事業の進捗状況について
9月24日	オンライン	事業の進捗状況について
11月6日	オンライン	ファンドレイジングの検討について
12月26日	オンライン	助成金を活用した事業について

1 月 10 日	オンライン	オープンデータ化について
2 月 8 日～9 日	東京都	全国交流会 2025（参加）
2 月 14 日	オンライン	開設支援講座の振り返りについて
3 月 26 日	オンライン	開設支援講座アーカイブの作成について

d　都道府県社協

期日	場所	内容
3 月 21 日	大分県社協	おおいたこども食堂ネットワーク、 フードバンクおおいたの取組について

（2）第６次和歌山県社会福祉協議会活動計画の遂行並びに進行管理

活動計画３年目の進捗管理の実施（事務局内）

（3）新たな福祉課題・生活課題への対応・事業企画の強化

① 「ふくしフォトコンテスト 2024」の実施（再掲）
② 災害福祉支援ネットワーク・災害派遣福祉チーム（ＤＷＡＴ）の運営（再掲）
③ 県社協活動の見える化・広報強化のための SNS（Instagram、Facebook）活用

（4）組織的なワーキングチーム活動の強化

① 中核・中堅職員層ワーキングの実施

第６次県社協活動計画の第４章-２組織基盤の強化に関し、基本理念・行動指針等を全職員が理解し、活動計画の実行に向けて同じベクトルを持ち、自ら考えて仕事ができるようにするためには、各部署のチームリーダー的立場にある（実務の中核を担う）職員が想いをともにし、リーダーシップ・フォロワーシップ・部署間連携を図りながら業務に取り組むことが大変重要である。

こうした場を組織的・意図的に設けるため、令和４年９月より実施している中核・中堅職員層ワーキングを計１０回開催した。

（5）地域福祉推進フォーラム～“その人らしい幸せな暮らし”を みんなで考える～の開催

① 日　時　令和 7 年 1 月 30 日
② 会　場　勤労福祉会館　プラザホープ４階
③ 共　催　県市町村社協連絡協議会
④ 後　援　和歌山県、和歌山県ボランティア連絡協議会、和歌山県民生委員児童委員協議会、社会福祉法人和歌山県共同募金会、和歌山県社会福祉法人経営者協議会、和歌山県社会福祉法人経営青年会
⑤ 参加者　市町村社協、社会福祉施設、民生委員・児童委員、ボランティア、行政職員等　計 134 名

開会・オリエンテーション

基調講演　「居場所づくりからはじめる地域共生社会」

摂南大学 現代社会学部 講師　上野山 裕士 氏

（和歌山県社協活動計画検討委員会委員）

シンポジウム

様々な主体の地域福祉活動実践者が、現在の社会情勢を踏まえ、いまもこれからも住み慣れた地域で“その人らしい幸せな暮らし”を送れるよう、一人ひとりの生活課題にどのように向き合い、どのような想いで活動に取り組んでいるのか。衣、食、住、そして居場所づくりの視点から、その活動を紐解きながら、私たちにできることを参加者と共に考察した。

実践報告　コーディネート&コメンテーター　上野山裕士 氏

①「着なくなった学生服をいかして子供たちの未来を応援」

NPO 法人はぐくみ　制服リユース SHOP KAKAYA　代表　木野 歩美氏

②「居場所としての子ども食堂」

認定 NPO 法人ハートツリー　理事長　松下 泰子氏

③「誰もが住み続けられる街を目指して」

社会福祉法人千翔会　施設長　髙垣 千恵氏

④「ゆるやかなプラットフォームづくり ～福祉教育機能を活かした展開～」

社会福祉法人有田市社会福祉協議会　事務係長　宮本 朋子氏

⑥ その他

ア　登壇者事前打ち合わせ

期日	場所	内容
12 月 26 日	オンライン	フォーラム当日の進め方について等

～事項別報告～

Ⅱ 地域福祉部

≪地域福祉部・地域福祉班・地域福祉権利擁護事業関係≫

1　日常生活自立支援事業の実施

（1）福祉サービス利用援助事業の実施

① 福祉サービス利用援助事業の全市町村社会福祉協議会への委託実施

新規	解約	年度末実利用者数
109 件	102 件	723 件

② 生活保護受給者への利用料全額助成の実施

年度末対象者数	助成合計（円）
延べ 264 名	9,240,600 円

③ 住民税非課税者への利用料半額助成の実施

年度末対象者数	助成合計（円）
延べ 303 名	2,677,750 円

④ 福祉サービス利用援助システムの運営・改修

平成 17 年度から本会と市町村社協がネットワークを介した業務システムを運用しているが、平成 22 年 5 月には新システムへと移行し、平成 25 年度、平成 28 年度にはシステムの一部改修を行い、さらなる事務の効率化を図ってきた。

令和 6 年度は、「預かり物 10 年保管」「ハラスメントに係る解約」について、契約書等に文言を追加した。併せて、事務処理の迅速化を図るため、契約解約処理にチェックボックスを設け、預かり物 10 年保管経過を知らせる機能の追加、訪問・連絡記録票に 50 音検索機能の追加等システムの改修を行った。

（2）事業従事者の資質向上

① 専門員研修会の開催（詳細**7　専門員・生活支援員の研修実施状況**のとおり）

第 1 回	第 2 回	計 2 回
36 名	37 名	73 名

② 生活支援員研修会の開催（詳細**7　専門員・生活支援員の研修実施状況**のとおり）

新任	継続	計 2 回
21 名	48 名	69 名

（3）契約締結審査会の開催　12 回（毎月 1 回）（詳細**6　契約締結審査会の開催状況**のとおり）

（4）委託先への支援

① 現地支援

・現地支援　　13 か所

期　日	市町村社協名
6 月 28 日	かつらぎ町
7 月 4 日	すさみ町
7 月 5 日	北山村
7 月 5 日	古座川町
7 月 30 日	白浜町

8 月 2 日	美浜町
8 月 27 日	広川町
8 月 30 日	有田川町
9 月 9 日	有田市
9 月 11・12 日	海南市
9 月 26 日	上富田町
11 月 21 日	高野町
2 月 3 日	新宮市

・現地支援への同行　　6 か所

期　日	市町村社協名
10 月 29 日	海南市
10 月 30 日	上富田町
11 月 26 日	広川町
11 月 28 日	かつらぎ町
12 月 4 日	有田市
12 月 13 日	有田川町

② 福祉サービス利用援助事業から成年後見制度への円滑な移行促進

・令和 6 年度移行者数　　12 人（実利用者数の約 1.6%）

③ 市町村社協法律相談支援事業の実施

福祉サービス利用援助事業の遂行及び福祉サービス利用援助事業から成年後見制度への移行にあたっては、法律問題の解決が必要とされる場面が多いことから、本会を通じ直接、弁護士相談を実施することで市町村社協を支援する。

期日	市町村社協名	内容
2 月 10 日	海南市	福祉サービス利用援助事業利用者が入居していた賃貸住宅の大家より、本人親子が入居していたことによるアパートの空室による損失の補償を福祉サービス利用援助事業の契約者である海南市社協に訴えてきたもの（本人親子が入居してから他住民からの苦情が寄せられ結果として空室に繋がったため、空室による家賃収入の減収分として海南市社協に対して損失補償を求められた） ↓ 弁護士に繋ぎ、アドバイスをいただいたうえで課題対応を図った。

2　成年後見制度利用促進基本計画に基づく取組促進への協力

（1）成年後見制度利用促進に関する研修会等の開催

① 成年後見制度利用の促進

ア 社会福祉法人等への成年後見制度出前講座の開催

成年後見制度の利用促進を図るため社会福祉法人等へ出向き、制度概要の説明を行った。（実施件数 6 か所）

イ 和歌山県成年後見制度利用促進協議会の開催

成年後見制度の利用の促進に関する法律第 12 条第 1 項に規定する成年後見制度利用促進基本計画に基づき、成年後見制度の利用の促進に関する施策の総合的かつ

計画的な推進を図るため、県内における取組成年後見制度の利用を促進するための取組方針並びに市町村及び市町村社会福祉協議会への支援を検討し、地域福祉の発展・向上を目指すことを目的として開催した。

期日	場所	参加者	内容
12 月 13 日			・和歌山県成年後見制度に関する担い手の育成方針（案）を県内市町村及び市町村社協へ案内。意見募集を図る。 ・併せて成年後見制度に係る取組みについてアンケートを行った。
3 月 6 日	ビッグ・ユー	32 名	【事前協議】 〇事業説明 ・担い手育成方針（案）について ・アンケート集計結果と分析 〇成年後見利用促進に係る先進市町村・市町村社協からの取組み報告 ・紀の川市社会福祉協議会　地域福祉課　課長補佐　小林　伊珠美　氏 〇意見交換
3 月 11 日	和歌山ビッグ愛	33 名	【事前協議】 〇事業説明 ・担い手育成方針（案）について ・アンケート集計結果と分析 〇成年後見利用促進に係る先進市町村・市町村社協からの取組み報告 ・白浜町　民生課　地域包括支援センター　社会福祉士　羽根　一誠　氏 〇意見交換
3 月 21 日	和歌山ビッグ愛（オンライン）	27 名	・担い手育成方針（案）について ・事前協議におけるアンケート集計調査及び意見交換会の報告 ・その他

ウ　成年後見制度利用促進に向けた体制整備研修会の開催

期日	場所	参加者	内容
10 月 2 日	和歌山ビッグ愛（オンライン）	51 名	講義「第 2 期成年後見制度利用促進基本計画に係る取組及び今後の動向について」 講師：厚生労働省社会・援護局地域福祉課成年後見制度利用促進室 行政説明「和歌山県における成年後見制度利用促進の現状」 説明：和歌山県社会福祉課 講義「家庭裁判所の役割と中核機関との関わりについて」 講師：和歌山家庭裁判所　裁判所書記官 水口　麻美　氏

エ　成年後見制度市町村長申立て研修会の開催

期日	場所	参加者	内容
10 月 2 日	和歌山ビッグ愛 （オンライン）	51 名	講義「市町村長申立の意義と申立てに係る必要書類について」 講師：弁護士　太田　達也　氏（ふたば法律事務所） 講義「市町村長申立てにかかる実務について」～行政からの視点～ 講師：白浜町　民生課　地域包括支援センター　社会福祉士　羽根　一誠　氏 講義「市町村長申立てにかかる実務について」～社協からの視点～ 講師：紀の川市社会福祉協議会　専門員　小林　伊珠美　氏

オ　成年後見制度利用促進にかかるアドバイザー派遣事業への協力

成年後見制度利用促進にあたり、中核機関の立ち上げや圏域単位での仕組みづくりなど、管内市町村の体制整備に関するアドバイザー、市町村等からの支援困難事案や後見人等に関する苦情等の相談に対して権利擁護支援に関する総合的な助言を行う専門的支援アドバイザーを派遣した。

○体制アドバイザー派遣

期日	場所	派遣アドバイザー
10 月 30 日	紀美野町	有田川町社協　北川　昌宏　氏
10 月 31 日	橋本市	県社会福祉士会　廣井　英徳　氏
11 月 11 日	海南市	紀の川市社協　小林　伊珠美　氏

○権利擁護支援アドバイザー派遣

期日	場所	派遣アドバイザー
3 月 5 日	海南市	和歌山弁護士会　太田　達也　氏

② 県成年後見センターの機能整理と運営

ア　相談支援　45 件

イ　成年後見支援センター運営委員会の開催

期日	場所	参加者	内容
3 月 21 日	和歌山ビッグ愛	太田　達也　弁護士 山本　美佐子　司法書士 星野　佳世子　社会福祉士	・令和 6 年度事業報告 ・令和 7 年度事業計画（案）

ウ　法人後見実施の促進

令和 6 年 5 月、社協による法人後見の実施状況について調査を行い、成年後見制度の推進上の課題や問題点について報告を行うと共に、中核機関設置の動きと併せ、後方支援に努めた。

３　問題の深刻化の予防

（１）福祉サービス利用援助事業に付随する困難課題対応の検討

ギャンブル依存症のケース（利用者がギャンブル依存症により、お金を持つとパチンコ等につぎ込んでしまう。生活費が足りなくなると社協へ臨時出金の依頼がある。計画通りに支援できず困難な状況への対応について、第１回福祉サービス利用援助事業専門員研修会にて、医師を招き依存症に対しての講義を受けるとともに、専門員と意見交換を図った。

意見交換の場	期日	参加者	内容
第１回 専門員研修	10 月 11・ 23 日	専門員 36 名	意見交換 「困難課題（ギャンブル依存症のケース)」 ・社協だけでなく、多機関で役割分担を決めて支援にあたる ・CW からの指導が必要 ・上手くできたときは褒める（成功体験の積み重ね）

４　事業開始時期　　平成１１年１０月１日

５　本事業にかかる一部業務委託（担当専門員の経験年数は、令和７年１月 14 日現在）

対象市町村数(30 市町村)		
委　託　先 ○担当専門員の職歴、経験年数等	事業対象 地域	事業内容
和歌山市社会福祉協議会 ○社会福祉士 ○専門員歴・１年～5 年	和歌山市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員４名を配置 生活支援員 12 名を配置
海南市社会福祉協議会 ○社会福祉士、ヘルパー2 級 ○専門員歴・2 年～6 年	海南市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員２名を配置 生活支援員 11 名を配置
橋本市社会福祉協議会 ○社会福祉士 ○専門員歴・5 年	橋本市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員１名を配置 生活支援員１名を配置
有田市社会福祉協議会 ○社会福祉士、精神保健福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・１年～24 年	有田市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員９名を配置 生活支援員３名を配置

御坊市社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・6 年～12 年	御坊市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 2 名を配置 生活支援員 9 名を配置
田辺市社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事、介護支援専門員 ○専門員歴・1 年～22 年	田辺市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 11 名を配置 生活支援員 19 名を配置
新宮市社会福祉協議会 ○介護福祉士、保育士 ○専門員歴・1 年～5 年	新宮市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 3 名を配置 生活支援員 5 名を配置
紀の川市社会福祉協議会 ○社会福祉主事、保育士、幼稚園教諭 社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士 ○専門員歴・1 年～11 年	紀の川市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 5 名を配置 生活支援員 14 名を配置
岩出市社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・20 年	岩出市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 1 名を配置 生活支援員 3 名を配置
紀美野町社会福祉協議会 ○介護福祉士、ホームヘルパー1 級、社会福祉主事 ○専門員歴・3 年～19 年	紀美野町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 2 名を配置 生活支援員 2 名を配置
かつらぎ町社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事、介護支援専門員 ○専門員歴・1 年～4 年	かつらぎ町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 4 名を配置 生活支援員 7 名を配置
九度山町社会福祉協議会 ○社会福祉士、介護支援専門員 ○専門員歴・12 年	九度山町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 1 名を配置 生活支援員 1 名を配置

高野町社会福祉協議会 ○社会福祉主事、介護福祉士 ○専門員歴・3～19 年	高野町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 2 名を配置 生活支援員 1 名を配置
湯浅町社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事、介護支援専門員 ○専門員歴・6 年～19 年	湯浅町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 2 名を配置 生活支援員 2 名を配置
広川町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・11 年～12 年	広川町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 2 名を配置 生活支援員 2 名を配置
有田川町社会福祉協議会 ○介護福祉士、理学療法士、社会福祉主事 ○専門員歴・1 年～10 年	有田川町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 3 名を配置 生活支援員 4 名を配置
美浜町社会福祉協議会 ○社会福祉主事、介護福祉士 ○専門員歴・1 年～5 年	美浜町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 2 名を配置 生活支援員 1 名を配置
日高町社会福祉協議会 ○介護福祉士 ○専門員歴・7 年	日高町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 1 名を配置 生活支援員 2 名を配置
由良町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・19 年	由良町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 1 名を配置 生活支援員 1 名を配置
印南町社会福祉協議会 ○社会福祉主事、社会福祉士、介護支援専門員 ○専門員歴・19 年	印南町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 1 名を配置 生活支援員 1 名を配置

みなべ町社会福祉協議会 ○社会福祉士、介護支援専門員、ヘルパー2 級、保育士、幼稚園教諭、社会福祉主事、防災士 ○専門員歴・1 年～13 年	みなべ町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 2 名を配置 生活支援員 5 名を配置
日高川町社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・1 年～19 年	日高川町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 3 名を配置 生活支援員 3 名を配置
白浜町社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・1 年～14 年	白浜町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 4 名を配置 生活支援員 4 名を配置
上富田町社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・4～13 年	上富田町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 2 名を配置 生活支援員 2 名を配置
すさみ町社会福祉協議会 ○社会福祉士、介護福祉士 ○専門員歴・1～7 年	すさみ町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 3 名を配置 生活支援員 3 名を配置
那智勝浦町社会福祉協議会 ○社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、主任介護支援専門員 ○専門員歴・1 年～19 年	那智勝浦町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 3 名を配置 生活支援員 3 名を配置
太地町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・5 年～14 年	太地町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 2 名を配置 生活支援員 1 名を配置
古座川町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・7 年	古座川町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 1 名を配置 生活支援員 3 名を配置

北山村社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・2 年	北山村	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 1 名を配置 生活支援員 1 名を配置
串本町社会福祉協議会 ○社会福祉士、精神保健福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・3 年～19 年	串本町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 3 名を配置 生活支援員 3 名を配置

6　契約締結審査会の開催状況

委員 (5 名)	玉置・石倉法律特許事務所　　石倉　誠也　氏（弁護士） 医師　　上西　禎一　氏（医師） 和歌山県司法書士会理事　林　紀久夫　氏（司法書士） 和歌山県社会福祉士会副会長　　新野　佳世子　氏（社会福祉士） 和歌山県福祉保健総務課副課長　　岡本　雅樹　氏（行政）
任期	令和 5 年 10 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日

回数	開催期日	開催場所	参加者	協議事項
第 1 回	4 月 22 日	和歌山ビッグ愛	委員 5 名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規 13 件、解約 2 件） (3) 報告（新規 11 件、解約 17 件）
第 2 回	5 月 22 日		委員 5 名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規 5 件、解約 1 件） (3) 報告（新規 7 件、解約 6 件）
第 3 回	6 月 19 日		委員 5 名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規 8 件、解約 1 件） (3) 報告（新規 13 件、解約 2 件）
第 4 回	7 月 22 日		委員 5 名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規 4 件、解約 2 件、その他 1 件） (3) 報告（新規 2 件、解約 4 件）
第 5 回	8 月 23 日		委員 5 名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規 9 件、解約 2 件） (3) 報告（新規 7 件、解約 7 件）
第 6 回	9 月 27 日		委員 5 名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報 (2) 助言（新規 10 件） (3) 報告（新規 5 件、解約 10 件）
第 7 回	10 月 24 日		委員 4 名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規 16 件、解約 2 件） (3) 報告（新規 3 件、解約 8 件）
第 8 回	11 月 18 日		委員 4 名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規 4 件、解約 5 件） (4) 報告（新規 24 件、解約 7 件）
第 9 回	12 月 23 日		委員 5 名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規 8 件、解約 3 件） (3) 報告（新規 6 件、解約 11 件）

第 10 回	1 月 24 日		委員 4 名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規 11 件、解約 2 件） (3) 報告（新規 6 件、解約 13 件）
第 11 回	2 月 21 日		委員 4 名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言（新規 13 件、解約 2 件） (3) 報告（新規 7 件、解約 14 件）
第 12 回	3 月 24 日		委員 4 名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 審査（更新 1 件、新規 1 件） (3) 助言（新規 9 件、解約 2 件、その他 2 件） (3) 報告（新規 11 件、解約 8 件）

7　専門員・生活支援員の研修実施状況

研修名	期日	開催場所	参加者	内容
生活支援員 新任研修会	6 月 7 日 6 月 25 日	6 月 7 日 和歌山ビッグ愛 6 月 25 日 田辺市民総合センター	生活支援員 13 名 専門員 16 名	（1）「福祉サービス利用援助事業・生活支援員の業務について」 （2）「先輩生活支援員に学ぶ」 講師 紀の川市社会福祉協議会生活支援員 飯高　厚子 氏 新宮市社会福祉協議会生活支援員　森浦　美喜　氏 白浜町社会福祉協議会生活支援員 黒田 尚男 氏
生活支援員 継続研修会	1 月 22 日 1 月 28 日	1 月 22 日 和歌山ビッグ愛 1 月 28 日 田辺市民総合センター	生活支援員 46 名	【講義】 「高次脳機能障害について」 講師 県障害児者サポートセンター身体障害者支援係長　川崎　美穂　氏 高次脳機能障害支援コーディネーター　谷口　和隆　氏 「高齢者を取り巻く状況と介護保険制度」 講師 県長寿社会課　課長補佐兼介護保険班長　岩脇　美史　氏
第 1 回 専門員 研修会	10 月 11 日 10 月 23 日	10 月 11 日 田辺市民総合センター 10 月 23 日 和歌山ビッグ愛	専門員 36 名	【講義】 「ギャンブル依存症について」 講師 和歌山県立こころの医療センター　医師　大星　裕司　氏 〃　精神保健福祉士　植田　利華子　氏 医療法人　宮本病院　室長　髙垣　明泰　氏 【事例検討】 ギャンブル依存症のケース 【事業説明】 （1）ハラスメントについて （2）預かり物 10 年保管について （3）運営監視合議体現地調査について （4）委託金について （5）ブロック別専門員研修会について （6）不詳事故予防の徹底について （7）成年後見制度利用促進について （8）その他
第 2 回 専門員 研修会	1 月 22 日 1 月 28 日	1 月 22 日 和歌山ビッグ愛 1 月 28 日	専門員 37 名	【講義】 「死後事務委任契約について」 講師 司法書士　林　紀久夫　氏

		田辺市民総合センター		※福祉サービス利用援助事業契約締結審査会副委員長 【交流会】 専門員が抱えている困難ケースについての悩み等を専門員同士で語り合う 【事業説明】 （１）システム改修について （２）R7 委託金について （３）運営監視合議体現地調査について （４）不詳事故予防の徹底について （５）その他

８　広報・啓発実施状況

（１）広報活動等

・事業周知のための広報活動として、『福祉わかやま』に記事を掲載した。

・本会ホームページに月次集計を掲載した。

・パンフレットを県の関係課・振興局、各市町村、各市町村社会福祉協議会、関係機関等に配布した。

（２）会議等での事業説明

期　日	会議名	場　所
2 月 28 日	新任民生委員・児童委員研修会	和歌山市

（３）その他会議等への参加

期　日	会議名	場　所
5 月 17 日	第 1 回和歌山市成年後見制度利用促進会議	和歌山歴史館
5 月 30 日	近畿府県成年後見制度利用促進に係る担当者等情報交換会	大阪府庁
6 月 5 日	日常生活自立支援事業部・課・所長会議	全社協
6 月 13 日	和歌山県人権相談ネットワーク協議会研修会	和歌山県自治会館
6 月 26 日	成年後見制度利用促進第 1 回都道府県全体交流会	オンライン会議
7 月 19 日	第 2 回和歌山市成年後見制度利用促進会議	和歌山歴史館
7 月 19 日	シンポジウム「意思決定に困難を抱えた人たちを地域においてどう支えるべきか」	橋本市
9 月 18 日	成年後見制度利用促進第 2 回都道府県全体交流会	オンライン会議
9 月 20 日	第 1 回持続可能な権利擁護支援モデル事業	オンライン研修
11 月 12 日	和歌山県認知症疾患医療連携協議会	県立医科大学
11 月 15 日	第 4 回和歌山市成年後見制度利用促進会議	和歌山歴史館
11 月 15 日	第 2 回持続可能な権利擁護支援モデル事業	オンライン研修
11 月 20 日	成年後見制度利用促進第 3 回都道府県全体交流会	オンライン会議
12 月 9 日	法テラス和歌山地方協議会	ビッグ愛
12 月 16 日	成年後見制度利用促進体制整備研修	オンライン研修
1 月 17 日	第 5 回和歌山市成年後見制度利用促進会議	和歌山歴史館
1 月 17 日	第 3 回持続可能な権利擁護支援モデル事業	オンライン研修
1 月 24 日	和歌山県医療観察制度運営連絡協議会	和歌山保護観察所
1 月 27 日	成年後見制度利用促進体制整備研修　応用研修	オンライン研修
1 月 29 日	成年後見制度利用促進体制整備研修　応用研修	オンライン研修

2月3日	成年後見制度利用促進体制整備研修　応用研修	オンライン研修
2月4日	和歌山県人権相談ネットワーク協議会研修会	和歌山県自治会館
2月7日	成年後見制度利用促進体制整備研修（都道府県担当職員向け）	オンライン研修
2月12日	KAERUBizオンラインセミナー	オンライン研修
2月12日	成年後見制度利用促進にかかる3士会合同会議	和歌山弁護士会館
2月14日	成年後見制度利用促進体制整備研修（都道府県担当職員向け）	オンライン研修
2月19日	成年後見制度利用促進第4回都道府県全体交流会	オンライン会議
2月20日	成年後見制度利用促進に係る近畿府県情報交流会	オンライン会議
2月27日	日常生活自立支援事業・成年後見制度担当者会議	大阪府社協
3月3日	KAERUBizオンラインセミナー	オンライン研修
3月3日	査察指導員会議	県庁
3月7日	第4回持続可能な権利擁護支援モデル事業	オンライン研修
3月7日	権利擁護シンポジウム	オンライン会議
3月27日	成年後見3士会合同会議	弁護士会館

表1　福祉サービス利用援助事業実施状況（令和6年度）

（単位：人）

社協名	令和6年度新規契約者数								事業開始からの累計					実利用者数
						左の内訳								
	高齢者	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計	一般	利用料全額免除	利用料半額免除	高齢者	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計	
和歌山市	4	3	5	3	15	2	9	4	234	72	102	18	426	131
海南市	4	2	3	0	9	3	4	2	102	27	50	9	188	57
橋本市	0	0	1	0	1	0	1	0	42	4	6	2	54	11
有田市	2	1	0	3	6	1	1	4	72	19	24	7	122	35
御坊市	2	0	0	0	2	0	1	1	43	21	24	0	88	26
田辺市	7	1	1	1	10	1	5	4	190	55	56	6	307	98
新宮市	6	1	0	0	7	0	3	4	78	23	8	5	114	22
紀の川市	6	8	5	0	19	4	2	13	63	54	25	7	149	65
岩出市	0	1	1	0	2	0	0	2	17	13	12	5	47	15
紀美野町	4	0	1	0	5	2	2	1	38	6	35	4	83	22
かつらぎ町	2	4	0	0	6	1	1	4	42	11	10	2	65	31
九度山町	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	3	0	17	1
高野町	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	5	2
湯浅町	1	0	1	0	2	0	1	1	22	5	14	1	42	16
広川町	2	0	0	0	2	1	0	1	26	5	9	2	42	16
有田川町	2	2	3	1	8	3	2	3	101	17	48	7	173	33
美浜町	2	0	0	0	2	0	0	2	14	1	4	0	19	8
日高町	1	0	0	0	1	0	1	0	3	0	1	0	4	2
由良町	0	0	0	0	0	0	0	0	15	9	2	1	27	4
印南町	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	3	0	10	5
みなべ町	2	0	1	0	3	0	1	2	41	7	20	3	71	20
日高川町	0	0	0	0	0	0	0	0	9	4	3	1	17	4
白浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	64	16	24	7	111	25
上富田町	0	0	0	0	0	0	0	0	12	13	9	3	37	15
すさみ町	2	1	1	0	4	0	4	0	35	7	11	1	54	17
那智勝浦町	3	0	0	0	3	0	2	1	37	13	7	0	57	13
太地町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	4	1
古座川町	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	3	0	12	5
北山村	1	0	0	0	1	0	1	0	11	0	0	0	11	3
串本町	0	0	1	0	1	0	1	0	81	16	25	4	126	20
合計	53	24	24	8	109	18	42	49	1,426	421	540	95	2,482	723
解約	66	9	20	7	102		解約者数内訳		1,190	186	322	61	1,759	
増減	▲ 13	15	4	1	7		実利用者数内訳		236	235	218	34	723	

表2 福祉サービス利用援助事業実施状況（令和6年度）
（相談対象者件数）

社協名	令和6年度累計				
	高齢者	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
和歌山市	42	10	26	7	85
海南市	7	3	2	0	12
橋本市	10	2	5	2	19
有田市	5	3	2	0	10
御坊市	3	0	0	0	3
田辺市	10	3	2	2	17
新宮市	10	2	1	0	13
紀の川市	2	1	3	0	6
岩出市	0	1	0	0	1
紀美野町	6	2	0	1	9
かつらぎ町	2	2	0	0	4
九度山町	2	0	0	0	2
高野町	0	0	0	0	0
湯浅町	4	0	0	0	4
広川町	3	0	1	0	4
有田川町	10	3	4	0	17
美浜町	11	0	0	0	11
日高町	2	0	0	0	2
由良町	0	0	0	0	0
印南町	0	0	0	0	0
みなべ町	8	0	2	0	10
日高川町	0	0	0	0	0
白浜町	3	1	1	0	5
上富田町	1	0	0	0	1
すさみ町	3	1	0	0	4
那智勝浦町	3	0	0	1	4
太地町	0	0	0	0	0
古座川町	1	0	0	0	1
北山村	0	0	0	0	0
串本町	0	0	1	0	1
合計	148	34	50	13	245

表3　福祉サービス利用援助事業実施状況（令和6年度）
（相談内容別件数）

社協名	令和6年度累計											
	サービス利用手続	手続援助	金銭管理	書類等預かり	保健手続き	医療	苦情	生活設計	本事業問合せ	成年後見	その他	合計
和歌山市	81	78	87	62	0	0	0	2	11	2	1	324
海南市	12	12	12	12	0	0	0	0	1	1	0	50
橋本市	0	1	17	6	0	0	0	13	15	3	0	55
有田市	8	8	9	6	0	0	0	2	1	1	0	35
御坊市	3	3	3	3	0	0	0	2	2	0	0	16
田辺市	1	6	15	11	0	0	0	5	15	2	0	55
新宮市	4	4	13	6	0	0	0	0	12	0	0	39
紀の川市	0	1	5	0	0	0	0	2	3	2	0	13
岩出市	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	5
紀美野町	8	8	9	4	0	0	0	0	0	0	0	29
かつらぎ町	3	3	3	3	2	2	0	4	2	0	0	22
九度山町	0	0	0	1	0	0	0	2	2	1	0	6
高野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯浅町	4	4	4	3	0	0	0	0	1	0	0	16
広川町	3	4	4	3	0	0	0	0	0	0	0	14
有田川町	11	12	16	10	0	0	0	0	4	0	0	53
美浜町	0	0	0	0	0	0	0	7	6	0	3	16
日高町	1	1	1	1	0	0	0	1	2	0	0	7
由良町	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3
印南町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなべ町	0	4	10	8	0	0	0	10	7	1	0	40
日高川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白浜町	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	6
上富田町	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
すさみ町	0	0	4	2	0	0	0	3	0	0	0	9
那智勝浦町	4	5	5	2	0	0	0	2	3	0	0	21
太地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古座川町	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
串本町	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	3
合計	146	159	226	147	2	2	0	56	90	13	4	845

≪地域福祉部・生活資金班・生活福祉資金等貸付事業関係≫

1　特例貸付借受世帯等に対する生活支援及び適正な債権管理

（1）特例貸付の実施

① 特例貸付の実施

令和2年3月25日から申請受付を開始、当初は令和2年7月末までの受付期間であったが、受付期間の延長が繰り返され、令和4年9月末をもって終了した。

なお、延長貸付は令和3年6月末、再貸付は令和3年12月末で受付終了。

ア．特例貸付状況（令和2年3月25日～令和5年3月31日）　（詳細は表2－2）

緊急小口資金 11,150件（2,021,961,000円）

総合支援資金 20,893件（10,985,028,500円）

（2）生活支援を含む適正な債権管理の実施

① 償還免除手続きの実施

借受人に対して償還免除手続きの案内を行い、市町村社協を通じて免除申請を受け付け、審査の結果を借受人に対して通知した。

ア　年度別償還免除決定状況　（詳細は表2－3）

	非課税免除（※1）	任意免除（※2）	計
令和4年度	9,527件	485件	10,012件
令和5年度	3,751件	457件	4,208件
令和6年度	3,108件	467件	3,575件
計	16,386件	1,409件	17,795件

（※1）年度別判定免除、及び次年度非課税免除

（※2）死亡、自己破産、生活保護受給、重度障害等

② 償還開始手続きの実施

10月25日に、償還免除とならなかった借受人に対して償還開始のお知らせを通知した。

総合支援資金（再貸付）	合　　計
3,017件	3,017件

③ 償還開始後の償還指導

ア　償還猶予決定状況

随時、借受人からの申し出により、市町村社協を通じて猶予申請を受け付け、審査の結果を借受人に対して通知した。

緊急小口資金	総合支援資金	合　　計
384件	890件	1,274件

イ　償還督促通知状況

11月22日に、10月末時点で3か月連続滞納者あて通知した。

緊急小口資金	総合支援資金	合　　計
1,658件	2,293件	3,951件

④ 生活支援にかかる取組の促進

ア　実践事例集の作成

県市町村社協連絡協議会 業務課題検討会（生活課題への取組）での検討を踏まえ、相談支援に取り組むポイントをまとめた「“その人らしい暮らし”を支える ～よりよい支援を目指す、市町村社会福祉協議会実践事例集～」を作成した。

イ　フォローアップ支援実施状況の確認

フォローアップ支援の実施にかかる厚生労働省発出の事務連絡が示すそれぞれの項目について、その実施状況を市町村社協の自己評価により確認した。

また、今後の取組の参考とするため、報告書を作成した。

ウ　生活困窮者への相談支援取組状況調査の実施

生活困窮者が抱える生活の困りごとへの支援について、市町村社協における取組状況の調査を実施した。

⑤　会議への参加

期　　日	場所	内　　容
5 月 15～16 日	東京都	「都道府県・指定都市社会福祉協議会部・課・所長会議」に 1 名が参加した。
7 月 4～5 日	東京都	全国生活福祉資金貸付事業担当職員研修会に 1 名が参加した。また、シンポジストとして 1 名が参加した。
9 月 6 日	京都府	「第 1 回近畿ブロック府県社協生活福祉資金担当部課長会議」に 2 名が参加した。
9 月 9 日	オンライン	「生活保護受給者による緊急小口資金等特例貸付の借受に係る調査に関する部・課・所長会議」に 1 名が参加した。
10 月 24 日	オンライン	「会計検査院の意見表示に関する常務理事・事務局長会議」に 2 名が参加した。
10 月 24～25 日	東京都	「全国生活福祉資金貸付事業運営研究協議会」に 2 名が参加した。
11 月 9～10 日	愛知県 オンライン 併用	第 11 回生活困窮者自立支援全国研究交流大会に 2 名（対面 1 名、オンライン 1 名）が参加した。
12 月 20 日	京都府	「近畿ブロック府県社協生活福祉資金担当者会議」に 2 名が参加した。

⑥　その他

生活福祉資金アセスメントシートシステムの改修、運用を実施した。

（3）会計検査院による実地検査

①　実地検査の受検

ア　市町村社協との事前打合せ

4 月 5 日	岩出市社協
4 月 8 日	御坊市社協、田辺市社協
4 月 9 日	和歌山市社協
4 月 10 日	海南市社協

イ　実地検査の受検及び市町村社協の検査への立会い

4 月 15 日、16 日	本会が受検
4 月 17 日	検査への立会い（和歌山市社協、海南市社協、田辺市社協）
4 月 18 日	検査への立会い（御坊市社協、岩出市社協）
4 月 19 日	講評

② 指摘事項及び本会の対応

指摘事項	本会の対応
1）生活保護受給者への貸付を実施し、償還免除を行っているケースがあることについて	該当ケースのある市町村社協を訪問し、状況を確認。その結果について、県を通じて会計検査院に報告した。 また、厚生労働省から発出された事務連絡に基づき、福祉事務所から保護費の返還請求を行ったと報告のあったケースについて、必要な対応を実施する。
2）免除者、猶予者、(滞納者)へのフォローアップ支援について	厚生労働省発出の事務連絡に基づくフォローアップ支援について、市町村社協の実施状況を確認した。 支援の状況等を適切に記録するため、アセスメントシートシステムを改修する。
3）区分経理について	委託事務ごと（通常、特例）の区分経理について、担当者会議等で改めて確認。上記1）の訪問時にも個別に説明し、確認した。

③ 指摘事項に係る説明、確認等

期日	訪問先	内容
6月3日	紀の川市社協	・生活保護受給者の特例貸付に係る状況確認と説明 ・フォローアップ支援への取組協議 ・特例貸付事務費の区分経理についての確認 ・長期滞納債権についての状況確認の依頼
6月4日	有田市社協	
6月7日	海南市社協、御坊市社協	
6月13日	串本町社協、新宮市社協	
6月14日	田辺市社協	

④ 会計検査院の意見表示

10月22日、本会を含む１７都府県社協への検査結果を踏まえ、会計検査院の意見表示が公表された。

２ 生活福祉資金等貸付事業の効果的な運営（適正な貸付け・債権管理）

平成２０年度第１回理事会（平成20年5月29日）で確認した次の方針による取組を継続しているが、新型コロナウイルス感染症にかかる特例貸付の債権管理業務が煩雑となっている。

（1）貸付段階	（2）償還指導	（3）不良債権
貸付のみでなく、他の支援施策検討等、相談支援を行う。	声掛け、償還方法変更を含む償還強化。状況に応じ法的措置も実施。	不良債権を個々に精査交渉し、その整理を実施する。

（1）貸付段階

① 貸付審査等運営委員会

生活福祉資金貸付審査等運営委員会（以下、「運営委員会」という。）（委員１１名）を設置した。運営委員会は貸付けの決定等に関する審査を行い、本会会長に意見具申した。開催状況は、表１のとおり。

② 貸付申込みの審査

会長専決を含め、貸付決定は、表２－１のとおり133件（50,819,191円）。

③ 窓口対応にかかる市町村社協及び民生委員の支援

ア 相談窓口である市町村社協への支援

a　生活福祉資金貸付事業担当者会議の開催

	期　日	場　所	参加者数	内容
第１回	5 月 30 日	オンライン	６２人	・特例貸付債権管理の現状報告と今年度の流れの確認等について ・会計実地検査にかかる報告と今後の対応について ・その他
第２回	10 月 28 日	田辺市	１７人	・会計検査院の意見表示について ・生活福祉資金の貸付・償還現状報告 ・債権管理における今後の流れの確認等について ・特例貸付債権管理事務費の活用並びに体制強化等について ・令和７年度予算及び令和８年度以降について ・アセスメントシートシステムの改修について ・民生委員調査意見書に関する運営要領改正について ・その他
	10 月 30 日	和歌山市	２４人	

b　生活福祉資金貸付事業担当者研修会の開催

期　日	場　所	参加者数	内容
2 月 25 日	和歌山市	３９人	・説明「生活福祉資金貸付事業の趣旨・意義」について ・事例検討「社協が行う相談支援」 ・説明「生活福祉資金の貸付事務」について ・特例貸付に係るフォローアップ支援及び債権管理について

c　和歌山市社協主催の生活福祉資金貸付事業に関する会議等への参画

期　日	参加者数	内容
4 月 22 日	14 人	生活福祉資金貸付事業について ・特例貸付フォローアップ支援等の進捗状況の確認について ・業務における共有事項　等
7 月 18 日	11 人	
11 月 6 日	11 人	

イ　民生委員定例会等への派遣

期　　日	場　所	内　　容
9 月 12 日	和歌山市	「和歌山県民生委員児童委員協議会第４回理事会」に２名が出席し、民生委員調査書のこと等について説明した。
9 月 24 日	和歌山市	「和歌山県民生委員児童委員協議会第２回代議員会」に２名が出席し、民生委員調査書のこと等について説明した。
2 月 5 日	和歌山市	「和歌山市民生委員・児童委員会協議会定例会長会」に２名が出席し、民生委員調査書のこと等について説明した。
2 月 28 日	和歌山市	「新任民生委員・児童委員研修会」で制度の概要を説明した。

ウ　窓口対応の相談にかかる市町村社協及び民生委員支援

パンフレットを、市町村社協等に対して配布した。

④　住民及び関係機関への貸付事業周知・広報

ア　広報紙への掲載

市町村社協が実践する相談支援を周知するため、福祉わかやま（not alone）で３社協の取組を紹介するとともに、12 月号では借受人への取材をもとに特集記事を掲載した。

イ　リーフレットの配布

教育支援資金のチラシを、県教育委員会を通じ県内の中学校、高校等へ配布した。

⑤　生活困窮者自立支援法に関する対応

ア　会議・研修等への参加

期　　日	場　所	内　　容
10 月 29 日	和歌山市	和歌山市自立相談支援機関と和歌山市社協との協議に 4 名が参加した。

⑥　関係機関との連携

ア　会議等への参加

期　　日	場　所	内　　容
7 月 16 日	和歌山市	和歌山県居住支援協議会（第 4 回）に 2 名が参加した。
7 月 17 日	和歌山市	第 9 回和歌山就職氷河期世代活躍支援プラットホーム会議に 1 名が参加した。
1 月 16 日	和歌山市	「医療に関する協議会」に 2 名が参加した。
2 月 18 日	和歌山市	第 10 回和歌山就職氷河期世代活躍支援プラットホーム会議に 1 名が参加した。
3 月 26 日	和歌山市	「令和 6 年度和歌山県居住支援協議会総会」に 2 名が参加した。

（2）償還指導

①　借受世帯の自立支援

ア　民生委員との連携

借受世帯の担当民生委員の「借受世帯支援記録票」の整備状況をとりまとめ、全国社会福祉協議会に報告した。

イ　滞納初期段階での状況確認

借受世帯の償還指導及び支援に活用するため、市町村社会福祉協議会に償還月次報告書等の帳票を送付した。

②　生活福祉資金債務世帯等の自立支援の強化の実施

令和２年度から継続して「生活福祉資金債務世帯等の自立支援の強化」を実施し、債務者等に対する相談支援の強化を行い、債務者等の生活の安定を目指し、ひいては、償還履行者率の向上を図ることを目的として、和歌山市社会福祉協議会、田辺市社会福祉協議会へ委託し実施した。

（3）不良債権への対応

①　償還督促等の実施

ア　督促状の送付

償還計画から１か月以上または１回以上滞納している借受人、連帯借受人、連帯保証人等に、督促状（６月、１２月の年２回）を送付した。

イ　滞納世帯への個別調査等の強化

計画に基づく償還がなかった借受世帯について、市町村社協に対し償還督促等を依頼し、その状況について、「償還督促状況連絡票」による報告を求めた。

ウ　個別督促の実施等

債務者や取扱い市町村社協、担当民生委員から償還についての相談を随時受け付け、督促等の個別協議、同行支援を行った。また、必要に応じ、就労支援、福祉サービス利用支援等を行った。

本会独自の指標として「e 償還履行者率」を設け、生活状況に応じた返済を促した。

※　償還履行者率：償還対象件数に対して、金額に関係なく償還された件数の割合（不動産担保型生活資金除く）。

a　県社協が現地に出向いての償還督促(生活支援)件数：１８件
b　債務確認件数：４６件
c　償還相談：１，３４２件
d　通常貸付の償還完了(償還免除を含む)：１０２件
e　償還履行者率：通常貸付６１．４%、特例貸付５２．７%

エ　転居先追跡（住民票調査等）

届出なく転居された行方不明者について、当該市町村への住民票等の請求を行い、転居先の追跡を行った（通常貸付１３４件、特例貸付６６３件)。

オ　自己破産・免責手続等への対応

弁護士等からの債権調査への回答を行った（計７９人分、１９２件)。

②精査交渉を重ねたうえで、次の不良債権を運営委員会に諮り整理した。

	件数	金額
①　元金（及び利子）の支払免除	１６	6,843,719 円（元金）
②　元金（及び利子）の支払免除（事前審査）	1	2,203,980 円（元金） ※3 月 31 日現在、要件を満たしておらず、免除未実施

③不動産担保型生活資金の償還滞納債権への対応

・相続人が任意売却を行い償還完了となった。（要保護２件）
・相続財産清算人（弁護士）が、売却手続き中。　（一般１件）

（4）その他

①　会議等への参加

期　　日	場所	内　　容
5 月 28 日	オンライン	「生活福祉資金貸付事業におけるオンライン化に関する説明会」に 2 名が参加した。
6 月 21 日	オンライン	「NEXS ネットワーク調査説明会」に 2 名が参加した。
7 月 22 日	オンライン	「市区町村社協連携システム 4 次導入に関する説明会」に 2 名が参加した。
7 月 30 日	オンライン	「民生委員にかかる資金運営要領改正等についての説明会」

		に１名が参加した。
9 月 10 日	オンライン	「第１回生活福祉資金貸付事業オンライン情報交換会」に３名が参加した。
12 月 6 日	オンライン	「業務システム 2024 年度２次改修に関する説明会」に５名が参加した。
2 月 19 日	オンライン	「第２回生活福祉資金貸付事業オンライン情報交換会」に２名が参加した。
3 月 12 日	オンライン	「生活福祉資金業務システム運営委員会」に１名が参加した。

② 県市町村社協連絡協議会　業務課題検討会（生活課題への取組）への参画

	期　日	場　所	参加者数	内容
第１回	7 月 9 日	和歌山市	26 人 (15 社協)	・座長決定 ・昨年度の振返りと課題提起 ・検討事例の選定
第２回	8 月 6 日	和歌山市	26 人 (15 社協)	・前回の振返り ・事例検討
第３回	10 月 8 日	印南町	27 人 (15 社協)	・前回の振返り ・グループワーク「事例検討での“学び”を自社協での実践に活かす」
第４回	11 月 29 日	和歌山市	22 人 (14 社協)	・前回の振返り ・グループワーク①「実践事例集」 ・グループワーク②「相談支援の実践力強化に向けて」

３　臨時特例つなぎ資金貸付制度の運用

（１）新規の貸付申請は１件。
（２）債権管理を行った（詳細は別表１４～１５）。

（備考）国の臨時特例つなぎ資金貸付制度要綱に基づき、住居のない離職者に対し、公的給付または公的貸付の交付を受けるまでの当面の生活費を貸し付けることにより、自立を支援する生活福祉資金貸付事業とは枠外の事業として、平成 21 年 10 月から実施している。

≪地域福祉部・生活資金班・福祉人材確保等にかかる返還免除付き貸付事業関係≫

１　福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業の広報啓発及び適正な貸付の実施

（１）介護福祉士修学資金等貸付事業

返還免除付きの貸付を行うことで、介護人材の確保を図った。また、ホームページ、広報紙（福祉わかやま）への掲載等を通じ、事業周知の広報を行った。

①　介護福祉士修学資金

ア　貸付対象等

介護福祉士養成施設に在学する方に、修学資金、入学準備金及び就職準備金等を貸し付ける（免除要件：５年間介護の業務に従事すること）。

イ　募集

①第１次募集　令和６年１月２４日から４月２２日まで　（令和６年度入学予定者対象）

②第２次募集　令和６年５月２０日から６月２０日まで（令和６年度入学者対象）

ウ　貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
①介護福祉士修学資金（令和６年度入学予定者）	修学資金	57	67,680,000
	入学準備金	57	11,400,000
	就職準備金	57	11,340,000
	国家試験対策費	57	4,560,000
	生活費加算	1	828,240
②介護福祉士修学資金（令和６年度入学者）	修学資金	15	18,000,000
	入学準備金	15	3,000,000
	就職準備金	15	3,000,000
	国家試験対策費	15	1,200,000
	生活費加算	0	0
合計		72	121,008,240

※「件数」の合計は、人数

②　福祉系高校修学資金

ア　貸付対象等

福祉系高校に在学する方に、修学準備金及び就職準備金等を貸し付ける（免除要件：３年間介護の業務に従事すること）。

イ　募集

令和６年４月９日から５月３１日まで　（令和６年度在学者対象）

ウ　貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
福祉系高校修学資金	修学準備金	0	0
	介護実習費	0	0
	国家試験対策費	0	0
	就職準備金	0	0
合計		0	0

※「件数」の合計は、人数

③　福祉系高校修学資金返還充当資金

ア　貸付対象等

福祉系高校修学資金の借受人が、卒業後に県内において障害福祉分野等の業務に従事した場合、福祉系高校修学資金返還のための充当資金として貸し付ける。（免除要件：３年間障害福祉等の業務に従事すること）。

イ　貸付決定　０件

④　介護福祉士実務者研修受講資金

ア　貸付対象等

介護福祉士実務者養成施設に在学する方に、実務者研修受講資金を貸し付ける（免除要件：２年間介護の業務に従事すること）。

イ　募集

・第１期　　令和６年４月２２日から５月３１日まで
・第２期　　令和６年７月１日から８月３０日まで
・第３期　　令和６年１０月１日から１１月２９日まで
・第４期　　令和７年１月６日から２月２８日まで

ウ　貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
介護福祉士実務者研修受講資金	第１期	20	3,850,000
	第２期	56	9,869,412
	第３期	18	3,096,829
	第４期	9	1,483,979
計		103	18,300,220

⑤　介護人材再就職準備金

ア　貸付対象等

離職している介護人材のうち一定の経験を有する方に、再就職のための準備金を貸し付ける（免除要件：２年間介護の業務に従事すること）。

イ　募集

令和６年４月２２日から令和７年３月３１日まで

ウ　貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
介護人材再就職準備金	0	0

⑥　介護分野就職支援金

ア　貸付対象等

他の業種で働いていた方等が、介護職員初任者研修等を修了し、県内の介護施設・事業所に就職する際の費用を貸し付ける（免除要件：２年間介護の業務に従事すること）。

イ　募集

令和６年４月２２日から令和７年３月３１日まで

ウ　貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
介護分野就職支援金	8	1,600,000

⑦　障害福祉分野就職支援金

ア　貸付対象等

他の業種で働いていた方等が、介護職員初任者研修等を修了し、県内の障害福祉サービスの業務に従事する際の費用を貸し付ける（免除要件：２年間障害福祉サービスの業務に従事すること）。

イ　募集

令和６年４月２２日から令和７年３月３１日まで

ウ　貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
障害福祉分野就職支援金	2	400,000

⑧　社会福祉士修学資金

ア　貸付対象等

社会福祉士養成施設に在学する方に、修学資金、入学準備金、就職準備金及び生活費加算を貸し付ける（免除要件：５年間介護の業務に従事すること）。

イ　募集

①第１次募集　令和６年１月２４日から４月２２日まで　（令和６年度入学予定者対象）

②第２次募集　令和６年５月２０日から６月２０日まで（令和６年度入学者対象）

ウ　貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
①社会福祉士修学資金（令和６年度入学予定者）	修学資金	1	389,988
	入学準備金	1	10,000
	就職準備金	1	0
	生活費加算	1	532,270
②社会福祉士修学資金（令和６年度入学者）	修学資金	0	0
	入学準備金	0	0
	就職準備金	0	0
	生活費加算	0	0
合計		1	932,258

※「件数」の合計は、人数

（２）保育士修学資金貸付等事業

返還免除付きの貸付を行うことで、保育人材の確保を図った。また、ホームページへの掲載等を通じ、事業周知の広報を行った。

①　保育士修学資金

ア　貸付対象等

保育士養成施設に在学する方に、修学資金、入学準備金及び就職準備金等を貸し付ける（免除要件：５年間保育士として業務に従事すること）。

イ　募集

令和６年５月２３日から７月１８日まで　（令和６年度在学者対象）

ウ　貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
保育士修学資金	修学資金	70	78,898,440
	入学準備金	56	10,858,200
	就職準備金	67	13,400,000
	生活費加算	0	0
合計		70	103,156,640

※「件数」の合計は、人数

②　保育補助者雇上費貸付

ア　貸付対象等

保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に、保育士資格を持たない保育補助者の雇上げ費用を貸し付ける（免除要件：貸付期間中に保育士資格を取得すること）。

イ　募集

令和６年５月２３日から令和７年３月３１日まで

ウ　貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
保育補助者雇上費貸付	1	868,000

③　未就学児を持つ保育士に対する保育料一部貸付

ア　貸付対象等

未就学児を持つ潜在保育士で、新たに保育所等に勤務する方に、子どもの保育料の一部を貸し付ける（免除要件：２年間保育士として業務に従事すること）。

イ　募集

令和６年５月２３日から令和７年３月３１日まで

ウ　貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
未就学児を持つ保育士に対する保育料一部貸付	13	2,804,550

④　保育士就職準備金

ア　貸付対象等

新たに保育所等に勤務する方に、就職のための準備金を貸し付ける（免除要件：２年間保育士として業務に従事すること）。

イ　募集

令和６年５月２３日から令和７年３月３１日まで

ウ　貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
保育士就職準備金	3	1,200,000

⑤　未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金一部貸付

ア　貸付対象等

未就学児を持つ潜在保育士が、保育所等で勤務する際の子どもの預かり支援事業利用料金の一部を貸し付ける（免除要件：２年間保育士として業務に従事すること）。

イ　募集

令和６年５月２３日から令和７年３月３１日まで

ウ　貸付決定　０件

（３）ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

高等職業訓練機関在学者に入学準備金及び就職準備金の返還免除付き貸付を行うことで、ひとり親家庭の親の自立促進を図った。また、ホームページへの掲載等を通じ、事業周知の広報を行った。

①　ひとり親家庭高等職業訓練促進資金

ア　貸付対象等

ひとり親家庭の親で、高等職業訓練促進給付金の支給対象である方に、高等職業訓練機関への入学に要する費用及び取得した資格を活かした就職に要する費用を貸し付ける（免除要件：５年間資格を活かした職に従事すること）。

イ　募集

令和６年５月１日から５月３１日まで

ウ　貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	入学準備金	6	2,874,669
	就職準備金	0	0
合計		6	2,874,669

② ひとり親家庭住宅支援資金

ア 貸付対象等

原則、児童扶養手当の支給を受けており、母子・父子自立支援プログラムの策定を受け、自立に向けて意欲的に取り組むひとり親家庭の方の家賃支援として貸し付ける（免除要件：貸付を受けた日から１年以内に就職、転職等して１年間就業を継続すること）。

イ 募集

令和６年６月３日から令和７年３月３１日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
ひとり親家庭住宅支援資金	7	3,360,000

（４）児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

児童養護施設退所者等に生活費、家賃支援費及び資格取得費用の返還免除付き貸付を行うことで、円滑な自立支援を図った。また、ホームページへの掲載等を通じ、事業周知の広報を行った。

① 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金

ア 貸付対象等

- 大学等への進学により児童養護施設等を退所した方で、安定した生活基盤の確保が困難である方（以下「進学者」という。）に、家賃相当額及び生活費を貸し付ける。（免除要件：５年間就業を継続すること）
- 就職により児童養護施設等を退所した方で、安定した生活基盤の確保が困難である方（以下「就職者」という。）に、家賃相当額を貸し付ける。（免除要件：５年間就業を継続すること）
- 児童養護施設等入所者で、就職に必要な資格取得を希望する方（以下「資格取得希望者」という。）に、資格取得費用を貸し付ける。（免除要件：２年間就業を継続すること）

イ 募集

対　　象	募集期限
進学者、就職者	３月１９日
資格取得希望者	３月１９日

ウ 貸付決定

資金種類			件数	金額（円）
児童養護施設退所者等に対する自立支援資金	進学者	生活支援費	7	11,200,000
		家賃支援費	8	9,290,500
		小計	8	20,490,500
	就職者	家賃支援費	1	936,000
		小計	1	936,000
	資格取得希望者		12	2,992,250
合計			18	24,418,750

※「件数」の合計は、人数

2　福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業の適正な債権管理の実施

借受人からの申請に基づき、返還免除及び返還手続きを行った。

（1）介護福祉士修学資金等貸付事業

	免除決定				返還完了
	当然免除		裁量免除		
	件数	金額	件数	金額	件数
ア 介護福祉士修学資金	8 件	13,200,000 円	-	-	2 件
イ 福祉系高校修学資金	-	-	-	-	-
ウ 福祉系高校修学資金返還充当資金	-	-	-	-	-
エ 介護福祉士実務者研修受講資金	287 件	45,809,180 円	-	-	47 件
オ 介護人材再就職準備金	6 件	2,400,000 円	-	-	-
カ 介護分野就職支援金	15 件	3,000,000 円	-	-	1 件
キ 障害福祉分野就職支援金	2 件	400,000 円	-	-	-
ク 社会福祉士修学資金	1 件	1,000,000 円	-	-	1 件

（2）保育士修学資金貸付等事業

	免除決定				返還完了
	当然免除		裁量免除		
	件数	金額	件数	金額	件数
ア 保育士修学資金	29 件	43,897,840 円	-	-	6 件
イ 保育補助者雇上費貸付	-	-	-	-	-
ウ 未就学児を持つ保育士に対する保育料一部貸付	3 件	518,250 円	-	-	-
エ 保育士就職準備金	4 件	1,500,000 円	-	-	-
オ 未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金一部貸付	-	-	-	-	-

（3）ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

	免除決定				返還完了
	当然免除		裁量免除		
	件数	金額	件数	金額	件数
ア ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	5 件	2,103,237 円	-	-	1 件
イ ひとり親家庭住宅支援資金	-	-	-	-	-

（4）児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

	免除決定				返還完了
	当然免除		裁量免除		
	件数	金額	件数	金額	件数
児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業	5 件	3,748,500 円	-	-	-

３　運営委員会の開催

それぞれの貸付事業に運営委員会（委員各５名）を設置した。運営委員会は貸付の決定等に関する審査を行い、本会会長に意見具申した。各運営委員会及び開催状況は、次のとおり。

（１）介護福祉士修学資金等貸付事業運営委員会

回数	開催月	貸付件数		貸付額変更件数		免除件数		議　題
		申込	決定	申込	決定	申込	決定	
1	5 月 （書面表決）	58	58	0	0	0	0	・介護福祉士修学資金等貸付について（審査） （介護福祉士修学資金、社会福祉士修学資金）
2	7 月 （書面表決）	15	15	0	0	0	0	・介護福祉士修学資金等貸付について（審査） （2 次募集介護福祉士修学資金、社会福祉士修学資金）
3	8 月	0	0	0	0	141	141	・貸付金の返還免除について（審査）
4	11 月	0	0	1	1	99	99	・介護福祉士修学資金等貸付について（審査） ・貸付金の返還免除について（審査）
5	3 月	0	0	0	0	79	79	・貸付金の返還免除について（審査）

（２）保育士修学資金等貸付事業運営委員会

回数	開催月	貸付件数		免除件数		議　題
		申込	決定	申込	決定	
1	8 月	0	0	29	29	・貸付金の返還免除について（審査）
2	3 月	0	0	7	7	・貸付金の返還免除について（審査）

（３）ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業運営委員会

回数	開催月	貸付件数		免除件数		議　題
		申込	決定	申込	決定	
1	8 月	0	0	4	4	・貸付金の返還免除について（審査）
2	3 月	0	0	1	1	・貸付金の返還免除について（審査）

（４）児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業運営委員会

回数	開催日	貸付件数		免除件数		議　題
		申込	決定	申込	決定	
1	5 月 （書面表決）	3	3	0	0	・児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付について（審査）
2	8 月	0	0	4	4	・貸付金の返還免除について（審査）
3	11 月	1	1	1	1	・児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付について（審査） ・貸付金の返還免除について（審査）
4	3 月	5	5	1	1	・児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付について（審査） ・貸付金の返還免除について（審査）

4　その他

（1）会議への参加

期　　日	場所	内　　容
10 月 25 日	全社協	「新たな貸付事業担当職員連絡会議」に 1 名が参加した。
11 月 6 日	社会的養護自立支援拠点事業所すずらん	「児童養護施設自立支援担当者支援連携会議」に 3 名が参加し、児童養護施設退所者等への自立支援資金貸付事業の制度説明を行った。
3 月 14 日	オンライン	「介護福祉士修学資金保証制度　説明会」に 1 名が参加した。

（2）広報活動

期　　日	場所／方法	内　　容
1 月	福祉わかやま（1 月号）	児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業の利用者への取材をもとに記事を掲載した。 また、取材内容については、本会 SNS（インスタグラム、フェイスブック）にも掲載した。
2 月 20 日	和歌山城ホール	泉州広告株式会社主催の「介護・福祉・保育お仕事博 in 和歌山」にブース出展をし、介護人材再就職準備金、介護分野就職支援金、障害福祉分野就職支援金、保育士就職準備金の周知を行った。

（3）総務省近畿管区行政評価局によるヒアリング

期　　日	場所	内　　容
2 月 4 日	県社協	返還免除付き貸付事業の運用等について、総務省近畿管区行政評価局によるヒアリングを受けた。

表１　生活福祉資金貸付審査等運営委員会

回数	開催日	貸付件数		償還免除件数		償還猶予件数		議　題
		申込	決定	申込	決定	申込	決定	
1	令和6年6月21日	0	0	6	6	0	0	・生活福祉資金貸付決定件数・金額等について□ ・生活福祉資金貸付金の精査・交渉状況等について ・生活福祉資金貸付金　償還免除審査について（審査） ・要保護世帯向け不動産担保型生活資金の償還免除審査について（審査） ・令和６年度会計実地検査について ・生活福祉資金　特例貸付実施状況について ・相談状況について ・その他
2	令和6年8月23日	0	0	2	2	0	0	・生活福祉資金貸付決定件数・金額等について ・生活福祉資金貸付金の精査・交渉状況等について ・生活福祉資金貸付金　償還免除審査について（審査） ・生活福祉資金　特例貸付実施状況について ・相談状況について ・その他
3	令和6年11月15日	0	0	3	3	0	0	・生活福祉資金貸付決定件数・金額等について ・生活福祉資金貸付金の精査・交渉状況等について ・生活福祉資金貸付金　償還免除審査について（審査） ・コロナ特例貸付に関する「会計検査院の意見表示」について ・生活福祉資金　特例貸付実施状況について ・相談状況について ・その他
4	令和7年3月12日	0	0	5	5	0	0	・生活福祉資金貸付決定件数・金額等について ・生活福祉資金貸付金の精査・交渉状況等について ・生活福祉資金貸付金　償還免除審査について（審査） ・生活福祉資金　特例貸付実施状況について ・相談状況について ・その他
合計		0	0	16	16	0	0	

※会長専決で決定を行ったものを除く。

表2-1 令和6年度 生活福祉資金貸付決定件数・金額

資金名 / 市町村	総合支援資金						福祉資金				教育支援資金				不動産担保型生活資金				合計	
	生活支援費		住宅入居費		一時生活再建費		福祉費		緊急小口資金		教育支援費		就学支度費		不動産担保型生活資金		要保護世帯向け不動産担保型生活資金			
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
和歌山市	6	1,391,860	0	0	1	411,346	27	4,727,400	1	50,000	5	13,020,900	4	1,744,590	0	0	0	0	44	21,346,096
海南市	0	0	0	0	0	0	6	1,017,420	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1,017,420
橋本市	4	1,190,000	0	0	1	70,000	6	1,144,163	5	440,000	0	0	0	0	0	0	0	0	16	2,844,163
有田市	2	101,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	101,000
御坊市	0	0	0	0	0	0	1	348,210	0	0	1	3,120,000	2	626,900	0	0	0	0	4	4,095,110
田辺市	15	4,727,000	0	0	1	322,080	5	935,870	0	0	1	1,440,000	1	500,000	0	0	0	0	23	7,924,950
新宮市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紀の川市	0	0	0	0	0	0	1	57,830	1	91,000	0	0	0	0	0	0	0	0	2	148,830
岩出市	4	988,700	0	0	1	104,080	6	1,516,640	0	0	2	3,600,000	2	1,000,000	0	0	0	0	15	7,209,420
紀美野町	0	0	0	0	0	0	1	21,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	21,000
かつらぎ町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九度山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高野町	1	190,000	0	0	0	0	0	0	1	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	2	290,000
湯浅町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広川町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000
有田川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日高町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
由良町	0	0	0	0	0	0	1	66,700	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	66,700
印南町	1	110,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	110,000
みなべ町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	424,800	1	82,570	0	0	0	0	2	507,370
日高川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白浜町	2	722,100	0	0	0	0	6	505,032	2	150,000	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1,377,132
上富田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
すさみ町	1	40,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	40,000
那智勝浦町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
太地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古座川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3,120,000	1	500,000	0	0	0	0	2	3,620,000
北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
串本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県計	36	9,460,660	0	0	4	907,506	60	10,340,265	11	931,000	11	24,725,700	11	4,454,060	0	0	0	0	133	50,819,191

表2－2 生活福祉資金(コロナ特例貸付)決定状況

2020年3月25日～ 2022年11月4日

資金種類 / 社協名	全体の件数	市町村社協以外						全体の金額	内訳								
		市町村社協(c1)							KA 緊急小口資金		SX 総合支援資金						
				労金(c2)	郵便局(c3)	Web(c8)	県社協(c9)		件数	金額	件数				金額			
												初回貸付	延長貸付	再貸付		初回貸付	延長貸付	再貸付
201和歌山市	16,549	16,339	210	92	36	18	64	6,813,595,000	5,583	1,050,107,000	10,966	5,330	2,729	2,907	5,763,488,000	2,814,121,000	1,422,229,000	1,527,138,000
202海南市	392	388	4	1	1	1	1	130,044,000	195	34,980,000	197	127	36	34	95,064,000	63,880,000	14,884,000	16,300,000
203橋本市	1,875	1,865	10	7	1	0	2	756,442,200	620	111,400,000	1,255	603	297	355	645,042,200	316,322,200	149,810,000	178,910,000
204有田市	859	852	7	0	0	0	7	356,271,000	307	58,846,000	552	277	98	177	297,425,000	151,223,000	51,368,000	94,834,000
205御坊市	840	834	6	2	2	2	0	346,546,000	270	49,796,000	570	272	149	149	296,750,000	140,810,000	76,900,000	79,040,000
206田辺市	3,318	3,302	16	5	4	2	5	1,368,113,000	1,135	199,853,000	2,183	1,092	515	576	1,168,260,000	583,740,000	275,320,000	309,200,000
207新宮市	731	725	6	3	2	0	1	256,221,000	270	44,710,000	461	248	91	122	211,511,000	115,126,000	38,975,000	57,410,000
208紀の川市	1,278	1,266	12	5	1	0	6	528,475,000	438	72,900,000	840	447	195	198	455,575,000	245,410,000	103,395,000	106,770,000
209岩出市	2,068	2,047	21	8	2	3	8	849,149,000	792	147,790,000	1,276	654	270	352	701,359,000	358,600,000	148,524,000	194,235,000
304紀美野町	92	91	1	1	0	0	0	35,950,000	35	6,000,000	57	28	15	14	29,950,000	14,050,000	8,100,000	7,800,000
341かつらぎ町	272	270	2	1	0	1	0	103,865,000	116	21,639,000	156	77	38	41	82,226,000	41,156,000	19,500,000	21,570,000
343九度山町	40	40	0	0	0	0	0	11,890,000	15	2,170,000	25	14	5	6	9,720,000	5,610,000	1,890,000	2,220,000
344高野町	89	88	1	0	1	0	0	34,320,000	33	5,700,000	56	27	14	15	28,620,000	14,100,000	7,020,000	7,500,000
361湯浅町	126	122	4	1	2	0	1	45,470,000	59	9,650,000	67	43	12	12	35,820,000	22,860,000	6,750,000	6,210,000
362広川町	111	109	2	0	0	0	2	44,100,000	46	8,750,000	65	35	13	17	35,350,000	18,850,000	7,350,000	9,150,000
366有田川町	307	305	2	1	0	1	0	127,660,000	103	16,270,000	204	104	57	43	111,390,000	56,190,000	31,500,000	23,700,000
381美浜町	151	150	1	1	0	0	0	63,100,000	53	9,700,000	98	47	24	27	53,400,000	25,500,000	13,350,000	14,550,000
382日高町	117	115	2	2	0	0	0	46,650,000	40	6,600,000	77	38	20	19	40,050,000	19,800,000	10,500,000	9,750,000
383由良町	94	94	0	0	0	0	0	39,350,000	33	5,900,000	61	30	16	15	33,450,000	16,650,000	8,700,000	8,100,000
390印南町	144	144	0	0	0	0	0	56,983,000	47	6,496,000	97	46	22	29	50,487,000	23,922,000	11,445,000	15,120,000
391みなべ町	170	169	1	1	0	0	0	65,974,000	66	10,524,000	104	53	26	25	55,450,000	28,150,000	13,860,000	13,440,000
392日高川町	148	146	2	0	1	0	1	58,810,000	53	8,810,000	95	47	22	26	50,000,000	24,200,000	11,850,000	13,950,000
401白浜町	739	735	4	1	2	1	0	270,915,000	268	33,805,000	471	244	100	127	237,110,000	123,010,000	49,910,000	64,190,000
404上富田町	402	400	2	1	0	1	0	160,850,000	139	21,300,000	263	134	60	69	139,550,000	71,700,000	31,050,000	36,800,000
406すさみ町	71	71	0	0	0	0	0	25,520,000	29	4,400,000	42	20	11	11	21,120,000	10,110,000	5,700,000	5,310,000
421那智勝浦町	382	373	9	3	0	0	6	135,730,000	157	26,305,000	225	115	58	52	109,425,000	57,410,000	26,205,000	25,810,000
422太地町	25	25	0	0	0	0	0	9,650,000	9	1,400,000	16	6	5	5	8,250,000	3,150,000	2,550,000	2,550,000
424古座川町	48	47	1	1	0	0	0	17,790,000	21	3,900,000	27	15	6	6	13,890,000	7,920,000	2,820,000	3,150,000
427北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
428串本町	605	601	4	3	1	0	0	247,556,300	218	42,260,000	387	215	87	85	205,296,300	115,616,300	44,940,000	44,740,000
総計	**32,043**	**31,713**	**330**	**140**	**56**	**30**	**104**	**13,006,989,500**	**11,150**	**2,021,961,000**	**20,893**	**10,388**	**4,991**	**5,514**	**10,985,028,500**	**5,489,186,500**	**2,596,395,000**	**2,899,447,000**

表2－3　生活福祉資金（コロナ特例貸付）償還免除状況

令和7年3月31日現在

	取扱社協	R4判定免除（R3・4非課税）				R5判定免除（R5非課税）				R6判定免除（R6非課税）				次年度免除（R5から非課税）				任意免除（生保、障害者手帳、死亡、自己破産等）				合　計	
		緊急小口資金		総合支援資金		緊急小口資金		総合支援資金		緊急小口資金		総合支援資金		緊急小口資金		総合支援資金		緊急小口資金		総合支援資金			
		件	金　額（円）	件	金　額（円）	件	金　額（円）	件	金　額（円）	件	金　額（円）	件	金　額（円）	件	金　額（円）	件	金　額（円）	件	金　額（円）	件	金　額（円）	件	金　額（円）
201	和歌山市	2,582	483,147,200	2,518	1,326,114,750	167	33,108,410	1,365	716,489,500	0	0	1,228	651,022,750	202	22,689,600	294	140,909,640	238	41,158,310	502	247,373,068	9,096	3,662,013,228
202	海南市	75	13,250,000	61	30,210,820	5	975,010	15	7,089,000	0	0	16	7,670,000	8	721,200	7	2,810,330	11	1,612,700	5	1,516,250	203	65,855,310
203	橋本市	253	44,881,490	258	132,797,670	18	3,305,020	132	65,620,750	0	0	135	67,140,000	30	3,865,900	54	27,120,000	22	3,735,060	56	26,218,500	958	374,684,390
204	有田市	182	34,560,030	168	91,939,250	11	2,200,000	62	33,138,000	0	0	98	53,052,000	9	1,008,670	17	7,855,000	11	2,025,070	23	12,066,000	581	237,844,020
205	御坊市	144	26,162,720	151	77,595,000	11	2,200,000	90	45,614,750	0	0	84	44,520,000	9	993,630	24	11,305,250	10	1,791,670	13	6,600,000	536	216,783,020
206	田辺市	528	90,476,150	485	261,217,500	40	7,900,000	261	141,122,500	0	0	227	122,220,000	28	2,667,830	58	28,046,250	50	8,391,910	115	59,230,000	1,792	721,272,140
207	新宮市	110	19,315,840	141	66,012,250	18	3,160,000	72	32,155,000	0	0	56	26,196,250	4	350,200	6	2,549,120	12	2,003,380	21	9,331,740	440	161,073,780
208	紀の川市	190	31,640,030	200	109,354,250	28	5,200,000	96	51,270,000	0	0	75	40,315,000	15	1,359,160	30	14,380,000	15	2,009,491	39	19,405,000	688	274,932,931
209	岩出市	363	66,966,440	304	167,947,750	28	5,550,020	160	88,161,250	0	0	158	88,480,000	27	3,913,090	29	14,961,390	39	6,274,441	70	36,570,000	1,178	478,824,381
304	紀美野町	20	3,500,000	15	7,500,000	2	400,000	12	6,300,000	0	0	7	3,742,500	0	0	1	405,000	1	183,340	3	1,492,500	61	23,523,340
341	かつらぎ町	55	10,270,870	39	19,906,250	2	400,000	20	9,570,000	0	0	21	10,680,000	3	300,120	7	3,375,000	4	600,000	9	5,240,000	160	60,342,240
343	九度山町	2	300,000	1	270,000	2	300,000	2	840,000	0	0	1	450,000	0	0	1	405,000	0	0	2	600,000	11	3,165,000
344	高野町	20	3,500,000	18	9,900,000	0	0	4	2,070,000	0	0	7	3,900,000	0	0	2	1,140,000	0	0	0	0	51	20,510,000
361	湯浅町	29	4,498,010	24	12,623,500	5	750,000	6	3,600,000	0	0	7	3,960,000	1	100,040	2	945,000	3	333,400	6	3,026,000	83	29,835,950
362	広川町	23	4,160,000	20	10,750,000	5	1,000,000	13	6,900,000	0	0	12	6,900,000	1	175,010	1	438,750	1	200,000	0	0	76	30,523,760
366	有田川町	53	8,718,370	62	34,290,000	6	575,040	39	20,846,250	0	0	26	14,550,000	3	291,760	4	1,950,000	4	691,670	13	6,146,250	210	88,059,340
381	美浜町	22	4,000,000	21	11,250,000	3	450,000	14	7,650,000	0	0	11	6,000,000	4	350,080	4	1,755,000	4	633,380	9	4,447,500	92	36,535,960
382	日高町	21	3,300,000	17	9,000,000	1	200,000	13	7,050,000	0	0	6	3,150,000	0	0	4	1,800,000	0	0	0	0	62	24,500,000
383	由良町	18	2,900,000	19	10,500,000	2	400,000	8	4,350,000	0	0	6	3,300,000	0	0	0	0	1	200,000	1	600,000	55	22,250,000
390	印南町	30	4,096,000	30	16,230,000	2	300,000	16	8,709,030	0	0	14	7,320,000	1	100,040	1	405,000	1	200,000	2	1,200,000	97	38,560,070
391	みなべ町	25	3,998,000	25	13,150,000	3	600,000	14	7,260,000	0	0	10	5,490,000	2	200,080	1	405,000	2	400,000	7	3,900,000	89	35,403,080
392	日高川町	32	5,201,680	31	16,090,000	4	800,000	14	7,650,000	0	0	12	6,300,000	2	233,400	2	825,000	2	300,000	6	3,450,000	105	40,850,080
401	白浜町	103	14,131,730	111	56,222,500	6	840,000	42	20,678,780	0	0	44	22,310,000	11	1,087,900	16	7,271,250	11	1,295,880	13	6,049,410	357	129,887,450
404	上富田町	59	8,600,000	55	29,250,000	2	400,000	27	15,115,000	0	0	24	13,195,000	5	558,480	8	3,797,500	7	883,380	9	4,597,500	196	76,396,860
406	すさみ町	15	2,000,000	10	4,860,000	2	400,000	6	3,000,000	0	0	5	2,250,000	0	0	1	405,000	2	300,000	0	0	41	13,215,000
421	那智勝浦町	69	11,228,750	56	27,610,000	9	1,650,000	35	15,757,500	0	0	24	11,830,000	10	1,017,080	12	5,628,500	7	1,255,840	9	4,252,500	231	80,230,170
422	太地町	4	700,000	3	1,500,000	0	0	2	1,050,000	0	0	1	450,000	0	0	0	0	1	87,520	0	0	11	3,787,520
424	古座川町	10	2,000,000	11	5,591,250	3	600,000	5	2,370,000	0	0	6	3,150,000	1	100,040	3	1,620,000	0	0	1	270,000	40	15,701,290
427	北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
428	串本町	88	17,025,070	87	45,908,750	1	200,000	47	23,700,000	0	0	40	21,292,500	7	800,240	9	4,570,000	7	1,333,360	9	4,200,000	295	119,029,920
	合　計	5,125	924,528,380	4,941	2,605,591,490	386	73,863,500	2,592	1,355,127,310	0	0	2,361	1,250,836,000	383	42,883,550	598	287,077,980	466	77,899,802	943	467,782,218	**17,795**	**7,085,590,230**
																					緊急小口資金	6,360	1,119,175,232
																					総合支援資金	11,435	5,966,414,998

表３　令和６年度　全体（福祉・教育・離職・総合分）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合　計　（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	293,993,666	176,893,116	60.2	288,424,634	30,540,330	10.6	582,418,300	207,433,446	35.6
海南市	11,469,009	8,967,579	78.2	9,172,930	1,583,080	17.3	20,641,939	10,550,659	51.1
橋本市	38,899,203	25,362,878	65.2	39,560,709	3,952,102	10.0	78,459,912	29,314,980	37.4
有田市	11,550,580	7,584,020	65.7	7,832,420	680,230	8.7	19,383,000	8,264,250	42.6
御坊市	14,112,200	9,072,480	64.3	11,684,970	866,420	7.4	25,797,170	9,938,900	38.5
田辺市	61,837,230	39,220,120	63.4	52,359,540	7,333,310	14.0	114,196,770	46,553,430	40.8
新宮市	10,673,920	6,905,550	64.7	7,832,280	1,541,420	19.7	18,506,200	8,446,970	45.6
紀の川市	23,870,160	15,335,570	64.2	21,893,098	3,387,538	15.5	45,763,258	18,723,108	40.9
岩出市	40,378,610	26,096,890	64.6	27,814,141	3,540,765	12.7	68,192,751	29,637,655	43.5
紀美野町	1,764,200	1,241,640	70.4	2,246,400	142,020	6.3	4,010,600	1,383,660	34.5
かつらぎ町	4,693,710	3,356,470	71.5	3,757,220	333,800	8.9	8,450,930	3,690,270	43.7
九度山町	836,740	533,510	63.8	949,620	102,250	10.8	1,786,360	635,760	35.6
高野町	1,577,640	1,102,110	69.9	668,429	79,780	11.9	2,246,069	1,181,890	52.6
湯浅町	2,431,810	1,757,730	72.3	3,034,699	329,684	10.9	5,466,509	2,087,414	38.2
広川町	1,887,130	1,137,690	60.3	1,682,590	93,300	5.5	3,569,720	1,230,990	34.5
有田川町	4,017,507	2,110,047	52.5	3,839,757	717,393	18.7	7,857,264	2,827,440	36.0
美浜町	2,563,300	1,683,300	65.7	3,213,440	261,600	8.1	5,776,740	1,944,900	33.7
日高町	1,780,580	921,304	51.7	2,648,126	368,786	13.9	4,428,706	1,290,090	29.1
由良町	2,126,700	1,468,060	69.0	1,026,979	204,529	19.9	3,153,679	1,672,589	53.0
印南町	1,372,400	823,480	60.0	3,216,095	197,020	6.1	4,588,495	1,020,500	22.2
みなべ町	3,126,930	2,137,930	68.4	1,937,090	245,840	12.7	5,064,020	2,383,770	47.1
日高川町	1,637,730	1,032,180	63.0	1,262,620	279,730	22.2	2,900,350	1,311,910	45.2
白浜町	12,867,790	8,103,930	63.0	9,233,150	1,719,380	18.6	22,100,940	9,823,310	44.4
上富田町	8,460,730	5,847,820	69.1	5,687,520	715,360	12.6	14,148,250	6,563,180	46.4
すさみ町	1,264,050	542,880	42.9	5,094,350	351,250	6.9	6,358,400	894,130	14.1
那智勝浦町	5,687,110	3,846,240	67.6	5,031,470	617,760	12.3	10,718,580	4,464,000	41.6
太地町	467,550	175,050	37.4	4,096,690	108,360	2.6	4,564,240	283,410	6.2
古座川町	493,110	324,360	65.8	286,860	111,610	38.9	779,970	435,970	55.9
北山村	0	0	－	0	0	－	0	0	－
串本町	13,677,370	8,941,080	65.4	15,759,560	1,659,580	10.5	29,436,930	10,600,660	36.0
償還免除債権	370,753	29,000	7.8	6,098,192	15,408	0.3	6,468,945	44,408	0.7
県計	579,889,418	362,554,014	62.5	547,345,579	62,079,635	11.3	1,127,234,997	424,633,649	37.7

表４　令和６年度　通常貸付（福祉・教育・離職・総合分）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合　計　（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	11,055,086	9,251,116	83.7	43,640,814	2,141,302	4.9	54,695,900	11,392,418	20.8
海南市	4,216,569	3,779,109	89.6	4,059,660	490,670	12.1	8,276,229	4,269,779	51.6
橋本市	5,436,884	4,343,094	79.9	14,135,079	872,802	6.2	19,571,963	5,215,896	26.6
有田市	305,000	65,000	21.3	176,850	0	0.0	481,850	65,000	13.5
御坊市	2,226,810	1,827,650	82.1	2,162,570	72,760	3.4	4,389,380	1,900,410	43.3
田辺市	3,840,840	2,998,480	78.1	9,686,760	508,120	5.2	13,527,600	3,506,600	25.9
新宮市	2,350,760	1,822,060	77.5	2,500,480	477,640	19.1	4,851,240	2,299,700	47.4
紀の川市	490,080	320,980	65.5	5,331,778	1,057,580	19.8	5,821,858	1,378,560	23.7
岩出市	2,490,700	2,046,580	82.2	4,781,562	385,906	8.1	7,272,262	2,432,486	33.4
紀美野町	436,380	3,800	0.9	2,198,380	106,640	4.9	2,634,760	110,440	4.2
かつらぎ町	0	0	－	825,680	10,080	1.2	825,680	10,080	1.2
九度山町	11,750	11,750	100.0	0	0	－	11,750	11,750	100.0
高野町	24,990	24,990	100.0	354,909	0	0.0	379,899	24,990	6.6
湯浅町	871,800	871,800	100.0	407,029	147,024	36.1	1,278,829	1,018,824	79.7
広川町	463,950	343,230	74.0	345,520	66,640	19.3	809,470	409,870	50.6
有田川町	171,637	75,637	44.1	730,917	165,883	22.7	902,554	241,520	26.8
美浜町	96,960	96,960	100.0	655,620	19,500	3.0	752,580	116,460	15.5
日高町	39,960	0	0.0	423,960	0	0.0	463,920	0	0.0
由良町	206,560	179,560	86.9	41,909	41,909	100.0	248,469	221,469	89.1
印南町	15,250	15,250	100.0	2,473,205	65,820	2.7	2,488,455	81,070	3.3
みなべ町	477,870	477,870	100.0	0	0	－	477,870	477,870	100.0
日高川町	535,560	515,840	96.3	19,720	19,720	100.0	555,280	535,560	96.4
白浜町	827,780	712,080	86.0	842,380	3,420	0.4	1,670,160	715,500	42.8
上富田町	232,120	208,990	90.0	970,090	70,190	7.2	1,202,210	279,180	23.2
すさみ町	0	0	－	4,514,590	270,900	6.0	4,514,590	270,900	6.0
那智勝浦町	315,460	297,050	94.2	1,325,830	37,110	2.8	1,641,290	334,160	20.4
太地町	0	0	－	3,659,580	108,360	3.0	3,659,580	108,360	3.0
古座川町	166,560	152,680	91.7	0	0	－	166,560	152,680	91.7
北山村	0	0	－	0	0	－	0	0	－
串本町	696,940	528,100	75.8	2,849,060	145,880	5.1	3,546,000	673,980	19.0
償還免除債権	370,753	29,000	7.8	6,098,192	15,408	0.3	6,468,945	44,408	0.7
県計	38,375,009	30,998,656	80.8	115,212,124	7,301,264	6.3	153,587,133	38,299,920	24.9

表５　令和６年度　コロナ特例貸付（小口・総合分）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合　計　（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	282,938,580	167,642,000	59.3	244,783,820	28,399,028	11.6	527,722,400	196,041,028	37.1
海南市	7,252,440	5,188,470	71.5	5,113,270	1,092,410	21.4	12,365,710	6,280,880	50.8
橋本市	33,462,319	21,019,784	62.8	25,425,630	3,079,300	12.1	58,887,949	24,099,084	40.9
有田市	11,245,580	7,519,020	66.9	7,655,570	680,230	8.9	18,901,150	8,199,250	43.4
御坊市	11,885,390	7,244,830	61.0	9,522,400	793,660	8.3	21,407,790	8,038,490	37.5
田辺市	57,996,390	36,221,640	62.5	42,672,780	6,825,190	16.0	100,669,170	43,046,830	42.8
新宮市	8,323,160	5,083,490	61.1	5,331,800	1,063,780	20.0	13,654,960	6,147,270	45.0
紀の川市	23,380,080	15,014,590	64.2	16,561,320	2,329,958	14.1	39,941,400	17,344,548	43.4
岩出市	37,887,910	24,050,310	63.5	23,032,579	3,154,859	13.7	60,920,489	27,205,169	44.7
紀美野町	1,327,820	1,237,840	93.2	48,020	35,380	73.7	1,375,840	1,273,220	92.5
かつらぎ町	4,693,710	3,356,470	71.5	2,931,540	323,720	11.0	7,625,250	3,680,190	48.3
九度山町	824,990	521,760	63.2	949,620	102,250	10.8	1,774,610	624,010	35.2
高野町	1,552,650	1,077,120	69.4	313,520	79,780	25.4	1,866,170	1,156,900	62.0
湯浅町	1,560,010	885,930	56.8	2,627,670	182,660	7.0	4,187,680	1,068,590	25.5
広川町	1,423,180	794,460	55.8	1,337,070	26,660	2.0	2,760,250	821,120	29.7
有田川町	3,845,870	2,034,410	52.9	3,108,840	551,510	17.7	6,954,710	2,585,920	37.2
美浜町	2,466,340	1,586,340	64.3	2,557,820	242,100	9.5	5,024,160	1,828,440	36.4
日高町	1,740,620	921,304	52.9	2,224,166	368,786	16.6	3,964,786	1,290,090	32.5
由良町	1,920,140	1,288,500	67.1	985,070	162,620	16.5	2,905,210	1,451,120	49.9
印南町	1,357,150	808,230	59.6	742,890	131,200	17.7	2,100,040	939,430	44.7
みなべ町	2,649,060	1,660,060	62.7	1,937,090	245,840	12.7	4,586,150	1,905,900	41.6
日高川町	1,102,170	516,340	46.8	1,242,900	260,010	20.9	2,345,070	776,350	33.1
白浜町	12,040,010	7,391,850	61.4	8,390,770	1,715,960	20.5	20,430,780	9,107,810	44.6
上富田町	8,228,610	5,638,830	68.5	4,717,430	645,170	13.7	12,946,040	6,284,000	48.5
すさみ町	1,264,050	542,880	42.9	579,760	80,350	13.9	1,843,810	623,230	33.8
那智勝浦町	5,371,650	3,549,190	66.1	3,705,640	580,650	15.7	9,077,290	4,129,840	45.5
太地町	467,550	175,050	37.4	437,110	0	0.0	904,660	175,050	19.3
古座川町	326,550	171,680	52.6	286,860	111,610	38.9	613,410	283,290	46.2
北山村	0	0	－	0	0	－	0	0	－
串本町	12,980,430	8,412,980	64.8	12,910,500	1,513,700	11.7	25,890,930	9,926,680	38.3
県計	541,514,409	331,555,358	61.2	432,133,455	54,778,371	12.7	973,647,864	386,333,729	39.7

表６　令和６年度　福祉・教育資金償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合　計　（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	10,391,635	8,970,285	86.3	22,692,380	1,283,100	5.7	33,084,015	10,253,385	31.0
海南市	3,906,969	3,714,139	95.1	2,199,820	346,670	15.8	6,106,789	4,060,809	66.5
橋本市	5,024,684	4,092,784	81.5	7,622,049	545,250	7.2	12,646,733	4,638,034	36.7
有田市	0	0	－	56,850	0	0.0	56,850	0	0.0
御坊市	1,891,530	1,550,200	82.0	102,480	51,720	50.5	1,994,010	1,601,920	80.3
田辺市	2,847,730	2,495,500	87.6	5,502,760	406,210	7.4	8,350,490	2,901,710	34.7
新宮市	2,350,760	1,822,060	77.5	2,500,480	477,640	19.1	4,851,240	2,299,700	47.4
紀の川市	434,160	269,720	62.1	4,734,768	1,033,620	21.8	5,168,928	1,303,340	25.2
岩出市	1,248,910	1,198,990	96.0	2,719,267	204,819	7.5	3,968,177	1,403,809	35.4
紀美野町	436,380	3,800	0.9	2,198,380	106,640	4.9	2,634,760	110,440	4.2
かつらぎ町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
九度山町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
高野町	24,990	24,990	100.0	354,909	0	0.0	379,899	24,990	6.6
湯浅町	871,800	871,800	100.0	407,029	147,024	36.1	1,278,829	1,018,824	79.7
広川町	343,230	343,230	100.0	75,010	50,020	66.7	418,240	393,250	94.0
有田川町	75,637	75,637	100.0	344,903	105,883	30.7	420,540	181,520	43.2
美浜町	96,960	96,960	100.0	655,620	19,500	3.0	752,580	116,460	15.5
日高町	0	0	－	154,230	0	0.0	154,230	0	0.0
由良町	206,560	179,560	86.9	41,909	41,909	100.0	248,469	221,469	89.1
印南町	0	0	－	2,256,105	65,820	2.9	2,256,105	65,820	2.9
みなべ町	439,470	439,470	100.0	0	0	－	439,470	439,470	100.0
日高川町	472,560	452,840	95.8	19,720	19,720	100.0	492,280	472,560	96.0
白浜町	725,890	615,940	84.9	842,380	3,420	0.4	1,568,270	619,360	39.5
上富田町	208,000	208,000	100.0	933,360	33,460	3.6	1,141,360	241,460	21.2
すさみ町	0	0	－	4,514,590	270,900	6.0	4,514,590	270,900	6.0
那智勝浦町	315,460	297,050	94.2	1,325,830	37,110	2.8	1,641,290	334,160	20.4
太地町	0	0	－	3,659,580	108,360	3.0	3,659,580	108,360	3.0
古座川町	166,560	152,680	91.7	0	0	－	166,560	152,680	91.7
北山村	0	0	－	0	0	－	0	0	－
串本町	696,940	528,100	75.8	2,849,060	145,880	5.1	3,546,000	673,980	19.0
償還免除債権	233,497	20,000	8.6	2,432,012	15,408	0.6	2,665,509	35,408	1.3
県計	33,410,312	28,423,735	85.1	71,195,481	5,520,083	7.8	104,605,793	33,943,818	32.4

表７　令和６年度　離職者支援資金償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合　計　（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	0	0	－	10,813,607	489,800	4.5	10,813,607	489,800	4.5
海南市	0	0	－	945,300	62,910	6.7	945,300	62,910	6.7
橋本市	0	0	－	1,030,040	87,900	8.5	1,030,040	87,900	8.5
有田市	0	0	－	0	0	－	0	0	－
御坊市	0	0	－	1,949,050	0	0.0	1,949,050	0	0.0
田辺市	0	0	－	1,874,720	20,860	1.1	1,874,720	20,860	1.1
新宮市	0	0	－	0	0	－	0	0	－
紀の川市	0	0	－	0	0	－	0	0	－
岩出市	0	0	－	0	0	－	0	0	－
紀美野町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
かつらぎ町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
九度山町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
高野町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
湯浅町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
広川町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
有田川町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
美浜町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
日高町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
由良町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
印南町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
みなべ町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
日高川町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
白浜町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
上富田町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
すさみ町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
那智勝浦町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
太地町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
古座川町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
北山村	0	0	－	0	0	－	0	0	－
串本町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
償還免除債権	0	0	－	2,400,000	0	0.0	2,400,000	0	0.0
県計	0	0	－	19,012,717	661,470	3.5	19,012,717	661,470	3.5

表８　令和６年度　緊急小口資金（通常貸付）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合　計　（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	54,130	54,130	100.0	384,291	45,000	11.7	438,421	99,130	22.6
海南市	0	0	－	100,000	80,000	80.0	100,000	80,000	80.0
橋本市	210,850	172,530	81.8	151,620	20,000	13.2	362,470	192,530	53.1
有田市	0	0	－	56,850	0	0.0	56,850	0	0.0
御坊市	0	0	－	53,760	3,000	5.6	53,760	3,000	5.6
田辺市	0	0	－	166,260	66,260	39.9	166,260	66,260	39.9
新宮市	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
紀の川市	45,480	45,480	100.0	17,828	3,000	16.8	63,308	48,480	76.6
岩出市	0	0	－	33,350	12,059	36.2	33,350	12,059	36.2
紀美野町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
かつらぎ町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
九度山町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
高野町	24,990	24,990	100.0	0	0	－	24,990	24,990	100.0
湯浅町	0	0	－	30,899	5,404	17.5	30,899	5,404	17.5
広川町	24,990	24,990	100.0	75,010	50,020	66.7	100,000	75,010	75.0
有田川町	0	0	－	114,360	58,660	51.3	114,360	58,660	51.3
美浜町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
日高町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
由良町	66,680	66,680	100.0	8,330	8,330	100.0	75,010	75,010	100.0
印南町	0	0	－	99,000	0	0.0	99,000	0	0.0
みなべ町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
日高川町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
白浜町	220,410	195,420	88.7	126,010	1,000	0.8	346,420	196,420	56.7
上富田町	0	0	－	61,400	0	0.0	61,400	0	0.0
すさみ町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
那智勝浦町	54,100	43,280	80.0	0	0	－	54,100	43,280	80.0
太地町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
古座川町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
北山村	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
串本町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
償還免除債権	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
県計	701,630	627,500	89.4	1,478,968	352,733	23.8	2,180,598	980,233	45.0

表９　令和６年度　緊急小口資金（コロナ特例貸付）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合　計　（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	89,301,570	72,954,660	81.7	182,022,580	18,214,788	10.0	271,324,150	91,169,448	33.6
海南市	3,524,230	2,766,260	78.5	4,297,020	899,910	20.9	7,821,250	3,666,170	46.9
橋本市	10,255,240	8,448,410	82.4	18,456,190	1,821,330	9.9	28,711,430	10,269,740	35.8
有田市	4,282,670	3,469,160	81.0	5,804,000	523,160	9.0	10,086,670	3,992,320	39.6
御坊市	3,372,320	2,585,120	76.7	7,223,300	525,410	7.3	10,595,620	3,110,530	29.4
田辺市	19,003,050	14,733,300	77.5	31,333,140	4,308,550	13.8	50,336,190	19,041,850	37.8
新宮市	2,830,360	2,264,000	80.0	3,530,830	742,860	21.0	6,361,190	3,006,860	47.3
紀の川市	6,444,970	5,508,150	85.5	11,690,170	1,370,540	11.7	18,135,140	6,878,690	37.9
岩出市	16,153,680	11,808,270	73.1	17,420,449	2,121,829	12.2	33,574,129	13,930,099	41.5
紀美野町	500,360	500,360	100.0	37,610	24,970	66.4	537,970	525,330	97.7
かつらぎ町	1,994,490	1,761,250	88.3	2,402,040	256,220	10.7	4,396,530	2,017,470	45.9
九度山町	242,990	230,510	94.9	733,620	70,750	9.6	976,610	301,260	30.8
高野町	662,650	554,370	83.7	171,020	46,030	26.9	833,670	600,400	72.0
湯浅町	412,510	283,430	68.7	2,206,420	143,910	6.5	2,618,930	427,340	16.3
広川町	616,930	541,960	87.8	970,820	16,660	1.7	1,587,750	558,620	35.2
有田川町	1,202,120	960,660	79.9	2,236,340	415,260	18.6	3,438,460	1,375,920	40.0
美浜町	752,590	677,590	90.0	2,004,070	158,350	7.9	2,756,660	835,940	30.3
日高町	391,870	341,890	87.2	1,651,630	193,750	11.7	2,043,500	535,640	26.2
由良町	550,140	483,500	87.9	625,070	110,120	17.6	1,175,210	593,620	50.5
印南町	291,840	262,720	90.0	441,640	62,450	14.1	733,480	325,170	44.3
みなべ町	1,037,810	621,310	59.9	1,570,840	170,840	10.9	2,608,650	792,150	30.4
日高川町	198,420	190,090	95.8	836,650	170,010	20.3	1,035,070	360,100	34.8
白浜町	2,909,530	2,347,690	80.7	5,971,650	1,080,480	18.1	8,881,180	3,428,170	38.6
上富田町	2,356,150	2,002,190	85.0	3,296,180	408,920	12.4	5,652,330	2,411,110	42.7
すさみ町	437,550	237,630	54.3	433,510	54,100	12.5	871,060	291,730	33.5
那智勝浦町	2,272,510	2,080,940	91.6	2,894,240	434,900	15.0	5,166,750	2,515,840	48.7
太地町	100,050	100,050	100.0	283,360	0	0.0	383,410	100,050	26.1
古座川町	266,550	141,680	53.2	266,860	91,610	34.3	533,410	233,290	43.7
北山村	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
串本町	3,947,650	3,781,050	95.8	9,637,350	951,200	9.9	13,585,000	4,732,250	34.8
県計	176,312,800	142,638,200	80.9	320,448,599	35,388,907	11.0	496,761,399	178,027,107	35.8

表１０　令和６年度　総合支援資金（通常貸付）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合　計　（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	663,451	280,831	42.3	10,134,827	368,402	3.6	10,798,278	649,233	6.0
海南市	309,600	64,970	21.0	914,540	81,090	8.9	1,224,140	146,060	11.9
橋本市	412,200	250,310	60.7	5,482,990	239,652	4.4	5,895,190	489,962	8.3
有田市	305,000	65,000	21.3	120,000	0	0.0	425,000	65,000	15.3
御坊市	335,280	277,450	82.8	111,040	21,040	18.9	446,320	298,490	66.9
田辺市	993,110	502,980	50.6	2,309,280	81,050	3.5	3,302,390	584,030	17.7
新宮市	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
紀の川市	55,920	51,260	91.7	597,010	23,960	4.0	652,930	75,220	11.5
岩出市	1,241,790	847,590	68.3	2,062,295	181,087	8.8	3,304,085	1,028,677	31.1
紀美野町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
かつらぎ町	0	0	－	825,680	10,080	1.2	825,680	10,080	1.2
九度山町	11,750	11,750	100.0	0	0	－	11,750	11,750	100.0
高野町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
湯浅町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
広川町	120,720	0	0.0	270,510	16,620	6.1	391,230	16,620	4.2
有田川町	96,000	0	0.0	386,014	60,000	15.5	482,014	60,000	12.4
美浜町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
日高町	39,960	0	0.0	269,730	0	0.0	309,690	0	0.0
由良町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
印南町	15,250	15,250	100.0	217,100	0	0.0	232,350	15,250	6.6
みなべ町	38,400	38,400	100.0	0	0	－	38,400	38,400	100.0
日高川町	63,000	63,000	100.0	0	0	－	63,000	63,000	100.0
白浜町	101,890	96,140	94.4	0	0	－	101,890	96,140	94.4
上富田町	24,120	990	4.1	36,730	36,730	100.0	60,850	37,720	62.0
すさみ町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
那智勝浦町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
太地町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
古座川町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
北山村	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
串本町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
償還免除債権	137,256	9,000	6.6	1,266,180	0	0.0	1,403,436	9,000	0.6
県計	4,964,697	2,574,921	51.9	25,003,926	1,119,711	4.5	29,968,623	3,694,632	12.3

表１１　令和６年度　総合支援資金（コロナ特例貸付）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合　計　（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	193,637,010	94,687,340	48.9	62,761,240	10,184,240	16.2	256,398,250	104,871,580	40.9
海南市	3,728,210	2,422,210	65.0	816,250	192,500	23.6	4,544,460	2,614,710	57.5
橋本市	23,207,079	12,571,374	54.2	6,969,440	1,257,970	18.0	30,176,519	13,829,344	45.8
有田市	6,962,910	4,049,860	58.2	1,851,570	157,070	8.5	8,814,480	4,206,930	47.7
御坊市	8,513,070	4,659,710	54.7	2,299,100	268,250	11.7	10,812,170	4,927,960	45.6
田辺市	38,993,340	21,488,340	55.1	11,339,640	2,516,640	22.2	50,332,980	24,004,980	47.7
新宮市	5,492,800	2,819,490	51.3	1,800,970	320,920	17.8	7,293,770	3,140,410	43.1
紀の川市	16,935,110	9,506,440	56.1	4,871,150	959,418	19.7	21,806,260	10,465,858	48.0
岩出市	21,734,230	12,242,040	56.3	5,612,130	1,033,030	18.4	27,346,360	13,275,070	48.5
紀美野町	827,460	737,480	89.1	10,410	10,410	100.0	837,870	747,890	89.3
かつらぎ町	2,699,220	1,595,220	59.1	529,500	67,500	12.7	3,228,720	1,662,720	51.5
九度山町	582,000	291,250	50.0	216,000	31,500	14.6	798,000	322,750	40.4
高野町	890,000	522,750	58.7	142,500	33,750	23.7	1,032,500	556,500	53.9
湯浅町	1,147,500	602,500	52.5	421,250	38,750	9.2	1,568,750	641,250	40.9
広川町	806,250	252,500	31.3	366,250	10,000	2.7	1,172,500	262,500	22.4
有田川町	2,643,750	1,073,750	40.6	872,500	136,250	15.6	3,516,250	1,210,000	34.4
美浜町	1,713,750	908,750	53.0	553,750	83,750	15.1	2,267,500	992,500	43.8
日高町	1,348,750	579,414	43.0	572,536	175,036	30.6	1,921,286	754,450	39.3
由良町	1,370,000	805,000	58.8	360,000	52,500	14.6	1,730,000	857,500	49.6
印南町	1,065,310	545,510	51.2	301,250	68,750	22.8	1,366,560	614,260	44.9
みなべ町	1,611,250	1,038,750	64.5	366,250	75,000	20.5	1,977,500	1,113,750	56.3
日高川町	903,750	326,250	36.1	406,250	90,000	22.2	1,310,000	416,250	31.8
白浜町	9,130,480	5,044,160	55.2	2,419,120	635,480	26.3	11,549,600	5,679,640	49.2
上富田町	5,872,460	3,636,640	61.9	1,421,250	236,250	16.6	7,293,710	3,872,890	53.1
すさみ町	826,500	305,250	36.9	146,250	26,250	17.9	972,750	331,500	34.1
那智勝浦町	3,099,140	1,468,250	47.4	811,400	145,750	18.0	3,910,540	1,614,000	41.3
太地町	367,500	75,000	20.4	153,750	0	0.0	521,250	75,000	14.4
古座川町	60,000	30,000	50.0	20,000	20,000	100.0	80,000	50,000	62.5
北山村	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
串本町	9,032,780	4,631,930	51.3	3,273,150	562,500	17.2	12,305,930	5,194,430	42.2
県計	365,201,609	188,917,158	51.7	111,684,856	19,389,464	17.4	476,886,465	208,306,622	43.7

表１２　令和６年度　不動産担保型生活資金償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合　計　（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	0	0	－	14,922,136	0	0.0	14,922,136	0	0.0
県　　計	0	0	－	14,922,136	0	0.0	14,922,136	0	0.0

表１３　令和６年度　不動産担保型生活資金（要保護世帯向け）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合　計　（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	0	0	－	3,073,500	2,546,196	82.8	3,073,500	2,546,196	82.8
御坊市	0	0	－	4,806,400	0	0.0	4,806,400	0	0.0
岩出市	0	0	－	2,517,630	2,517,630	100.0	2,517,630	2,517,630	100.0
有田川町	0	0	－	6,355,440	0	0.0	6,355,440	0	0.0
県　　計	0	0	－	16,752,970	5,063,826	30.2	16,752,970	5,063,826	30.2

表１４　令和６年度　臨時特例つなぎ資金貸付決定件数・金額

つなぎ先 ＼ 計	生活保護		住居確保給付金		その他		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
県　　計	0	0	0	0	1	100,000	1	100,000

表１５　令和６年度　臨時特例つなぎ資金償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合　計　（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
県　　計	58,310	0	0.0	2,707,840	163,000	6.0	2,766,150	163,000	5.9

表１６　令和6年度生活福祉資金貸付中件数・金額（市町村別）

（金額単位:円）
令和7年3月31日現在

資金名 / 市町村	総合支援資金						福祉資金				教育支援資金				離職者支援資金		不動産担保型生活資金				合計		償還履行者率（不動産除く）
	生活支援費		住宅入居費		一時生活再建費		福祉費		緊急小口資金		教育支援費		就学支度費				不動産担保型生活資金		要保護世帯向け不動産担保型生活資金				
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	（令和6年3月）
和歌山市	5,177	2,466,174,501	15	2,073,564	20	2,948,866	89	39,606,114	1,541	214,093,913	97	146,886,890	87	31,690,431	10	10,323,807	3	26,022,136	7	31,992,017	7,046	2,971,812,239	40.6%
海南市	96	39,179,570	0	0	4	839,890	17	4,896,371	39	5,186,030	27	42,772,816	20	6,075,673	1	882,390	0	0	2	4,918,054	206	104,750,794	67.7%
橋本市	653	303,246,824	0	0	3	509,460	23	7,505,584	175	22,421,860	24	31,153,754	30	6,907,364	3	942,140	0	0	0	0	911	372,686,986	43.7%
有田市	188	90,969,660	0	0	0	0	0	0	56	7,696,280	1	1,923,000	1	500,000	0	0	0	0	2	9,800,000	248	110,888,940	47.0%
御坊市	217	100,134,260	0	0	3	154,340	3	2,917,390	63	9,259,580	11	9,791,700	8	2,237,290	1	1,949,050	0	0	1	4,806,400	307	131,250,010	46.2%
田辺市	1,090	518,853,680	4	471,250	6	1,571,072	18	3,496,452	331	42,122,290	32	41,741,320	18	6,106,010	2	1,853,860	0	0	1	2,640,000	1,502	618,855,934	46.6%
新宮市	170	68,771,410	0	0	0	0	8	3,675,740	38	4,104,980	14	19,628,080	10	3,437,242	0	0	0	0	0	0	240	99,617,452	50.4%
紀の川市	410	199,345,052	0	0	1	134,690	8	3,823,562	100	12,638,758	2	1,953,480	2	830,730	0	0	0	0	1	3,667,681	524	222,393,953	45.8%
岩出市	584	283,731,616	0	0	8	1,530,115	10	4,434,727	205	26,488,881	20	20,701,830	19	6,845,600	0	0	0	0	1	1,639,360	847	345,372,129	48.7%
紀美野町	19	9,133,820	0	0	0	0	3	3,909,170	3	112,760	1	1,243,750	0	0	0	0	0	0	0	0	26	14,399,500	48.0%
かつらぎ町	64	29,962,480	0	0	2	215,000	0	0	22	2,904,410	0	0	0	0	0	0	0	0	0	.	88	33,081,890	44.3%
九度山町	19	6,794,750	0	0	0	0	0	0	7	712,950	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	7,507,700	40.0%
高野町	27	10,912,250	0	0	0	0	0	0	4	420,930	2	1,074,909	1	500,000	0	0	0	0	0	0	34	12,908,089	58.1%
湯浅町	22	10,328,750	0	0	0	0	2	234,510	17	2,425,585	8	10,121,680	5	1,962,350	0	0	0	0	0	0	54	25,072,875	46.7%
広川町	21	10,110,550	1	78,300	1	112,200	0	0	10	1,387,520	2	3,870,720	1	110,000	0	0	0	0	0	0	36	15,669,290	28.1%
有田川町	64	31,115,330	0	0	1	53,434	1	183,320	25	2,410,540	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6,355,440	92	40,118,064	50.6%
美浜町	42	20,542,500	0	0	0	0	3	276,120	15	2,052,020	2	3,774,000	4	1,222,720	0	0	0	0	0	0	66	27,867,360	40.6%
日高町	41	18,069,756	0	0	0	0	1	154,230	13	1,612,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	19,836,436	36.0%
由良町	27	13,196,250	0	0	0	0	1	44,540	4	590,000	1	675,000	1	500,000	0	0	0	0	0	0	34	15,005,790	60.7%
印南町	37	15,667,100	0	0	1	82,100	2	2,091,285	8	561,710	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	18,402,195	38.1%
みなべ町	47	23,066,250	0	0	0	0	1	1,619,230	16	2,479,490	3	2,118,300	3	511,830	0	0	0	0	0	0	70	29,795,100	59.2%
日高川町	33	15,523,750	0	0	0	0	1	173,560	9	1,108,390	3	1,281,640	1	167,923	0	0	0	0	0	0	47	18,255,263	50.0%
白浜町	250	113,799,760	0	0	1	437,085	12	1,308,781	74	6,402,530	1	1,202,250	1	419,538	0	0	0	0	0	0	339	123,569,944	49.7%
上富田町	140	66,157,110	1	39,800	0	0	1	838,500	34	3,898,960	1	1,036,000	0	0	0	0	0	0	0	0	177	71,970,370	49.4%
すさみ町	22	9,983,500	0	0	0	0	3	3,955,690	6	729,430	2	1,728,000	1	300,000	0	0	0	0	0	0	34	16,696,620	29.0%
那智勝浦町	92	40,261,000	0	0	0	0	4	2,035,180	30	3,325,450	1	3,120,000	2	900,638	0	0	0	0	0	0	129	49,642,268	34.5%
太地町	10	5,085,000	0	0	0	0	1	3,551,220	2	283,360	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	8,919,580	23.1%
古座川町	4	685,000	0	0	0	0	1	277,920	7	458,630	2	1,560,000	2	1,000,000	0	0	0	0	0	0	16	3,981,550	41.7%
北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
串本町	198	93,575,890	0	0	0	0	7	4,938,460	74	9,569,770	11	15,904,380	9	3,285,132	0	0	0	0	0	0	299	127,273,632	38.9%
県計	9,764	4,614,377,369	21	2,662,914	51	8,588,252	220	95,947,656	2,928	387,459,457	268	365,263,499	226	75,510,471	17	15,951,247	3	26,022,136	16	65,818,952	13,514	5,657,601,953	43.5%

通常	176	39,686,575	21	2,662,914	51	8,588,252	220	95,947,656	35	1,686,965	268	365,263,499	226	75,510,471	17	15,951,247	3	26,022,136	18	68,863,886	1,035	700,183,601	
特例	9,588	4,574,690,794							2,893	385,772,492											12,481	4,960,463,286	

※金額は元金。件数は貸付利子、延滞利子のみ残も含む。

表17　福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業

令和7年3月31日現在

	資金種類	人材確保												自立支援					
		介護福祉士							保育士					ひとり親家庭			児童養護施設退所者		
		介護福祉士修学資金	福祉系高校修学資金	実務者研修受講資金	再就職準備金	介護分野就職支援金	障害福祉分野就職支援金	社会福祉士修学資金	修学資金	補助者雇上費	保育料一部	就職準備金	預かり支援事業利用料一部	入学準備金	就職準備金	住宅支援資金	進学者	就職者	資格取得支援費
貸付決定件数	平成28年度	12	―	147	0	―	―	0	69	1	2	2	―	12	3	―	2	0	1
		159							74					15			3		
		251																	
	平成29年度	5	―	121	3	―	―	0	99	0	3	1	0	15	3	―	0	2	7
		129							103					18			9		
		259																	
	平成30年度	26	―	115	2	―	―	4	88	2	15	3	0	20	0	0	3	1	7
		147							108					20			11		
		286																	
	令和元年度	36	―	139	5	―	―	0	80	0	6	1	0	19	5	―	1	2	6
		180							87					24			9		
		300																	
	令和2年度	25	―	116	12	―	―	1	64	0	3	1	0	13	4	―	0	1	5
		154							68					17			6		
		245																	
	令和3年度	45	7	162	11	18	4	2	54	1	7	2	0	9	1	2	1	1	4
		249							64					12			6		
		331																	
	令和4年度	54	3	122	13	12	4	2	52	1	15	8	0	7	1	2	6	0	6
		210							76					10			12		
		308																	
	令和5年度	53	6	98	3	9	1	2	48	0	5	3	0	12	1	7	0	0	11
		172							56					20			11		
		259																	
	令和6年度	72	0	103	0	8	2	1	70	1	13	3	0	6	0	7	8	1	12
		186							87					13			21		
		307																	
	計(A)	328	16	1,123	49	47	11	12	624	6	69	24	0	113	18	18	21	8	59
		1,586							723					149			88		
		2,546																	
B	辞退	2	0	17	1	1	0	0	7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	当然免除	15	0	508	25	16	4	1	66	4	13	8	0	5	3	2	3	4	16
	償還完了	15	1	141	3	2	2	3	38	0	1	0	0	6	1	0	0	0	5
	計	757							137					18			30		
		942																	
貸付中件数		296	15	457	20	28	5	8	513	2	55	16	0	101	14	16	18	4	36
(A－B)		829					(531,250千円)		586			(692,100千円)		131	(46,500千円)		58	(35,957千円)	
(令和07年03月末貸付中金額)		1,604																(1,305,807千円)	

≪地域福祉部(ボランティア振興班)≫ボランティアセンター事業・災害ボランティアセンター事業関係≫

1　広域におけるボランティア活動支援機能の強化

（1）ボランティア・市民活動団体の支援

① 情報集約・提供

ア　ボランティア基礎情報

県内におけるボランティア活動者数（令和 6 年 4 月 1 日現在、照会先：市町村社会福祉協議会）

	社会福祉協議会に登録		社会福祉協議会が把握	
個人ボランティア	1,164 名		1,156 名	
ボランティアを目的としたグループ	553 団体	15,446 名	702 団体	17,417 名
合計	553 団体	16,610 名	702 団体	18,573 名
	1,255 団体		35,183 名	

イ　ボランティア活動体験機会提供

夏のボランティア体験月間を提唱し、ボランティア活動情報や体験機会の提供に取り組んだ。

期　日	内　容（受入先数・プログラム数）	参　加
7 月 1 日～ 8 月 31 日	県内社会福祉施設等でのボランティア活動体験 （136 ヵ所・151 プログラム）	1,647 名

ウ　広報啓発

県社協ホームページ及び県ボランティアセンター「情報紙」「掲示板」「YouTube」等にボランティア活動やグループ紹介、参加募集、助成案内など随時、情報を掲載・配信・更新した。

a　ボランティア情報紙「そよかぜ」（発行部数　210 部／月）

発行号	内　容
第 331～ 342 号	体験、学習、交流活動等イベント開催案内・報告／参加者募集・ボランティア募集／助成事業／ボランティア保険／全国情報・県内情報／ボランティア団体・収集ボランティア紹介など

b　福祉わかやま（発行部数 10,000 部／月）

掲載月	ボランティア関連掲載記事
7 月	夏のボランティア体験月間のご案内（企画&参加者募集）

c　アンケート実施、その他、啓発冊子・ポスター等の配付

期日・発行日	内　容
6 月	県内ボランティア活動者数調査（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）

d　活動の見える化（ホームページ・SNS への掲載）

掲載月	内　容
4 月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「和歌山県ボランティア連絡協議会 交流会を開催しました」
6 月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「2024 夏のボランティア体験月間　企画・体験者募集！」
8 月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「2024 夏のボランティア体験月間　体験者募集」
8 月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「2024 夏のボランティア体験月間・第 1 回防災ボランティア活動交流会 ～防災クッキングをしよう！！～」

掲載月	内　容
11 月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「令和 6 年度和歌山県ボランティアフォーラム（テーマ：子供食堂でボランティア）を開催しました」
11 月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「世界津波の日・『稲村の火の館』へ見学に行きました！」
12 月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「令和 6 年度第 4 回　ボランティア活動情報交流会　クリスマス会を開催しました！」
2 月 13 日	和歌山県ボランティアセンターホームページ開設 https://sites.google.com/view/wakayamaken-vc/ ボランティア関連情報を随時発信

② 助成（ボランティア活動交流普及事業）の実施

社会福祉のためにと寄せられた善意の金員や関心を実際の活動へとつなげることを目的とし、市町村社会福祉協議会が企画・実施した活動に対して助成を行った。(5 事業)

ア　活動の企画、実施

団体名	活動名	活動内容
和歌山市 社会福祉協議会	次世代ボランティア養成講座	高校生を中心に、避難所ボランティア体験として、災害ボランティアに関する講話・グループワーク、ロープワークや避難所での食事を想定した野外炊飯を体験。
海南市 社会福祉協議会	小地域で取り組む居場所づくり・出会いのきっかけづくり活動	地域の子ども食堂やだがしカフェののぼりや広報チラシを作成し、地域自由民への活動周知を行い、地域密着した活動への支援を行った。また、新たな活動の誕生や協力ボランティアの増加など、取組の広がりにも寄与。
	「そこに行きたい、ここで生きたい！」外出のお手伝いをする「移動支援ボランティア活動」	山間部の移動が困難な地域に住む高齢者等に対して、車を使った移動や乗降の支援、買い物中の付き添い・見守りについて、ボランティアを中心に活動を行った。運転ボランティアの団体を設立し、利用者とボランティア両方が安心して利用・活動できる活動になった。
有田市 社会福祉協議会	有田市ボランティア連絡協議会会員交流会	会員を中心とした交流会を実施。コロナ禍が落ち着きはじめ、地域活動が活発化してきている中、各団体で実践できるレクリエーションについて学ぶ研修を実施。

イ　活動の状況確認・参画

期　日	場　所	内　容	参 加
7 月 23 日	海南市	大野地区公民館「だがしカフェ」(150 名)	1 名
7 月 31 日	有田市	有田市ボランティア連絡協議会 会員交流会 (32 名)	1 名
10 月 29 日	和歌山市	次世代ボランティア養成講座 (18 名)	3 名
2 月 6 日	海南市	外出支援ボランティア 乗ってって海南「共同会議」(13 名)	1 名
2 月 27 日	海南市	外出支援ボランティア 乗ってって海南 支援活動 (3 名)	1 名

③ 相談・案内・活動支援及び活動保険の促進等

ア　活動相談窓口、事故対策及び保険取扱い、学習・研修機材の貸出

a　ボランティア活動・行事用保険

ボランティア活動保険及びボランティア行事用保険への加入手続き等を行い、ボランティア活動に関する相談・問合せに対応した。

保険種類	加入者・団体数
活動保険（基本プラン）	740 名
活動保険（天災プラン）	88 名
行事用保険	102 件　19,023 名（延べ人数）

b　関係機材等の貸出

高齢者や障がい者を取り巻く生活環境や必要とするコミュニケーションを理解するため、地域や学校、ボランティア団体、施設等における学習、研修等に機材を貸し出した。

貸出日	品名	個数	貸出先
4 月 2 日～4 月 8 日	高齢者疑似体験セット大人用	5	紀三井寺苑
5 月 16 日～5 月 22 日	高齢者疑似体験セット大人用	8	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
5 月 23 日～5 月 24 日	高齢者疑似体験セット大人用	4	株式会社ウインドー
5 月 27 日～5 月 30 日	高齢者疑似体験セット大人用	3	紀美野町保健福祉課
6 月 7 日～6 月 11 日	車椅子	3	和歌山市東消防署　河南出張所
6 月 21 日～6 月 28 日	高齢者疑似体験セット子ども用	4	かつらぎ町社会福祉協議会
8 月 1 日～8 月 5 日	高齢者疑似体験セット大人用	1	株式会社あかりホーム
	高齢者疑似体験セット子ども用	4	
8 月 21 日～8 月 27 日	高齢者疑似体験セット大人用	4	医療法人南労会
	高齢者疑似体験セット子ども用	4	
9 月 9 日～9 月 13 日	車椅子	4	和歌山市立藤戸台小学校
	高齢者疑似体験セット大人用	8	
	高齢者疑似体験セット子ども用	4	
9 月 27 日～10 月 21 日	車椅子	4	和歌山市立宮小学校
9 月 27 日～10 月 2 日	高齢者疑似体験セット大人用	8	社会福祉法人喜成会
10 月 11 日～10 月 17 日	高齢者疑似体験セット子ども用	4	和歌山 YEG
10 月 15 日～10 月 22 日	高齢者疑似体験セット大人用	8	海南市立巽中学校
10 月 23 日～10 月 23 日	高齢者疑似体験セット大人用	8	和歌山市社会福祉協議会
	高齢者疑似体験セット子ども用	4	
10 月 23 日～10 月 30 日	車椅子	6	和歌山市立新南小学校
11 月 11 日～11 月 12 日	車椅子	5	NPO 法人日本理美容福祉協会和歌山南紀センター
	高齢者疑似体験セット大人用	5	
11 月 13 日～11 月 15 日	車椅子	8	和歌山市立西脇中学校
	高齢者疑似体験セット大人用	8	
11 月 18 日～11 月 28 日	車椅子	2	和歌山市立直川小学校
	高齢者疑似体験セット大人用	8	
11 月 22 日～11 月 26 日	車椅子	1	和歌山市立宮小学校
11 月 25 日～11 月 26 日	車椅子	5	和歌山市立西和中学校
11 月 29 日～12 月 23 日	高齢者疑似体験セット子ども用	4	由良町社会福祉協議会
1 月 6 日～1 月 9 日	高齢者疑似体験セット大人用	6	IBW 美容専門学校
1 月 9 日～1 月 16 日	車椅子	6	IBW 美容専門学校

貸出日	品名	個数	貸出先
2月27日～3月6日	車椅子	8	IBW美容専門学校
3月10日～3月11日	車椅子	6	和歌山市立楠見中学校
3月10日～3月12日	車椅子	2	和歌山市第3在宅医療・介護連携推進センター
	高齢者疑似体験セット大人用	8	
3月13日～3月17日	車椅子	8	和歌山市立河北中学校
	高齢者疑似体験セット大人用	8	

c　物品の受託、調整等

任意預託（指定なし）		
受付日	預託者及び預託物品	払出先
4月1日～ 3月31日	収集ボランティア （使用済み切手・カード）	和歌山県切手同好会の協力を得て換金
換金日	換金額	受取社協
6月26日	12,000	本会（はまゆう基金）
9月11日	9,000	本会（はまゆう基金）
12月10日	6,700	本会（はまゆう基金）
	12,000	社会福祉法人田辺市社会福祉協議会
3月5日	3,000	本会（はまゆう基金）
	3,000	社会福祉法人湯浅町社会福祉協議会
範囲指定		
受付日	預託者及び預託物品	寄贈先
5月16日	株式会社オージス総研 リユースパソコン　10台	県内障害児者福祉施設（10施設）
7月31日	一般社団法人生命保険協会和歌山県協会 タオル　2,000本	県内児童福祉施設（20施設）
10月7日	株式会社ツルハホールディングス 車椅子　2台	県内グループホーム（2施設）
10月28日	関西遊技機商業協同組合 車椅子　5台	県内グループホーム（５施設）
11月15日	一般社団法人親切会関西支部 現金　３万円	きみのこども食堂　キノコ食堂 JIKKAのおへそ 子どもの居場所　HANA

イ　県ボランティア連絡協議会及び県ボランティアサロン運営支援

a　県ボランティア連絡協議会

期　日	場　所	内　容	参 加
4月17日 4月22日	印南町社会福祉協議会 ビッグ愛8階801	監事会 令和5年度事業報告及び決算報告について（監査）	2名
4月22日	ビッグ愛8階 801会議室	理事会 ・令和5年度事業報告及び決算報告について ・令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について	15名
4月22日	ビッグ愛8階 801会議室	総会 ・令和5年度事業報告及び決算報告について	39団体

期　日	場　所	内　容	参 加
		・令和 6 年度事業計画（案）及び予算（案）について	
9 月 30 日	ボランティアサロン	第 2 回理事会 ・令和 6 年度事業経過報告について ・ボランティア全国フォーラムの参加助成について ・令和 6 年度和歌山県ボランティアフォーラムの開催について ・令和 7 年度事業計画（素案）について	14名
3 月 10 日	ボランティアサロン	第 3 回理事会 ・令和 6 年度事業経過報告及び収支見込みについて ・令和 7 年度事業計画（案）及び予算（案）について	15名

b　県ボランティアサロン

・ボランティア活動情報交流会

期　日	場 所	内　容	参 加
7 月 30 日	マルコーホーム中央コミュニティセンター（和歌山市）	第１回防災クッキング ・ポリ袋レシピ「鯖トマトカレー」「蒸しパン」づくり ・意見交換 及び「防災ビンゴ」	6 名
11 月 5 日	稲むらの火の館（広川町）	世界津波の日・「稲むらの火の館」見学 ・濱口梧陵記念館見学 ・津波防災教育センター見学	25 名
12 月 19 日	ビッグ愛１階 展示ホール	クリスマス会 ・ボランティア団体発表 ① わかやま楽落会 マジック ② 朗読グループ「言の葉」クイズ・読み聞かせ ③ つれもて和歌山 読み聞かせ「バスが来ましたよ ④ あじさい友の会 フラダンス ⑤ 和歌山県腹話術協会 腹話術 ・クリスマスカード制作 サンタクロース名札づくり ・ミニゲーム ・交流会 ・ビンゴゲーム	31 名
2 月 12 日	ボランティアサロン	・近況報告＆来年度に向けての意見交換 ・防災クイズ	2 名

・県ボランティアサロン利用状況

期　日		利　用
4 月 1 日～3 月 31 日	回　数	86 回
	人　数	619 名

（2）コーディネーション能力向上事業の実施

① ボランティアコーディネーター養成研修

期　日	場　所	内　容	参 加
10 月 11 日	和歌山市	市町村社協ボランティア・市民活動センター担当者会議（26 名）	4 名

（3）福祉教育推進事業の実施

① 全国福祉教育推進員研修受講促進

期 日	場 所	内 容	参 加
8 月 7 日	和歌山市	全国福祉教育推進員研修（16 名）	2 名
7月17 日	オンライン	全国福祉教育推進員研修 演習ファシリテーター研修（4 名）	1 名

② 市町村社協における福祉教育実践の情報共有及び福祉教育推進支援・実践報告

期 日	場 所	内 容	参 加
5 月 23 日	オンライン	都道府県・指定都市社協 福祉教育担当者連絡会議	1 名
6 月 4 日	和歌山市	和歌山県市町村社協福祉教育推進員・担当者会議（15 名）	1 名
8 月 23 日	有田市	全国福祉教育推進員研修 振り返り会（16 名）	1 名
2 月 12 日	太地町	わかやま福祉教育推進プラットフォーム 第 3 回会議（8 名）	1 名

（4）その他、ボランティア関連事業への参加、協力、啓発（講義・評価・助言等）による支援の実施

期 日	場 所	内 容	参 加
5 月 15～16 日	東京都	都道府県・指定都市社協 部・課・所長会議	4 名
6 月 13 日	和歌山市	和歌山信愛大学「ボランティア実習」講義	2 名
9 月 9 日	大阪府	第 15 回 Daigas グループ「はじまるくんパソコン寄贈プログラム」贈呈式	1 名
1 月 15 日	大阪府	近畿ブロック府県・指定都市社協 地域福祉・ボランティア担当者会議	1 名

2 大規模災害における県災害ＶＣの機能・体制を強化

（1）市町村災害ボランティアセンター支援事業

① 広域・同時多発災害対応訓練の実施

期 日	場 所	内 容（開催地社協との個別協議を除く）	参 加
6 月 7 日	和歌山市	全体打ち合わせ会議（第 1 回・26 名）	4 名
7 月 2 日	和歌山市	開催地との打ち合わせ会議（第 1 回・7 名）	2 名
7 月 18 日	和歌山市	全体打ち合わせ会議（第 2 回・27 名）	4 名
8 月 21 日	海南市	開催地との打ち合わせ会議（第 2 回・8 名）	2 名
9 月 20 日	和歌山市	全体打ち合わせ会議（第 3 回・27 名）	5 名
12 月 12 日	紀の川市	開催地との打ち合わせ会議（第 3 回・10 名）	3 名
1 月 17 日	和歌山市	全体打ち合わせ会議（最終・26 名）	4 名
2 月 21 日	和歌山市 海南市 紀の川市	広域・同時多発災害対応訓練 災害ボランティアセンター開設協議訓練（約 30 名）	2 名
2 月 22 日	和歌山市 海南市 紀の川市	広域・同時多発災害対応訓練 災害ボランティアセンター開設準備訓練（約 40 名）	5 名
2 月 23 日	和歌山市 海南市 紀の川市	広域・同時多発災害対応訓練 災害ボランティアセンター設置運営訓練（約 400 名）	24 名
3 月 14 日	紀の川市	広域・同時多発災害対応訓練 振り返り会（27 名）	4 名

② 災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修の実施

期 日	場 所	内 容	参 加
―	―	災害時対応の為、次年度に延期	―

③ 災害ボランティア活動支援にかかる訓練・研修への参画

期 日	場 所	内 容（打ち合せ会議を除く）	参 加
4 月 16 日	有田市	令和 6 年度有田地方社協連絡協議会 職員研修【講義】(35 名)	2 名
4 月 25 日	印南町	5 市町社協×4 ライオンズクラブ 「災害時におけるボランティア支援」協定締結式【出席】(50 名)	2 名
5 月 24 日	那智勝浦町	令和 6 年度宇久井地区福祉委員会総会【講義】(55 名)	1 名
6 月 7 日	オンライン	全社協「社協の災害支援体制と災害支援活動の強化に関する会議」【出席】(144 名)	2 名
6 月 23 日	新宮市	新宮市千穂第 2 地区防災研修会【講義】(50 名)	1 名
6 月 28 日	和歌山市	天理教和歌山教区研修会【講義】(50 名)	1 名
7 月 12 日	和歌山市	応急仮設住宅供給セミナー【出席】(40 名)	1 名
7 月 18 日	和歌山市	和歌山県市町村社協連絡協議会 業務課題検討会「災害時の社協活動」第 1 回検討会 (39 名)	5 名
7 月 19 日	北山村	令和 6 年度新宮・東牟婁社協職員連絡協議会総会【講義】(18 名)	1 名
8 月 25 日	田辺市	令和 6 年度 シニア災害ボランティアシンポジウム in 和歌山 【コーディネーター】(286 名)	1 名
9 月 14 日	新宮市	令和 6 年度熊野川災害ボランティアセンター設置・運営訓練 【講話・助言支援】(80 名)	1 名
9 月 18 日	白浜町	令和 6 年度白浜町災害ボランティア研修会【講演】(90 名)	1 名
9 月 20 日	和歌山市	和歌山県市町村社協連絡協議会 業務課題検討会「災害時の社協活動」第 2 回検討会 (39 名)	5 名
9 月 21 日	和歌山市	和歌山県失語症友の会紀の国会 講演会【講演】(30 名)	1 名
9 月 23 日	有田市	防災有田みかん会議【講演】(90 名)	1 名
9 月 25 日	大阪府	令和 6 年度大阪市大正区災害ボランティアセンター運営研修 【講演】(22 名)	2 名
9 月 27 日	和歌山市	NPO 法人ハンドインハンド防災講座【講座】(11 名)	1 名
9 月 29 日	すさみ町	すさみ町社会福祉大会「つながる Day」【講演】(120 名)	1 名
10 月 15 日	新宮町	新宮市社協 災害ボランティアセンター運営支援システム （キントーン）の導入に向けた勉強会【研修】(10 名)	1 名
10 月 16 日	有田市	有田市社協 キントーン職員研修【研修】(12 名)	1 名
10 月 19 日	和歌山市	和歌山市社協 次世代ボランティア養成講座【講義】(19 名)	1 名
10 月 23 日	オンライン	第 1 回キントーンオンライン勉強会【研修】(21 名)	1 名
10 月 25 日	岩出市	岩出市社協 災害 VC 運営支援システム 活用レク【研修】(2 名)	1 名
10 月 27 日	北山村	令和 6 年度北山村社会福祉協議会災害ボランティアセンター 設置・運営訓練【講演】(40 名)	1 名
10 月 30 日	有田市	有田市社協 箕島高校授業【研修】(25 名)	1 名
11 月 10 日	みなべ町	みなべ町災害ボランティアセンター運営・設置訓練【講演】(80 名)	1 名

期　日	場　所	内　容（打ち合せ会議を除く）	参 加
11 月 11 日	和歌山市	令和６年度 市町村地域福祉主管課長・社会福祉協議会事務局長会議【報告】（70 名）	2 名
11 月 12 日	東京都	全社協「令和 6 年度災害福祉支援センター情報共有会議」【出席】	1 名
11 月 20 日	オンライン	サイボウズ 第 2 回都道府県社協オンライン研修【出席】(20 名)	1 名
11 月 21 日	串本町	串本町社協「キントーン」操作レク研修【研修】(3 名)	1 名
11 月 22 日	和歌山市	令和 6 年度 近畿弁護士会連合会人権擁護大会シンポジウム（第２分科会）【パネラー・出席】(337 名)	3 名
11 月 24 日	太地町	太地町社協　令和６年度「災害時対応訓練」【講義】(50 名)	1 名
11 月 28 日	オンライン	第 2 回キントーンオンライン勉強会【研修】(20 名)	5 名
12 月 1 日	和歌山市	和歌山市人権委員会第１ブロック研修会【講演】(98 名)	1 名
12 月 5 日	新宮市	新宮市災害 VC 設置運営訓練　事前現地調査活動【参画】(10 名)	1 名
12 月 5 日	和歌山市	和歌山市自立支援協議会定例会【講義】(76 名)	1 名
12 月 13 日	和歌山市	和歌山大学「自然災害と防災・減災」【講義】(300 名)	1 名
12 月 15 日	串本町	令和６年度串本町災害ボランティア研修会【講義】(40 名)	1 名
12 月 18 日	オンライン	サイボウズ 第 3 回都道府県社協オンライン研修【出席】(17 名)	1 名
12 月 19 日	和歌山市	令和６年度市町村社会福祉協議会会長会議【報告･出席】(70 名)	2 名
12 月 21 日	有田市	災害ボランティアセンター設置運営訓練【総括・助言支援】（60 名）	2 名
12 月 22 日	新宮市	新宮市災害ボランティアセンター設置運営訓練【総括・助言支援】(170 名)	2 名
1 月 17 日	和歌山市	和歌山県市町村社協連絡協議会 業務課題検討会「災害時の社協活動」第 3 回検討会（38 名）	5 名
1 月 25 日	田辺市	田辺西牟婁災害対応訓練【講義・総括・助言支援】(59 名)	2 名
2 月 7 日	紀の川市	紀の川市赤十字奉仕団合同講習会【講義】(50 名)	1 名
2 月 13 日	東京都	全社協「生活支援相談活動管理職･担当者全国連絡会議」【出席】（200 名）	2 名
2 月 13 日	紀の川市	那賀ライオンズクラブ 2 月第 1 例会【出席】(20 名)	2 名
2 月 14 日	東京都	都道府県・指定都市社協災害ボランティアセンター担当者連絡会議【出席】(300 名)	2 名
2 月 27 日	橋本市	橋本市災害対応研修【講義】(26 名)	1 名
3 月 7 日	和歌山市	和歌山県市町村社協連絡協議会 業務課題検討会「災害時の社協活動」第 4 回検討会（38 名）	9 名

（2）県災害ボランティアセンター運営・啓発事業

① 和歌山大学へ価値共創研究員として職員を派遣し、学生災害ボランティアセンターの運営、災害ボランティア教育及び災害対策への助言等の支援を行った。

期　日	場　所	内　容	参 加
10 月～11 月（計 8 回）	和歌山市	教養科目授業「災害ボランティア学」【講義】各 270 名	1 名

② 県災害ボランティアセンター協力団体との共同会議を実施したほか、連携強化及び協定締結の協議、県災害ボランティアセンターについて照会・相談等を行った。

期　日	場　所	内　容	参 加
4 月～3 月	和歌山市	県民生活課　災害中間支援組織設立に向けた協議	3 名
7 月 4 日 7 月 24 日	和歌山市	連合わかやま　協議・紀の川ストックヤード視察	2 名
9 月 4 日 12 月 4 日 3 月 28 日	和歌山市	和歌山県生活協同組合連合会 定期情報交換会議	2 名
8 月 9 日	和歌山市	和歌山弁護士会　協定締結に向けた協議	1 名
1 月 20 日	和歌山市	和歌山弁護士会との「災害発生時における法律相談業務等に関する協定」締結式	3 名

③ ストックヤード（災害ボランティア活動支援資機材保管倉庫：「SY」と表記。）の配備・整備の実施

期　日	場　所	参 加
7 月 1 日、7 月 10 日 3 月 19 日、2 月 23 日 （計 4 回）	資機材搬入・搬出作業及び整理、併せて２カ所に新規 SY を設置。 （備考）県内 SY１９カ所（和歌山市以外は社協） 和歌山市（加太、和歌山大学、わかやま市民生協支所、和歌山市立安原小学校、中松江（新設））、海南市（新設）、紀の川市、橋本市、湯浅町、印南町、みなべ町、日高川町、田辺市（市内・本宮）、白浜町、上富田町、すさみ町、串本町、新宮市	4 名
6 月 12 日	新規 SY 設置に関する視察・協議（中松江自治会館）（7 名）	2 名
1 月 29 日	新規 SY 候補視察（小倉地区防災倉庫）（8 名）	2 名
3 月 19 日	県内 SY 保管資機材のシステム管理化に向けた作業（4 名） システム管理化済 SY　2 ヵ所/19 か所	4 名

④ 災害ボランティア登録を促進したほか、登録者や協力団体等の支援活動経験や教訓を踏まえ、防災キャンプ及び集会を企画・実施した。

期　日	場　所	内　容	参 加
4 月 1 日 ～3 月 31 日	和歌山県	災害ボランティア登録者（累計 653 名） ４月１日より Google フォームによる登録受付の開始	36 名
7 月 25 日	紀美野町	第 1 回 防災ボランティア・デイキャンプ（18 名）	5 名
11 月 19 日	御坊市	第 2 回 防災ボランティア・デイキャンプ(23 名)	5 名
2 月 8 日	和歌山市	和歌山防災ボランティア集会（42 名）	5 名

⑤ 情報発信、広報・啓発物の作成、活動の見える化

期　日	内　容
5 月 25 日	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「＼能登半島応援／ボランティアバス 5 便」
7 月 4 日	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「和歌山市中松江に新ストックヤード完成★県内 18 ヵ所目」

7 月 29 日	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「令和 6 年能登半島地震 災害 VC 運営支援 社協職員応援派遣 振り返り会」
8 月 5 日	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「2024 夏のボランティア体験 防災ボランティア・デイキャンプ」
12 月 2 日	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「＼第 2 回／防災ボランティア・デイキャンプを開催しました」
1 月	県社協広報誌「福祉わかやま」（発行部数 10,000 部／月）への掲載 2025.1 月号【特集】「防災とボランティア」
1 月 17 日	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「防災とボランティアの日」
1 月 21 日	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「災害発生時における法律相談業務等に関する協定を結びました」
1 月 31 日	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「和歌山防災ボランティア集会～能登半島地震の経験を学びに～参加者募集」
2 月 3 日	県社協 SNS（YouTube、インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「防災ボランティア・デイキャンプの様子を動画にまとめました！」
2 月 12 日	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「和歌山防災ボランティア集会を開催しました」
2 月 13 日	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「異世代活動報告会・in有田市」
2 月 18 日	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「広域・同時多発災害対応訓練 開始」
2 月 23 日	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「令和 6 年度広域・同時多発災害対応訓練 災害 VC 開設」

⑥ その他（被災地支援活動の実施）

ア 「令和６年能登半島地震」の被災地支援として、和歌山県との合同によるバス運行で支援活動を行った。（災害ボランティアセンター運営にかかる応援職員派遣については総務企画部に別掲）

期 日	場所	内 容	参加
4 月 11 日～4 月 14 日	石川県能登町	【第 3 便】能登応援ボランティアバス運行（20 名）	1 名
4 月 18 日～4 月 21 日	石川県能登町	【第 4 便】能登応援ボランティアバス運行（19 名）	2 名
5 月 25 日～5 月 28 日	石川県能登町	【第 5 便】能登応援ボランティアバス運行（19 名）	2 名

≪地域福祉部・健康生きがい班・和歌山県いきいき長寿社会センター事業関係≫

1 地域活動を行うシニアリーダー養成

（1）いきいきシニアリーダーカレッジの実施

長年にわたり培った豊富な知識や経験を活用し、地域の見守り活動や日常的な生活支援、居場所づくり、サロンづくりなど地域のニーズに応じた活動を行うシニアリーダーとして、必要な知識を習得していただき、地域における高齢者等の日常的な支え合い活動を行う人材を養成し、高齢者の社会参加活動を促進することを目的に実施した。

校　名	学科名	受講者数
①和歌山校	シニアの住みよいまちづくり実践学科	５８名
②田辺校		７５名
③橋本校		１３３名
計		２６６名

各校のカリキュラムは、次のとおり。

令和６年度　いきいきシニアリーダーカレッジ［和歌山校］カリキュラム

回	期　日	内　　容	講師名
1	5月　8日	フレイル予防と社会参加の重要性について	宝塚医療大学　教授　　上城　憲司氏
2	5月２２日	「清少納言と紫式部」～中世に花咲いた「をかし」と「あはれ」、「源氏物語を綴った女たち」～桐壺更衣から明石の君まで～	源氏物語を読む会 主宰 商法学者(元大阪商業大学教授) 村田　溥積 氏
3	6月１２日	元気の素は食事から ～健康寿命をのばそう～	和歌山県栄養士会 管理栄養士　紙谷　伸子 氏
4	6月２６日	何歳からでも始められるエクササイズ	医療法人真正会龍神整形外科 理事長(理学療法士) 龍神　正導 氏
5	7月１０日	～快適・安心・安全のための～ シニアのいきいき整理収納	整理収納アドバイザー・防災士 吉田　圭美　氏
6	7月２４日	わかやま健康大使 わかきん先生の健康笑顔Live	わかやま健康大使 わかきん先生 寺田　尊紀 氏
7	8月　7日	心穏やかに暮らすには ～アンガーマネジメント&アサーション～	(一社) 日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネジメントトレーニングプロフェッショナル 堀部　三智子 氏
8	8月２８日	誤嚥性肺炎予防 『ごっくんトレーニング』	嚥下トレーニング協会 理事 認定講師/言語聴覚士　小林　優子 氏
9	9月１１日	口腔機能向上～口の中の健康～	歯科衛生士　　稲垣　厚子 氏
１０	9月２５日	アロマの香りで認知症予防をしよう	アロマホームドクター協会 代表理事　　坂下　好美 氏
１１	１０月　9日	健康寿命は笑顔と感謝から ～レクで心ほぐし・体ほぐし～	レクリエーションコーディネーター 岩﨑　　哲　氏
１２	１０月３０日	音楽を使ってフレイル・オーラルフレイル予防	ミュージック・ケアワーカー/認知症リハ専門士 小林　優子 氏

１３	１１月１３日	和歌山を知ろう 紀三井寺～三つの井戸～	和歌山市語り部クラブ
１４	１１月２７日	消費者被害にあわないために	和歌山県消費生活センター 消費生活相談員　　鈴木　薫 氏
１５	１２月１１日	ラジオ体操による健康増進と地域コミュニティづくり	和歌山県スポーツ課 後藤　伊世 氏 増田　健人 氏
１６	１月１５日	人生を楽しく生きるための地域づくり・仲間づくり	和歌山大学経済学部 学部長/教授　　金川　めぐみ 氏
１７	１月２９日	薬の基礎知識	薬剤師　　西前　多香哉 氏
１８	２月１９日	腹話術で学ぶ　健康と幸福の秘訣	和歌山県腹話術協会 会長　　宮本　年起 氏

令和６年度　いきいきシニアリーダーカレッジ［田辺校］カリキュラム

●シニアの住みよいまちづくり実践学科

①ささえあいコース

回	期　日	内　容	講師名
１	５月１３日	大切な人だからこそ､言えない言葉ってありますよね。～幸せを感じる心から	いのちの講演家　　岩崎　順子 氏
２	６月１０日	消費者被害に備えよう！	和歌山県消費生活センター 紀南支所　　黒田　尚男 氏
３	７月　８日	腹話術で学ぶ　健康と幸福の秘訣	和歌山県腹話術協会 会長　　宮本　年起 氏
４	８月　５日	笑う門には福来る ～ラフターヨガと認知症予防ゲーム～	ラフターヨガインストラクター 認知症予防ネット・わかやま 藤島　壽子 氏
５	９月　９日	ニュースポーツ「モルック」に挑戦！	田辺市やすらぎ対策課高齢福祉係 太田　功 氏 榎本　峻 氏
６	１０月　７日	災害支援の取組みについて	海南市社会福祉協議会 田中　健人 氏 岡本　江梨那 氏
７	１１月１１日	プロに学ぶ介護のコツ	和歌山県介護福祉士会 会長　　下垣内　雅巳 氏 副会長　　吉田　公章 氏
８	１月２０日	つながりの輪をつくる ～義足ユーザーさんのお話～	義足ユーザーのコミュニティがじゅまる 加藤　惠子 氏
９	２月　３日	和歌山県の少子化の現状と子育て支援について	和歌山県こども未来課 子育て支援班長　　坂田　智美 氏

②紀南の魅力発見コース

回	期　日	内　容	講師名
１	５月２７日	白浜の魅力を再発見～歴史の視点から～	南紀白浜観光協会 会長　　藤田　正夫 氏
２	６月２４日	みそ造りにチャレンジ ～紀南の食文化に触れる～	株式会社小山安吉醸造元 代表取締役　　小山　芳輝 氏

3	7月２３日	「たなべる」を見学しよう！	田辺市立図書館　たなべる
4	8月２６日	紀南の自然を知る ～天神崎の自然と保全活動の今～	天神崎の自然を大切にする会 藤五　和久 氏
5	9月３０日	熊野釜炒り茶とお茶の魅力	Natsumi Chatsumi 倉谷　夏美 氏
6	１０月２１日	白浜水族館を見学しよう！	京都大学白浜水族館
7	１１月１８日	田辺市の健康づくり ～生活習慣を見直してみませんか？～	田辺市健康増進課 谷口　阿佐美 氏 林　　加奈子 氏
8	１２月１０日	植芝盛平記念館を見学しよう！	植芝盛平記念館
9	1月２７日	和歌山を知ろう　地元の魅力発見	和歌山市語り部クラブ 会長　　丸毛　光明 氏

令和６年度　いきいきシニアリーダーカレッジ［橋本校］カリキュラム

●シニアの住みよいまちづくり実践学科

①ささえあいコース

回	期　日	内　容	講師名
1	5月１４日	フレイル予防と社会参加の重要性について	宝塚医療大学　教授　　上城　憲司氏
2	6月１１日	ＳＮＳの効果的な使い方について	和歌山県NPOサポートセンター 所長　　志場　久起 氏
3	7月　9日	コミュニティバス・デマンドタクシー乗り方教室	橋本市地域振興室
4	8月　6日	健康教室	和歌山ヤクルト販売株式会社
5	9月１０日	ラジオ体操による健康増進と地域コミュニティづくり	和歌山県スポーツ課
6	１０月　8日	健康寿命は笑顔と感謝から ～レクで心ほぐし・体ほぐし～	レクリエーションコーディネーター 岩﨑　哲　氏
7	１１月１２日	生き生きと暮らすために	医療法人敬英会 吉田　二弘 氏
8	１２月１０日	消費生活出前講座	橋本市生活環境課
9	1月１４日	認知症サポーター養成講座	橋本市いきいき健康課
１０	2月１８日	みんながいきいきと暮らす地域づくりのために	摂南大学現代社会学部 講師　　上野山　裕士 氏

②紀北の魅力発見コース

回	期　日	内　容	講師名
	5月２８日	荒天のため中止(１１月５日に延期)	
1	6月２５日	森で遊ぼう ～森を知ると和歌山が見えてくる～	和歌山県森林インストラクター会 会長　　岡田　和久　氏

2	7月２３日	「関ケ原の戦い」と伊都郡	橋本市文化財保護審議会 委員　　岩倉　哲夫 氏
3	8月２７日	江戸時代の高野参詣と橋本・慈尊院	和歌山県立博物館 学芸員　　佐藤　顕　氏
4	9月２４日	紀伊山地の霊場と参詣道について	和歌山県文化遺産課
5	１０月２２日	紀北女人伝承地を尋ねて	橋本観光ガイドの会 中島　靖久 氏
6	１１月　５日	中世高野山の寺院生活	高野山大学 名誉教授　山陰　加春夫 氏
7	１１月２６日	和歌山を自慢しよう！～ふるさと再発見～	和歌山文化協会 西川　隆博 氏
8	１２月２４日	山城の基本パーツ(部分)と長藪城	橋本市文化財保護審議会 委員　　吉田　亘　氏
9	１月２８日	古代仏教のお寺と仏さま	あさもよし資料館 元館長　　大岡　康之 氏
１０	２月２５日	和歌山県の棚田と段々畑	和歌山県里地・里山振興室 高橋　英樹 氏

シニアのためのスマホ活用講座(入門編)　開催場所：県民交流プラザ和歌山ビッグ愛

回	日　時	内　容	講　師
1	２月　５日	まずは検索から始めてみよう！	消費生活アドバイザー ICTファシリテーター 坂下　直生　氏
2	２月１２日	グループや家族でのLINE活用術等	
3	２月２６日	メルカリで終活？	

（2）高齢者サロン運営アドバイザー養成事業の実施(講座の開催)

高齢者が身近な場所で集まり、ふれあいを通じて仲間づくりを行い、認知症予防等の拠点ともなる地域サロン活動が重要となっているなか、地域のニーズに応じたサロン活動のアドバイス等を行う人材を養成することを目的に実施した。

開催場所	開催協力社協	受講者数
和歌山市あいあいセンター	和歌山市社会福祉協議会	２１名
美浜町地域福祉センター	美浜町社会福祉協議会	１３名

高齢者サロン運営アドバイザー養成講座　カリキュラム

① 和歌山市社会福祉協議会

日　　時	内　　容
９月　２日	開講式 講演　「居場所づくりを通じて地域共生社会の実現に取り組む」 講師　　摂南大学現代社会学部　講師　上野山　裕士　氏
９月１７日	講演　「フレイル予防のための歯と口の健康について」 講師　　和歌山県歯科衛生士会　神屋敷　久美　氏
１０月１０日	講演　「今日から始めよう　フレイル予防」 講師　　医療法人龍神整形外科　理事長　　龍神　正導　氏
１０月２４日	講演　「健康長寿は笑顔と感謝から～レクで心ほぐし・体ほぐし」 講師　　レクリエーションコーディネーター　岩﨑　哲　氏 修了式

② 美浜町社会福祉協議会

日　時	内　容
１月１６日	開講式 講演　「居場所サロンづくりの実践と運営に関して」 講師　社会福祉コミュニティ総合事務所　代表　市野　弘　氏
１月２３日	講演　「レクリエーションで明るく元気に」 講師　レクリエーションコーディネーター　寺嶋　あおい　氏
１月３０日	講演　「腹話術で学ぶ　健康と幸福の秘訣」 講師　和歌山県腹話術協会　会長　宮本　年起　氏
２月　６日	講演　「居場所づくりからはじめる地域づくり」 講師　摂南大学現在社会学部　講師　上野山　裕士　氏 修了式

（3）仲間づくり支援事業の実施

高齢者が家に閉じこもることなく外に出て、生きがいを持って活動することができる環境をつくるため、同じ趣味や興味を持つ高齢者が集まり、自由に活動が行えるよう、情報提供やサークル活動等を援助するとともに、コーディネートする仲間づくり支援相談員（1名）を配置した。

また、いきいきシニアリーダーカレッジ・高齢者サロン運営アドバイザー養成講座の修了後、単独で地域活動を継続して行うことが難しいという課題解決のため、修了者等がグループを結成して活動を行うときに、本会からアドバイザーの派遣や消耗品を支給する支援事業を実施した。

令和６年度、８グループ結成。

うさぎの会(かつらぎ町)、けやきほっとサロン(和歌山市)、five meko(和歌山市)、
サロン・レインボー(白浜町)、砂山オーバー６５(和歌山市)、スマホ楽笑会(上富田町)
もうひとつの家(和歌山市)、輪ッショイ(美浜町)

２　高齢者の生きがいづくり・健康増進

（1）紀の国いきいき健康長寿祭の開催

高齢者に年間を通してスポーツに親しむ機会を持っていただき、健康づくり・仲間づくり・社会参加活動の促進を図り、いきいきと暮らせるまちづくりを進めるとともに、「第36回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024)」及び「第37回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2025)」出場選手の選考会を兼ねたスポーツ交流大会とすることを目的に開催した。

各競技種目の優勝～第3位までに賞品とメダルを授与(但し、卓球(ラージボール)は1位のみ)、また、参加者の中から年齢が最も高い方を「最高齢者賞」として表彰した。

① スポーツ交流大会の開催

ア 紀の国いきいき健康長寿祭　スポーツ交流大会〔兼：「第36回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024)」出場選手選考会〕

a　期　日　令和６年４月１９日
　　場　所　海南市民運動場（海南市）
　　種　目　ペタンク
　　参加者　１５３名

b　期　日　令和６年５月２３日
　　場　所　和歌山グランドボウル（和歌山市）
　　種　目　ボウリング
　　参加者　６０名

c　期　日　令和６年６月４日
　　場　所　和歌山市立河南総合体育館（和歌山市）
　　種　目　卓球（ラージボール）
　　参加者　１９名

イ 紀の国いきいき健康長寿祭　スポーツ交流大会〔兼：「第 37 回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜 2025）」出場選手選考会〕

a 期　日　令和６年１１月２０日
　　場　所　潮岬青少年の家（串本町）
　　種　目　グラウンド・ゴルフ紀南の部
　　参加者　９３名

b 期　日　令和６年１２月１２日
　　場　所　岩出市若もの広場（岩出市）
　　種　目　グラウンド・ゴルフ紀北の部
　　参加者　１８３名

c　期　日　令和６年１２月１８日
　　場　所　南山スポーツ公園（日高川町）
　　種　目　グラウンド・ゴルフ紀中の部
　　参加者　２３８名

ウ　紀の国いきいき健康長寿祭
　高齢者の健康増進と生きがいづくり・仲間づくり・社会参加活動の促進を図り、高齢者が生涯現役でいきいきと暮らせるまちづくりを進めることを目的に開催した。

a　パークゴルフ交流大会
　　期　日　令和６年１２月４日
　　場　所　のかみふれあい公園パークゴルフ場（紀美野町）
　　種　目　パークゴルフ
　　参加者　１５５名
　　内　容　競技種目の優勝～第３位までに賞品と盾を授与、また、参加者の中から年齢が最も高い方を「最高齢者賞」として表彰した。

〇総参加人数　９０１ 名

② 紀の国いきいき健康長寿祭　囲碁大会・将棋大会〔兼：「第 36 回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取 2024）」出場選手選考会〕
　高齢者が、囲碁・将棋を通じて脳を若く保つトレーニングに努め、健康づくり・仲間づくり・社会参加活動の促進を図り、いきいきと暮らせるまちづくりを進めるとともに、「第 36 回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取 2024）」出場選手選考会を兼ねた大会を開催した。

	期　日	開 催 場 所	参加者
将　棋	令和６年５月　１日	和歌山ビッグ愛１階展示ホール	４５名
囲　碁	令和６年６月　２日	和歌山ビッグ愛１階展示ホール	２５名

③ 紀の国いきいき健康長寿祭　健康マージャン大会〔兼：「第 36 回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取 2024）」出場選手選考会〕

	期　日	開 催 場 所	参加者
健康マージャン	令和６年５月１３日	ｱﾐｭｰｽﾞﾒﾝﾄﾌﾟﾚｲｽ ま～じゅん	３６名
健康マージャン	令和６年５月１７日	ｱﾐｭｰｽﾞﾒﾝﾄﾌﾟﾚｲｽ ま～じゅん	３６名

④ 紀の国いきいき健康長寿祭　シルバー美術展〔兼：「第 37 回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜 2025）」出品作品選考会〕

高齢者が創作した美術作品を展示する機会を設けることにより、高齢者の創造力を高め、文化活動を促すとともに、ふれあいと生きがいづくりを推進することを目的に開催した。

期　日　令和７年２月２７日～３月２日（４日間）
場　所　和歌山県民文化会館　大展示室（和歌山市）
出　品　日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真
出品申込点数　　１３９点
ねんりんピック岐阜 2025 出品作品　１０点

⑤ ふれあい作品展

老人福祉施設及び介護保険施設の利用者に作品を発表する場を提供することにより、創造力を高め、文化活動を促すとともに、ふれあいと生きがいづくりを目的に開催した。

期　日　令和７年１月２８日～２月１日（５日間）
場　所　和歌山ビッグ愛１階展示ホール（和歌山市）
内　容　出展法人（施設）数：３８法人（５８施設）
出品点数：５１５点
出品者のうち最高齢の方（１０７歳）を「最高齢者賞」、１００歳を超える方１１名（最高齢者賞受賞者を除く）を「高齢者賞」として表彰した。（来場者数６６４名）

（2）第３６回全国健康福祉祭とつとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取 2024）参加者派遣事業について

高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康福祉の総合的な祭典である「全国健康福祉祭（愛称：ねんりんピック）」が令和６年１０月１９日～２２日に鳥取県で開催され、１３９名の選手を派遣した。

第３６回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取 2024）
期　日　令和６年１０月１９日(土)～１０月２２日(火)
テーマ　咲かせよう　砂丘に長寿と笑みの花
場　所　鳥取県内　１９市町で開催

３　社会参加活動を希望する高齢者と企業や団体、学校等を結びつける取組を推進

「わかやま元気シニア生きがいバンク事業」の実施

平成 29 年度に和歌山県から委託を受け運営を開始した「わかやま元気シニア生きがいバンク事業」については、高齢者の「生きがいづくり」と「健康づくり」を促進するため、高齢者によるサークル活動団体や高齢者福祉施設への訪問等に加え、高齢者と他世代との交流促進を図るため県下の小学校や学童保育等でのバンク利用促進にむけた事業 PR に努めた。

生きがいバンクへの登録件数は、個人・団体合わせて 16 件、またマッチングについては、345 件となった。

令和６年度わかやま元気シニア生きがいバンク登録状況等

登録件数	16 件　（累計　6,055 件）	
（内訳）	個　　人	14 名　（累計 5,854 名）
	団　　体	2 団体（累計 201 団体）
マッチング件数	345 件　（累計　1,835 件）	

※累計は平成29年7月1日から令和7年3月31日までの件数

4　その他

（1）ボランティアスタッフ「いきいきＳＵＮ」の登録・活用事業の実施

いきいき長寿社会センターが行う健康・生きがいづくり事業に関する事務作業、広報、準備および実施時の運営スタッフとして登録している「いきいきＳＵＮ」のボランティアスタッフに、各種事業への参加・協力を得た。

登録者の状況　　５７名

（内　訳）　和歌山市 47名、海南市 3名、紀の川市 2名、岩出市 4名、白浜町 1名

（2）全国・近畿ブロック推進機構会議等への参加

会　議　名	期　日	参加
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会　第1回幹事会	5月15日	オンライン
全国健康福祉祭担当係長会議	5月16,17日	鳥取県鳥取市
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会　令和6年度第1回総会	7月 1日	東京都
全国明るい長寿社会づくり推進機構職員等研修会［初任者向け］	8月1日	東京都
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会　第2回幹事会	11月18日	オンライン
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 ｅスポーツに関する情報交換・意見交換のための会議の開催	11月22日	オンライン
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 第1回テーマ別会議　「高齢者大学事業について」	11月29日	東京都
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 第3回テーマ別会議　「男性高齢者の仲間づくり、社会参加を考える」	1月23日	オンライン
令和6年度近畿ブロック推進機構連絡協議会	1月20日	兵庫県神戸市
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会　第3回幹事会	2月6日	オンライン
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会第4回テーマ別会議 「高齢社会対策大綱の概要と高齢者の社会参加について考える」	2月13日	東京都
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会　令和6年度第2回総会	2月27日	東京都
令和6年度関西圏シニアカレッジ交流会	3月7日	オンライン
シニアｅスポーツシンポジウム静岡＆全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会高齢者向けｅスポーツの体験会	3月13、14日	静岡県島田市
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 第5回推進機構実施事業テーマ別会議 推進機構事業における「LINE」、「LINE公式アカウント」等の活用について	3月19日	オンライン

～事項別報告～

Ⅲ福祉人材研修部

≪福祉人材研修部・福祉人材センター事業関係≫

１　福祉人材の確保・定着支援、福祉の魅力発信

（1）福祉人材センター事業（福祉人材無料職業紹介事業等）

①　福祉人材の登録・紹介及び無料職業紹介にかかる窓口業務

年間を通じて、福祉分野への就業を希望する方等からの相談受付、求人情報の提供や、福祉の仕事にかかる求職登録・紹介を行った。

※福祉人材センター取扱地域：印南町以北　　紀南福祉人材バンク取扱地域：みなべ町以南

ア　相談件数

	求人	求職	計
福祉人材センター	７６６	９０８	１，６７４
紀南福祉人材バンク	７４６	５０５	１，２５１
県全体	１，５１２	１，４１３	２，９２５

イ　求人求職登録及び紹介・就職状況

	新規求人数	新規求職数	紹介・応募者数	採用・内定数
福祉人材センター	１，５２０	１７７	３８	３４
紀南福祉人材バンク	１，２８９	１９９	４０	２８
県全体	２，８０９	３７６	７８	６２

ウ　福祉人材情報システム（ＣＯＯＬシステム）の運用

中央福祉人材センターが運営する福祉人材情報システム「福祉のお仕事」により求人情報を掲載し、求人・求職者への情報提供、全国統計等への情報送信を行った。

また、求人事業所からのスカウト申請に応じ、システムによる求職者へのスカウト案内を実施した。

②　和歌山県福祉人材センター運営委員会の開催

期　　日	１１月６日
会　　場	和歌山ビッグ愛
出席委員	１３名（委員１５名中）
議　　題	・和歌山県福祉人材センター実施事業について ・和歌山県介護生産性向上総合相談センター事業について ・その他

③　紀南福祉人材バンク事業の実施（委託・運営支援）

ア　県内全域において円滑に事業を進めるため、紀南福祉人材バンクを設置し、職業紹介事業の窓口業務等を実施した。

イ　紀南福祉人材バンク運営協議会

期　日	３月１９日
会　場	田辺市民総合センター
運営委員	７名
議　題	・令和６年度運営状況について ・令和７年度事業計画について

ウ　福祉人材センター・バンク連絡会議

期　日	３月２６日
会場等	オンライン
議　題	・令和６年度事業実施状況について ・令和７年度事業について ・その他

（2）福祉・介護人材マッチング支援等

①　福祉・介護職場就職相談会等の実施

ア　福祉・介護・保育の就職フェア

福祉・介護・保育職場への就職希望者等を対象に、求人（予定）事業所との個別面談会を実施した。
また、福祉の仕事や資格取得に関する様々な相談にも応じた。

	第１回（紀北会場）	第２回（紀北会場）	第３回（紀北会場）
期　　日	７月６日	１１月５日	３月１８日
会　　場 （開催方法）	和歌山ビッグ愛 （対面・オンライン併用）	和歌山城ホール （対面）	和歌山ビッグ愛 （対面）
参 加 者	５９名	６８名	４１名
参加事業所	３４事業所	３４事業所	３２事業所
求 人 数	３３４名	４１７名	３７１名
採用・内定者	６名	７名	０名（3月31日現在）

	第１回（田辺会場）	第２回（新宮会場）	第３回（田辺会場）
期　　日	８月３日	１０月２７日	２月１日
会　　場 （開催方法）	ガーデンホテルハナヨ （対面・オンライン併用）	新宮市役所別館 （対面）	ビッグ・ユー （対面・オンライン併用）
参 加 者	４０名	４名	２９名
参加事業所	２６事業所	９事業所	２２事業所
求 人 数	１３９名	５２名	１１９名
採用・内定者	７名	１名	４名

イ　就職セミナーの開催（第１回就職フェア（紀北会場）内で開催）

第１回（和歌山市）	
期　　日	７月６日
会　　場	和歌山ビッグ愛
参 加 者	２０名
内　　容	講演：「乗り越えよう あなたの転機 ～がんばれるためのヒント～」 講師：わかやま就職支援センター はたらコーデわかやま　木本　孝志 氏

ウ　地域密着型就職説明会（介護助手就職相談会）の開催

介護未経験の中高年齢者等の入門的研修を和歌山県介護普及センターが行うのにあわせ、連携して就労までのマッチングを行った。

	和歌山市	田辺市	和歌山市
期　　日	7月6日	2月1日	3月18日
会　　場	和歌山ビッグ愛	ビッグ・ユー	和歌山ビッグ愛
来 場 者	8名	4名	9名
参加事業所	2事業所	1事業所	5事業所
求 人 数	6名	2名	9名
採用・内定者	1名	1名	0名（3月31日現在）
備　　考	第1回就職フェアと同時開催	第3回しごとフェアと同時開催	第3回就職フェアと同時開催

② 福祉・介護の仕事チャレンジ（職場体験事業）

ア 介護分野の仕事に関心のある学生・一般の方に対して、介護職場での体験の機会を提供。

・申込受付期間　　4月　1日（月）～　3月14日（金）

・体験実施期間　　4月15日（月）～　3月31日（月）

・受入事業所数

分　野	事業所数
高齢者福祉・介護	117
高齢者福祉・障害者福祉	11
障害者福祉	45
児童福祉	14
児童福祉・障害者福祉	21
児童福祉・高齢者福祉・障害者福祉	1
その他	0
計	209

・参加者数　19名（一般16名・学生3名）

・参加者の体験先施設

体験先種別	施設名	参加者数	延日数
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホームわかば	1	2
介護老人保健施設	和佐の里	1	3
	カルフール・ド・ルポ　海南	1	3
有料老人ホーム	なかや在宅一番館	1	1
	住宅型有料老人ホームいろは	1	1
	小春日和	1	1
通所介護	ぽぽろ紀ノ川デイサービスセンター	1	3
	より処デイサービス塩屋	1	1
	春風会わかのうらデイサービス	1	1
認知症対応型共同生活介護	グループホームさくらの丘	1	1
	グループホーム第六親和園	1	2
	グループホーム風の里	1	2
就労継続支援B型	ワークサポートいこう	1	1
	カノン	1	2
就労継続支援B型・生活介護	きのかわ共同作業所	1	2
認定こども園	新堀こども園	1	3
保育所	山の子共同保育園	1	3
	粉河保育園	1	2
	太陽保育園	1	3
計	19事業所	19	37

・事業の広報周知等

情報紙への掲載、学校へパンフレットの送付、就職フェア等により行った。

イ　体験終了後、福祉人材センターへの登録の案内等、介護分野への就労支援を行った。

・体験者の就労状況　（単位：人）

体験先に就職内定	５（０）
体験先とは別な介護サービス等事業所に就職	２（０）
福祉系大学・専門学校へ進学	０（０）
次学年へ進級	２（２）
介護分野以外に就職	０（０）
体験後も体験前と同じ所に在職(介護)	０（０）
体験後も体験前と同じ所に在職(介護以外)	０（０）
模索中である・回答待ち	１０（１）

※（　）内の数字は学生数

ウ　事業所への事前説明及び結果のフィードバック

・事業所への事前説明

受入依頼の時に、実施要項・受入申込要領等を送付し、事前説明とする。また併せて、実際の体験者受入時には、受入決定通知を送付後、電話にて書類内容と体験の事前説明を行った。

・結果のフィードバック

受入事業所に体験者報告のまとめを送付した。

③　福祉の職場見学会（バスツアー）

福祉職への新規参入及び就労意欲向上の支援を目的に介護未経験者の方、福祉の仕事に関心がある方を対象とした福祉の職場見学会（バスツアー）を実施した。

【紀北】

	第1回	第2回
期　日	１０月２８日	１１月１２日
場　所	デイサービスシルバーネスト 特別養護老人ホーム 大日山荘	デイサービスセンター ひだまり 特別養護老人ホーム 天美苑
参加者	5名	3名
施設見学後就職者	1名	1名

【紀南】

	第1回	第2回
期　日	8月２０日	9月7日
場　所	デイサービスセンター 自彊館 介護老人保健施設 自彊館	デイサービスセンター 南紀 介護老人保健施設 成華苑
参加者	4名	4名
施設見学後就職者	2名	0名

④　学校訪問、出前講座による人材の参入促進

ア　中学校・高等学校・支援学校への訪問

期　日	訪問先
6月２１日	きのくに青雲高校
7月２日	串本古座高校、新翔高校、みくまの支援学校
7月４日	熊野高校、はまゆう支援学校、神島高校、南紀高校、南部高校
7月８日	伊都中央高校、紀北工業高校、笠田高校、紀伊コスモス支援学校、箕島高校
7月９日	紀央館高校、日高高校、耐久高校
7月１０日	貴志川高校、県立和歌山高校、慶風高校、和歌山東高校

7月１１日	市立和歌山高校、和歌山北高校（北校舎・西校舎）、和歌山さくら支援学校、 きのくに青雲高校、田辺高校
7月１２日	紀北支援学校、和歌山大学教育学部附属特別支援学校、田辺工業高校
7月１９日	紀北農芸高校、粉河高校
８月６日	和歌山ろう学校、和歌山商業高校、和歌山工業高校
9月１７日	新翔高校、串本古座高校、新宮高校、近畿大学附属新宮高校、みくまの支援学校
1月１７日	南部高校
1月２０日	南紀高校、田辺高校、神島高校、田辺工業高校、熊野高校
2月１２日	伊都中央高校

イ　大学・短期大学・専門学校への訪問（電話等含む）

期　日	訪問先
6月４日	南海福祉看護専門学校、四天王寺大学、関西福祉科学大学、関西女子短期大学、 大阪千代田短期大学
6月５日	和歌山信愛大学、和歌山 YMCA 国際福祉専門学校
6月７日	桃山学院教育大学、大阪健康福祉短期大学、桃山学院大学、東大阪大学
6月２４日	和歌山コンピュータービジネス専門学校
6月２６日	和歌山信愛大学
１０月２日	和歌山 YMCA 国際福祉専門学校
１０月７日	和歌山信愛大学
１０月１０日	和歌山信愛女子短期大学、和歌山社会福祉専門学校
2月６日	和歌山 YMCA 国際福祉専門学校
2月１９日	関西福祉科学大学、四天王寺大学、東大阪大学
3月４日	和歌山信愛大学、和歌山社会福祉専門学校

ウ　福祉のしごと出前講座

期　日	訪問先	講　師
4月１０日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者８名）	和歌山県福祉人材センター
5月１１日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生１８名）	和歌山県福祉人材センター
5月１２日	KEG キャリアアカデミー和歌山 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生８名）	和歌山県福祉人材センター
5月１４日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者１３名）	和歌山県福祉人材センター
5月２６日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：田辺市（高校生９名）	老人保健施設あきつの
5月２９日	ハローワーク田辺 介護の就職セミナー（求職者１０名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク
6月６日	ハローワーク新宮 介護の就職セミナー（求職者６名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク
6月１１日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者８名）	和歌山県福祉人材センター
7月２日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者５名）	和歌山県福祉人材センター
7月１１日	介護労働安定センター （介護労働講習受講生３４名）	和歌山県福祉人材センター
7月２７日	株式会社K一NEXT（高校生２名）	和歌山県福祉人材センター

7月３１日	ハローワーク田辺 介護の就職セミナー（求職者９名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク
８月６日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者６名）	和歌山県福祉人材センター
８月８日	ハローワーク新宮 介護の就職セミナー（求職者５名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク
８月１６日	よつ葉福祉会（介護職員初任者研修受講生６名）	和歌山県福祉人材センター
８月２１日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生４名）	和歌山県福祉人材センター
９月１０日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者７名）	和歌山県福祉人材センター
９月１４日	パソコンスクール TAKumi（高校生３名）	和歌山県福祉人材センター
９月２７日	ハローワーク田辺 介護の就職セミナー（求職者５名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク
１０月５日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生１４名）	和歌山県福祉人材センター
１０月６日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生６名）	和歌山県福祉人材センター
１０月８日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者１０名）	和歌山県福祉人材センター
１０月１０日	ハローワーク田辺 介護の就職セミナー（求職者３名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク
１０月２１日	有田川町立吉備中学校（２年生１５３名）	和歌山県福祉人材センター
１１月６日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者１３名）	和歌山県福祉人材センター
１１月１４日	ハローワーク湯浅 介護の就職セミナー（求職者８名）	和歌山県福祉人材センター
１１月１５日	田辺市立新庄小学校（６年生２５名）	老人保健施設自彊館
１１月２１日	ハローワーク橋本 介護の就職セミナー（求職者１４名）	和歌山県福祉人材センター
１１月２２日	和歌山県立神島高校（３年生１０名）	老人保健施設あきつの
１１月２６日	田辺市立第二小学校（５年生５０名）	ケアーセンターひまわり
１１月２８日	ハローワーク田辺 介護の就職セミナー（求職者６名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク
１２月１０日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者６名）	和歌山県福祉人材センター
１２月１０日	和歌山県立南紀高校（１～４年生７０名）	認定こども園立正幼稚園
１２月１２日	ハローワーク新宮 介護の就職セミナー（求職者４名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク
１月１４日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者７名）	和歌山県福祉人材センター
１月２９日	ハローワーク田辺 介護の就職セミナー（求職者７名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク
２月７日	田辺市立中芳養小学校（６年生２０名）	グループホームなかはや
２月１３日	ハローワーク新宮 介護の就職セミナー（求職者２名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク
２月２１日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者８名）	和歌山県福祉人材センター

3月１１日	ハローワーク和歌山 介護の就職セミナー（求職者７名）	和歌山県福祉人材センター
3月１４日	ハローワーク田辺 介護の就職セミナー（求職者７名）	和歌山県介護福祉士会 紀南福祉人材バンク

⑤　求職者等への福祉の仕事 出張相談

各種イベントやハローワーク等に福祉人材センターのブースを設置するなどし、求人・求職にかかる相談、資格取得方法等にかかる相談に応じるとともに、福祉の仕事の広報、資料等を配布することで、福祉人材センター及び紀南福祉人材バンクの周知に努めた。

ア　各種イベントへの出張相談

各団体が実施する合同説明会や介護職員初任者研修の場で、「福祉のしごと相談コーナー」を設け、福祉の職場への就労促進と福祉人材センター・バンクのＰＲ等を行った。

期　日	場　所	相談件数
５月３日	Ｕターンフェア in 田辺（田辺市）	０
５月１５日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	１４
５月２２日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	７
７月３１日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	１０
８月１９日	第61回きのくに人材Ｕターンフェア（和歌山市）	１
８月２０日	第61回きのくに人材Ｕターンフェア（和歌山市）	１
９月１３日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	８
１０月３日	女性の就職応援フェア2024（和歌山市）	７
１０月１６日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	５
１０月２６日	橋本・伊都就職フェア（橋本市）	０
１０月２８日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	１４
１１月１８日	ハローワークかいなん（海南市）	１
１１月２１日	ハローワーク橋本（橋本市）	０
１２月５日	わかやま就職フェア（和歌山市）	３
１２月６日	ケアネット福祉学院本校（和歌山市）	３
１月１１日	田辺就職フェア（田辺市）	１
１月１７日	ハローワークかいなん（海南市）	３
２月１６日	ふれあい文化祭（田辺市）	０
２月２０日	介護・福祉・保育おしごと博 in 和歌山（和歌山市）	１１
３月６日	看護職員就職説明会（紀の川市）	０
３月１０日	第62回きのくに人材Ｕターンフェア（和歌山市）	０
３月１１日	第62回きのくに人材Ｕターンフェア（和歌山市）	２
３月１２日	看護職員就職説明会（新宮市）	０

イ　ハローワーク等への出張相談

ハローワーク等で、福祉の仕事内容や資格・就職活動の方法などの情報提供をし、人材のすそ野の拡大を進め、多様な人材の参入促進を図った。

出張先	実施日	実施回数	相談件数
ハローワーク和歌山	毎月　１回	１２	２２
ハローワーク御坊	奇数月の第３水曜日	６	７
ワークプラザ紀ノ川	奇数月の第２水曜日	６	６
ハローワーク田辺	奇数月　１回	６	２２
ハローワーク新宮	毎月　１回 ※4月は実施なし	１１	１１

⑥　福祉の仕事イメージアップ事業

ア　介護職のイメージアップ冊子の作成・配布
　中学生・高校生やその保護者、教員等向けガイドブック「『介護』という仕事」の作成

イ　県内高校出身者への情報提供

ウ　福祉関係ＤＶＤの貸出

月	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2	3	計
貸出数	9	1	3	1	0	0	0	0	3	2	0	0	１９
貸出人数	3	1	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	9

エ　各種広報媒体を活用した広報・啓発
・本会広報誌、ホームページ、SNS（Facebook、Instagram、LINE）への情報掲載

オ　「ふれあい人権フェスタ２０２４」における「介護の日」キャンペーン
　県社会福祉協議会・県福祉人材センターの合同ブースを設置した。

⑦　介護福祉士等の復職支援
ア　有資格者の届出システムの周知、届出システムによる情報提供
　離職した介護福祉士の福祉人材センターへの届出が努力義務となったことに伴い、現在就業中の方を含む介護福祉士、保育士、介護職員初任者研修修了者等の有資格者の生涯にわたる復職についての支援を福祉人材センターが行うことを目的とした全国共通の届出システムの登録・利用方法を周知した。また、届出システムによる情報提供を行った。
　届出者数　４２９名

イ　情報の提供
　平成２６年度及び２７年度実施のアンケート調査への回答者のうち、情報提供希望者に職場体験や就職フェア、再就職支援研修会等の情報を提供。年3回実施。
　（希望者数６９名［内訳：送付２０名、LINE４９名］）

⑧　介護未経験の中高年齢者等マッチングに関する求人情報の提供
　介護未経験の中高年齢者等の入門的研修及び介護助手就職相談会の広報を実施するとともに、マッチングに関する求人情報の提供を行った。

⑨　事業所訪問、求人マッチングに係る調整
　事業所訪問、求人マッチングに係る調整、求人開拓等のため、事業所を訪問した。
　訪問先延べ１０８事業所。

⑩　外国人介護人材受入支援
　介護職の外国人材拡大について研修会を開催し、受入事業所を支援した。
　外国人介護人材指導者養成研修会

	第1回	第2回
期　　日	１０月２５日	２月１８日
開催方法	オンライン	オンライン
参 加 者	４６名	４３名
内　　容	・講義「外国人介護人材とともに気持ちよく働ける職場環境づくり」	・講義「外国から介護職員を受け入れる際の心得について」 ・県内社会福祉施設における取組事例の紹介 ・現場で働く外国人介護職員へのインタビュー

⑪　資格取得に係る受験対策講座等（「福祉のしごと塾」）の実施

福祉資格の取得を目指す方々を対象に受験対策講座を紀南福祉人材バンクで実施した。

介護支援専門員実務研修受講試験 受験対策講座	
期　　日	７月１９日～９月１３日の間　計６回　午後７時～９時
会　　場	田辺市民総合センター　機能訓練室
参 加 者	１２名（受験番号届出７名、合格１名）

介護福祉士国家試験 受験対策講座	
期　　日	１１月１３日～１２月１８日の間　計６回　午後７時～９時
会　　場	よりみちサロンいおり
参 加 者	７名（受験番号届出３名、合格２名）

※　下記については、最低受講定員５名に満たなかったため、開講なし

社会福祉士国家試験 受験対策講座	
期　　日	１１月２１日～１２月１９日の間　計４回　午後７時～９時
会　　場	よりみちサロンいおり
参 加 者	０名

⑫　関係機関、団体等との連携

ア　全国・近畿ブロック会議等への参加

期　日	会議名	場所等
４月２２日 ～３月３１日	福祉人材情報システム研修（アーカイブ配信）	オンライン
４月１９日	福祉人材センター業務・法令研修	オンライン
７月１１日 ～１２日	福祉人材センター・バンク基幹職員会議	東京都
９月１９日 ～２０日	福祉人材センター全国連絡会議	東京都
１２月１０日 ～１１日	マッチング機能強化研修	東京都
１月２４日	近畿ブロック福祉人材センター連絡会議	奈良県
２月１８日	ブロック別マッチング機能強化研修会	奈良県

イ　関係機関・団体が開催する会議への参加

期　日	会議名	場所等
４月１６日	職業紹介責任者講習	大阪府
６月６日	和歌山労働局福祉人材確保対策推進協議会	和歌山市
１２月２０日	和歌山介護労働懇談会	和歌山市

（3）介護生産性向上総合相談センターの運営

①　相談窓口の設置

ア　介護事業所における業務効率化や業務改善等の生産性向上の取組を支援し、職員の業務負担の軽減を促すことにより、介護分野の魅力向上や介護人材確保につなげるため、介護事業所向けのワンストップ型相談窓口「和歌山県介護生産性向上総合相談センター」を開所し、６月１４日から相談受付等を開始した。

イ　事業所からの相談対応

a　相談対応

事業所等からの介護ロボットの活用やICT化による業務改善に関する相談受付等の対応を行った。

	相談対応件数
介護事業所	１２
介護ロボット等開発業者	4
その他	6
計	２２

b　事業所ヒアリング

事業所における介護生産性向上の取組状況について、４１事業所を訪問しヒアリング等を実施した。

事業所名	訪問回数
介護付有料老人ホーム・グループホーム　フローレンス三寿	1
特別養護老人ホーム　きしがわ園	1
特別養護老人ホーム　かぐのみ苑	1
地域密着型介護老人福祉施設　第五親和園	1
特別養護老人ホーム　黒潮園	1
特別養護老人ホーム　大日山荘	1
特別養護老人ホーム　ひかり苑	1
特別養護老人ホーム　カルフール・ド・ルポ印南	1
特別養護老人ホーム　古座川園	1
特別養護老人ホーム　ゆら博愛園	1
特別養護老人ホーム　白水園	1
特別養護老人ホーム　あんず苑	1
特別養護老人ホーム　天美苑	1
特別養護老人ホーム　岩出憩い園	1
介護老人保健施設　紀伊の里	1
特別養護老人ホーム　やすらぎ園	1
特別養護老人ホーム　竹の里園	1
特別養護老人ホーム　喜成会	1
介護老人保健施設　和佐の里	2
特別養護老人ホーム　白寿苑	1
老人保健施設　恵友サザンホーム	1
グループホーム　すこやか	1
特別養護老人ホーム　みどりが丘ホーム	1
特別養護老人ホーム　愛光園	1
特別養護老人ホーム　あさひ	1
特別養護老人ホーム　友愛苑	1
介護老人保健施設　グリーンガーデン橋本	1
特別養護老人ホーム　さくら苑	1
特別養護老人ホーム　愛の園	1
特別養護老人ホーム　真寿苑	1
特別養護老人ホーム　熊野本宮園	1
特別養護老人ホーム　白百合ホーム	1
特別養護老人ホーム　田鶴苑	1
特別養護老人ホーム　吉備苑	1
介護老人保健施設　クオリティライフ和歌山	1
特別養護老人ホーム　ほうらい苑	1
介護老人保健施設　光苑	1
訪問介護事業所　それいゆ	1
特別養護老人ホーム　日高博愛園	1
介護老人保健施設　けんゆう苑	1

事業所名	訪問回数
特別養護老人ホーム　白浜日置の郷	1
計	４２

② 生産性向上の取組促進に向けた伴走支援（アドバイザー派遣等）

介護現場の生産性向上を推進するため、事業所が抱える課題を抽出し、改善に向けた取組の提案や助言を行うとともに、必要に応じてアドバイザーの派遣や先進的な事業所の協力を得て、８事業所に対して延べ３３回訪問し、伴走支援を実施した。

事業所名	支援テーマ	支援結果
特別養護老人ホーム　美里園	ペーパーレス化	導入済
特別養護老人ホーム　かぐのみ苑	介護助手の導入	導入済
地域密着型介護老人福祉施設　第五親和園	介護助手の導入	導入済
特別養護老人ホーム　ひかり苑	文書作成業務の負担軽減	支援継続
特別養護老人ホーム　あんず苑	介護助手の導入	導入済
特別養護老人ホーム　竹の里園	介護助手の導入	支援継続
特別養護老人ホーム　南風園	介護記録ソフトの効果的な活用	支援継続
特別養護老人ホーム　大日山荘	生成ＡＩの活用	支援継続

③ 介護生産性向上推進にかかる勉強会・意見交換会の実施

ア 介護生産性向上推進にかかる勉強会・意見交換会

伴走支援実施事業所同士での情報共有、意見交換等を行い、介護現場における生産性向上の取組を普及するために開催した。

	第１回	第２回
期　　日	９月３０日	１月２１日
会　　場	和歌山城ホール	海南サクアス
参 加 者	６事業所　計１４名	６事業所　計１６名

イ 介護生産性向上推進セミナーの開催

業務改善を実践した事業所等からの実例を共有し、業務改善の意義と必要性及びその実践手法等について学び、各施設・事業所における生産性向上の取組を推進することを目的に開催した。

期　　日	２月１４日
開催方法	オンライン
参 加 者	４４名
内　　容	報告①　業務の棚卸しと介護助手導入 報告者：地域密着型介護老人福祉施設　第五親和園 報告②　ペーパーレス化の取組みと音声入力の試行 報告者：特別養護老人ホーム　美里園 講　義　「生産性向上の成功事例・失敗事例、生産性向上を取り組む上での工夫」 講　師：&Consulting Firm代表　沖本　崇　氏

④ 介護ロボット・ICT機器の紹介

介護ロボットや ICT のテクノロジーを活用した生産性向上の取組を行おうとする事業所からの相談に応じ、先進的に導入している事業所の見学を調整し、同行した。

⑤ 情報収集・提供

ア 中央管理事業への参加

a 各ブロックの担当者連絡会

期　日	会議名	場　所
１０月９日	都道府県各ブロック担当者連絡会議	大阪府

b　全国担当者連絡会

期　日	会議名	場　所
２月１９日	全国担当者連絡会議	オンライン

c　ワンストップ窓口向け勉強会（オンライン）

	期　日	内　容
第１回	６月２０日	中央管理事業について、政策動向について　等
第２回	７月１９日	相談窓口・センターの設置運営状況、事例紹介　等
第３回	８月２９日	相談窓口・センターの設置運営状況、介護テクノロジー補助金について　等
第４回	９月１９日	相談窓口・センターの設置運営状況、生産性向上推進体制加算について　等
第５回	１０月１７日	相談窓口・センターの設置運営状況、事業所の取組　等
第６回	１１月２１日	相談窓口・センターの設置運営状況、周知に向けた取組　等
第７回	１２月１９日	相談窓口・センターの設置運営状況、人材育成に関する取組　等
第８回	１月１６日	相談窓口・センターの設置運営状況、リビングラボ連携に関する取組　等
第９回	２月２０日	相談窓口・センターの設置運営状況、来年度事業に関する行政説明　等

d　伴走支援を行う企業等向け研修会（オンライン）

期　日	会議名
９月９日	介護現場における生産性向上の伴走支援を行う企業向け 第１回オンラインセミナー
２月１８日	介護現場における生産性向上の伴走支援を行う企業向け 第２回オンラインセミナー

e　相談窓口・リビングラボ　ネットワーク連絡会議への参加（オンライン）

	期　日	内　容
第１回	７月１６日	介護現場における生産性向上の推進について　等
第２回	３月５日	厚生労働省における介護ロボットに関する政策について　等

f　生産性向上の取組の普及・拡大に向けた介護事業所向けセミナーへの参加（オンライン）

期　日	セミナー名
７月１７日	生産性向上の取組の定着セミナー（ビギナーセミナー）
８月２８日	生産性向上の取組の定着セミナー（第１回フォローアップセミナー）
１０月１６日	生産性向上の取組の定着セミナー（第２回フォローアップセミナー）
１月１５日	生産性向上の取組の定着セミナー（第３回フォローアップセミナー）

g　その他会議等への参加

期　日	会 議 名	場所等
７月１０日	介護生産性向上にかかるパネルディスカッション	大阪府
９月２０日	「介護現場の生産性向上に関するダッシュボード」について	オンライン
１０月３０日	デジタル中核人材養成研修（１日目）	オンライン
１２月３日	デジタル中核人材養成研修（２日目）	オンライン
１月１０日	デジタル中核人材養成研修（３日目）	オンライン
３月１２日	介護現場における生産性向上推進フォーラム	オンライン

⑥　センターの広報

センター開所にあわせてホームページを作成した。また、和歌山県社会福祉協議会広報誌「福祉わかやま」へセンター開所の情報を掲載した。

（4）保育士人材確保事業　　※（　）内の数字は放課後児童クラブ人材確保事業実績数

①　潜在保育士の再就職に関する相談等

ア　相談件数

	新規就職	再就職	離職防止	その他	求人	計
紀北	２０	１０９	０	０	８９	２１８

	（2）	（１２）	（0）	（0）	（6）	（２０）
紀中	0 （2）	２０ （0）	1 （0）	1 （0）	１６ （0）	３８ （2）
紀南	9 （0）	７７ （１１）	1 （1）	3 （0）	７０ （１０）	１６０ （２２）
不明	3 （0）	7 （0）	0 （0）	0 （0）	0 （0）	１０ （0）
計	３２ （4）	２１３ （２３）	2 （1）	4 （0）	１７５ （１６）	４２６ （４４）

※「（1）福祉人材センター事業（福祉人材無料職業紹介事業等）」に記載の①ア表の内数

イ　保育士にかかる求人求職登録及び紹介・就職状況

	新規求人数	新規求職数	紹介・応募者数	採用・内定数
県全体	３０９	７３	１８	１７

※上表以外による保育士にかかる採用・内定者数１名

ウ　出張相談（相談件数）

場　所	ハローワーク 御坊	ワークプラザ 紀ノ川	ハローワーク 新宮	計
期　日	５月１５日 ７月１７日 ９月１８日 １１月２０日 １月１５日 ３月１９日	５月　８日 ７月１０日 ９月１１日 １１月１３日 １月　８日 ３月１２日	５月２１日 ７月１６日 ９月１７日 １１月１９日 １月２１日 ３月１８日	
計	５（0）	１（1）	１（0）	７（1）

エ　保育施設見学

保育士として就職を考えている方が保育所等の雰囲気を知る機会として随時受付。

訪問先・日時を調整し、見学者の希望により保育士等支援コーディネーターが同行した。

	件　数	うち同行件数
紀北・紀中	２２（1）	１３（1）
紀南	７（1）	７（1）
計	２９（2）	２０（2）

オ　潜在保育士の勉強会と仕事相談会

保育現場で活かせる知識の実技演習や再就職に向けての情報・意見交換と仕事に関する相談会を実施した。（紀南福祉人材バンク主催）

期　　日	６月２６日
会　　場	田辺市民総合センター
参 加 者	４名
内　　容	・勉強会（手遊び、保育の流れ、絵本紹介など） 講師：田辺市立元町保育所 下岡先生 田辺市立稲成保育所 安田先生 ・再就職に向けての情報・意見交換等 ・仕事相談会

カ　情報の提供

平成２６年度及び平成３０年度実施のアンケート調査への回答者のうち、情報提供希望者に職場体験や

就職フェア、再就職支援研修会等の情報を提供した。（希望者数５４名［内訳：送付８名、LINE４６名］）

② 保育士の定着支援に係る相談等

ア 保育施設訪問

保育施設及び市町村における保育士不足等現状把握の調査等を行った。

	公 立	私 立	合 計
紀北・紀中	２１（１８）	９３（１３）	１１４（３１）
紀南	６（ ４）	１１（ ２）	１７（ ６）
計	２７（２２）	１０４（１５）	１３１（３７）

③ 潜在保育士に対する再就職支援研修

ア 潜在保育士再就職支援研修会の開催

	紀北会場	紀南会場
期 日	９月１２日 ※紀南会場はサテライト会場として紀北会場の様子をライブ配信	
会 場	和歌山ビッグ愛	田辺市民総合センター
参 加 者	延べ１９名	延べ６名
内 容	講義: 「こどもの育ちを学ぼう！(保育所保育指針の内容と、こどもの発達過程を学ぶ)」 「こどもが好きな遊びって？(手遊びやペープサート等を使ってこどもと関わる)」 講師：大原情報医療保育専門学校和歌山校 非常勤講師 芝本 和華 氏	

④ その他

ア 各出張相談（県及び市町村主催）

［県福祉人材センター］

期 日	名 称	相談件数
８月１９日	第６１回きのくに人材Uターンフェア（和歌山市）	０（０）
８月２０日	第６１回きのくに人材Uターンフェア（和歌山市）	０（０）
１０月３日	女性の就職応援フェア２０２４（和歌山市）	３（０）
１０月２６日	伊都・橋本就職フェア（橋本市）	０（０）
１２月５日	わかやま就職フェア（和歌山市）	０（０）
１月１７日	ハローワークかいなん マザーズミニ面談会（海南市）	０（０）
３月１０日	第６２回きのくに人材Uターンフェア（和歌山市）	０（０）
３月１１日	第６２回きのくに人材Uターンフェア（和歌山市）	０（０）

［紀南福祉人材バンク］

期 日	名 称	相談件数
５月３日	紀南合同企業説明会Uターンフェアｉｎ田辺（田辺市）	０（０）
１月１１日	合同企業説明会田辺就職フェア（田辺市）	０（０）
２月１６日	ふれあい文化祭（田辺市）	０（０）

イ 大学・短期大学・専門学校への訪問

期 日	訪問先
６月４日	南海福祉看護専門学校、四天王寺大学、関西福祉科学大学、関西女子短期大学、大阪千代田短期大学
６月５日	和歌山信愛大学
６月２６日	和歌山信愛大学
１０月７日	和歌山信愛大学
１０月１０日	和歌山信愛女子短期大学
３月４日	和歌山信愛大学

ウ 保育のしごと出前講座

期　日	訪問先	講　師
１０月２１日	有田川町立吉備中学校（２年生１５３名）	和歌山県福祉人材センター
１２月１０日	和歌山県立南紀高校（１～４年生７０名）	認定こども園立正幼稚園

⑤　保育士・保育の現場魅力発信事業

ア　事業概要

保育士人材確保の課題解決に向けて、県内の保育施設(放課後児童クラブ含む)が展開する保育士人材確保・定着支援の取組を効果的に発信すること、また、県内で保育士職として就職を希望・検討している人に向けた情報発信を行うために、以下の取組を実施した。

・保育士・保育の現場の魅力発信動画制作
・保育士人材確保・定着支援に係るポータルサイト制作

イ　保育士・保育の現場の魅力発信動画制作

a　動画制作事業の募集

期　日	通知先	内　容
３月１５日 ～５月３１日	県内保育施設 212 件（保育所・こども園・地域型保育・特例保育）	応募要領、エントリーシート、プレゼンテーションシートを通知（県より通知）

b　第１回打合せ

期　日	場　所	参加者	内　容
６月　５日	和歌山信愛大学	学生１８名	県及び県社協から動画制作事業の趣旨や流れを説明

c　第２回打合せ

期　日	場　所	参加者	内　容
６月２６日	和歌山信愛大学	学生１６名	動画制作事業に応募した保育施設（以下「応募園」という。）８園の提出書類確認

d　応募園への質問及び回答動画収録

期　日	場　所	参加者	内　容
７月５日 ～ ７月２２日	オンライン	応募園８園	学生が考えた質問に対する応募園の回答を動画で収録

e　動画制作業者（以下、「業者」という。）選定のためのプロポーザル審査会

期　日	場　所	参加業者	内　容
７月２４日	県社協	８社	業者説明に基づき、１社選定

f　第３回打合せ

期　日	場　所	参加者	内　容
７月３１日	和歌山信愛大学	学生１６名	動画撮影園（以下「撮影園」という。）選定のための審査会実施 【撮影園】 ・社会福祉法人太陽福祉会 太陽保育園 ・社会福祉法人東洋会 とうようこども園 ・社会福祉法人和歌山ひまわり会 ひまわりこども園

g　業者と学生インタビュアーとの打合せ

期　日	場　所	参加者	内　容
８月３０日	オンライン	学生４名 業者２名	動画制作に関する主旨理解及び構成内容を検討

h　業者と撮影園との打合せ

期　日	場　所	参加者	内　容

９月１０日	とうようこども園	撮影園各職員２名 業者１名	動画制作に関する主旨理解及び構成内容を検討
９月１３日	ひまわりこども園 太陽保育園		

i　動画の構成内容の確認及び学生の出演カットを撮影

期　日	場　所	参加者	内　容
１０月７日	和歌山信愛大学	学生６名 業者２名	業者から、動画の構成内容の説明、学生の出演カットを撮影

j　撮影園との打合せ

期　日	場　所	参加者	内　容
１０月２日	オンライン	撮影園各職員１名 学生各２名	撮影に向けての事前打合せ
１０月１５日			
１０月１８日			

k　動画撮影、インタビュー実施

期　日	場　所	参加者	内　容
１０月２２日	太陽保育園	撮影園（職員・園児） 学生各２名 業者３名	各撮影園の撮影及び学生インタビュアーによるインタビュー実施
１０月２９日	とうようこども園		
１０月３０日	ひまわりこども園		

l　ナレーション収録

期　日	場　所	参加者	内　容
１２月９日	和歌山信愛大学	学生６名 業者１名	業者が編集した動画内容の確認、ナレーションの収録

m　動画完成披露試写会

期　日	場　所	参加者	内　容
１月２９日	和歌山信愛大学	大学職員・学生、業者１名	完成した動画をオンラインで各クラスに配信 学生インタビュアー4 名から、本事業に参加した感想等を伝えてもらう

ウ　保育士人材確保・定着支援に係るポータルサイト制作

a　主なコンテンツ

・保育施設及び放課後児童クラブの職務内容に関する情報
・保育士資格の取得方法など、保育士・放課後児童支援員として働く上で必要な情報
・県内の保育施設及び放課後児童クラブで働く上で活用できる制度に関する情報
・県内の保育施設及び放課後児童クラブの特徴がわかる施設検索機能
・県内の保育施設及び放課後児童クラブが取り組む保育や働く環境改善に向けた取組事例紹介（県内保育施設６園に取材実施）
・保育士・保育所支援センターの概要（センター利用者の事例紹介のため、県内保育施設３園に取材実施）
・相談対応用の問合せフォーム

b. ポータルサイトについて

名　称	開設日	ＵＲＬ
わかやま保育のひろば	令和７年４月１日	https://wakayama-hoiku-hiroba.jp/

（5）保育人材定着支援事業

保育士支援アドバイザー（社会保険労務士）を配置し、下記業務を行った。
（社会保険労務士雑賀輝正氏に委託）

- 保育士の労働環境改善（職員の勤務時間の改善や子育て中の保育士が多様な働き方を選択できる環境づくり、ICT 化の推進、書類作成の省力化、業務改善等）に係る保育所等への巡回訪問支援の実施
- その他保育士の労働環境改善に資する事業の実施

① 巡回訪問支援

事業所名	主な相談内容(▶：対応内容)	対応回数
ひまわりこども園 (和歌山市)	① 若手職員の定着が進まないので何をすべきか ② 行事内容を見直す方法が知りたい(「こどもが主体の保育」を主軸にした保育活動の展開方法等) ③ 保育業務の負担軽減を図りたい ▶当方で把握している先進事例など情報を提供	3
白浜町立白浜保育園 (白浜町)	① ０歳児の標準時間（7 時～17 時まで）と土曜日の受入に対応するため、職員のシフトを見直す方法が知りたい ▶現状のシフトの整理と保育補助者の活用に関する情報を提供	3
紀伊保育園 (和歌山市)	① 保育 ICT システムの導入を検討しているが、業者選定等について相談したい ▶当方で把握している先進事例など情報を提供	2
	計	8

② 保育人材定着支援事業の周知

令和４年度から実施している保育士の労働環境改善に関する巡回訪問支援の取組をまとめた事例集（令和５年度作成）を基に、下記研修会で説明を行った。(県と共同で実施)

令和６年度 幼稚園・保育所・認定こども園等関係職員合同研修「園長・１５年以上経験者等研修会」 (幼児教育の理解・発展推進事業)	
期　日	６月２８日
場　所	和歌山ビッグ愛
参加者	８９名
内　容	教育委員会義務教育課から県こども未来課が依頼を受け、標記研修会の行政説明内で「保育士定着支援事業」の取組を説明。 《説明概要》 １．保育士人材確保、保育人材定着支援事業の取組について説明【県】 ２．保育人材定着支援事業に係る事例集の概要説明【県社協】

③ 保育の情報発信事業「HOIKUSHI・縁」(LINE) ※令和４年７月より運用

現在、和歌山県内の保育施設で保育士として在職している方、又は目指している方を対象に、保育士職に関する情報をLINEにより配信した。

登録者数：１０６名　※うちブロック１７名

２　福祉人材の育成と定着の促進

(1) 研修ニーズの把握

① 社会福祉事業従事者に対するアンケート調査

各社会福祉施設等における、研修の取組状況及び研修ニーズを把握し、今後の研修事業を展開する上での基礎資料とすることを目的に実施した。

実施期日：８月２３日～９月２０日

調査対象：生活保護施設、老人福祉保健施設、介護保険事業所、障害者福祉施設、児童福祉施設、市町村社会福祉協議会

② 研修終了後の受講者に対するアンケート調査

各研修終了後、受講した研修科目の理解度や満足度等のほか、開催を希望する研修内容等を把握し、今後の研修の企画・運営の参考とすることを目的に実施した。

実施期日：随時（各研修終了時）

３　社会福祉事業従事者を育成するため、階層別・課題別・資格取得支援研修の充実、強化

（1）　階層別研修の実施

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容（※講師名敬称略）
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 初任者	7月30日 和歌山ビッグ愛	社会福祉施設等に勤務する入職後３年未満の職員等	52名	【講義・演習】 ・福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理の基礎を理解する ・組織の一員としてのフォロワーシップの醸成 （講師）和歌山県社会福祉協議会　職員 ・対人関係マナーと言葉遣い （講師）マナークライス代表、フリーアナウンサー　羽山　京子
	7月31日 和歌山ビッグ愛			【講義・演習】 ・初任者としての能力開発 ・業務を振り返り、問題解決の必要性を理解する ・福祉サービスとリスクマネジメント ・組織のなかでの多職種連携・協働 ・組織運営管理の基礎を知る ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定 （講師）和歌山県社会福祉協議会　職員
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 中堅職員	10月22日 和歌山ビッグ愛	社会福祉施設等に勤務する入職後概ね３～５年の職員等	31名	【講義・演習】 ・中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理の理解を深める ・中堅職員としてのフォロワーシップの醸成 ・チームケアと問題解決－遭遇要因分析 （講師）オフィスカナン　代表　山田　奈津美 ・人権「性の多様性を考える」 （講師）NPO法人チーム紀伊水道　理事長　倉嶋　麻理奈
	10月23日 和歌山ビッグ愛			【講義・演習】 ・中堅職員としての能力開発と後輩職員の指導 ・現在起きている問題を解決し、後輩職員をリードして取り組む ・利用者の尊厳を守る福祉サービスとリスクマネジメント ・他組織や地域の専門職との連携・協働 ・組織運営管理の理解促進と参画 ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定 （講師）オフィスカナン　代表　山田　奈津美
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 チームリーダー	令和7年 1月23日 和歌山ビッグ愛	社会福祉施設等に勤務し、現に主任・係長等に就いている職員 近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員	31名	【講義・演習】 ・チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理を推進する ・チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成 ・ＯＪＴの効果的推進 （講師）特定非営利活動法人ネオ　理事長　山下　眞史
	令和7年 1月24日 和歌山ビッグ愛			【講義・演習】 ・チームリーダーとしての能力開発とＯＪＴの推進 ・チームで問題解決に取り組み、その先頭に立つ ・サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント ・チームアプローチと多職種連携・地域協働の推進 ・組織運営管理への参画と協働 ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定 （講師）特定非営利活動法人ネオ　理事長　山下　眞史

（2）課題別研修[専門技術研修（従事者の知識と技術の向上をめざす）]の実施

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容（※講師名敬称略）
ファシリテーション研修	5月15日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	31名	【理論】ファシリテーションとは 【理論】ホワイトボード・ミーティング®の進め方 【実習】効果的な質問の方法 【実習】情報共有会議の進め方 【実習】課題解決会議の進め方 【実習】ケース会議の進め方 （講師）株式会社ひとまち　代表取締役 ホワイトボード・ミーティング®開発者 特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会 フェロー　ちょん　せいこ
福祉レクリエーション研修	5月21日 紀の国住宅東部コミュニティセンター	社会福祉事業従事者、再就職希望者	14名	【講義・実技】 「ひろげてつなぐ」福祉現場でのレクリエーション ・ひろげてつなぐ前のあそび【実技】 （内容）全員で身体を動かしてあそびます ・～ココロを耕す～【講義＋α】 （内容）空間と空気づくりのお話 ・～あるものを活かし組み合わせる～ワーク編～ （内容）道具を活かし、「使える」道具に変える時間 ・あそべるオトナ・はなせるオトナになるためのレクリエーション （内容）ただただ耳を傾け、想像する時間【ワーク＋α】 ・まとめ（講義） （講師）あそびの工房もくもく屋　事務局長 コミュニケーションデザイナー　田川　雅規
発達障がい児・者処遇研修	6月6日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者	25名	【講義】 ・発達障がいを知ってください ・問題行動のとらえ方を考える 【演習】 ・事例検討（グループワーク） （講師）和歌山県発達障害者支援センターポラリス 相談支援員　堀川　律子 相談支援員　栗山　嘉子
介護技術研修（基礎）	7月17日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	32名	【講義と実技】 ・基本的姿勢の必要性と介助方法 ・移動 ・食事 ・排泄 ・更衣 ・質疑応答 （講師）一般社団法人和歌山県介護福祉士会　会長　下垣内　雅巳
児童の権利擁護・虐待防止研修	9月5日 和歌山ビッグ愛	現に社会福祉事業に従事し、サービス提供においてリスクマネジメントを担当している、または今後担うことを期待されている方	22名	【講義】 権利擁護と児童虐待防止 （内容）リスクマネジメントの要である権利擁護について基本的なことを学ぶ機会とします。 【演習】 子どもが主体となる「良い支援」とは （内容）権利擁護の視点から具体的実践演習をとおして、日々の係わりの中での「良い支援」への気づきを促がし、今までの実践の振返りを行います。 （講師）社会福祉法人豊悠福祉会　障がい事業部長　油谷　佳典
高齢者の権利擁護・虐待防止研修	10月29日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者	32名	【講義】 ・権利擁護とは、虐待防止とは？ ・意思決定支援とは？ ・その他 【講義・演習】 ・グループワーク等 事例等を通じて権利擁護・虐待防止を考察する （講師）一般社団法人和歌山県社会福祉士会、ぱあとなあ和歌山 小長谷　恭史

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容（※講師名敬称略）
認知症ケア研修	10月31日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者	31名	【講義・演習】 認知症に関する基本知識 ・認知症施策について（認知症基本法） ・認知症の人について知る～その人としっかり向き合えているか～ 認知症の人へのアセスメントの重要性 ・アセスメントの必要性 ・その人を理解する～信頼関係の構築 事例演習 ・本人のニーズを知り、支援に繋げる まとめ （講師）社会福祉法人喜成会　高齢者総合ケアセンターみらい センター長　　長森　秀尊
感染症予防対策研修	11月7日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	60名	【講義・演習】 感染対策　いろはのい ～平常時の対策と発生したときの対応等について～ （講師）公立大学法人和歌山県立医科大学 看護キャリア開発センター　センター長　柳瀬　安芸
障がい者の権利擁護・虐待防止研修	11月13日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者	51名	【講義】 障がい者の虐待防止と権利擁護 【演習（グループワーク）】 日常支援に潜む虐待行為 （講師）一般社団法人和歌山県社会福祉士会 社会福祉士　廣井　英徳
社会福祉援助技術の基礎研修	12月11日 ビッグユー	社会福祉事業従事者、再就職希望者	中止	【アイスブレイク】 ・他己紹介 【ミニセッション】 ・相談面接の基本の「き」 【講義】 ・相談面接の価値と倫理 ・相談援助を行う職種の基本姿勢 【演習】 ・相談援助技術①　ペアワークによる導入演習 ・相談援助技術②　短い事例を使った相談援助技術の基礎の理解 （講師）社会福祉法人神愛会 特別養護老人ホーム愛の園 施設長 和歌山社会福祉専門学校 社会福祉科通信課程 非常勤講師 崎山　賢士
面接技法とアセスメント力の向上研修	12月18日 ビッグユー	社会福祉事業従事者、再就職希望者	中止	【ミニセッション】 ・他己紹介 【講義】 ・相談援助面接の価値と倫理 ・家族システムの理解とジェノグラムの使い方 【演習】 ・事例の写真を使ってアセスメントしてみよう ・ジェノグラムを使って家族アセスメントをやってみよう 【ふりかえり】 （講師）社会福祉法人神愛会 特別養護老人ホーム愛の園 施設長 和歌山社会福祉専門学校 社会福祉科通信課程 非常勤講師 崎山　賢士
医学・緊急時対応研修	令和7年2月12日 紀の国住宅東部コミュニティセンター	社会福祉事業従事者	29名	【講義】 ・急変とは、観察について ・一次救命処置 【演習】 ・一次救命処置、窒息時の対応 【講義】 ・症状の観察と対応 ・応急処置について （講師）和歌山県立医科大学附属病院 救急看護認定看護師　高野　裕子

（3）課題別研修[組織支援研修(組織全体の質を高める)]の実施

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容（※講師名敬称略）
福祉サービス接遇マナー研修（初任者向け）	4月25日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	28名	【講義・ロールプレイ】 ・社会福祉施設・事業所職員としての基本の心得 ・接遇マナーの必要性 ・相手を思う気持ちをカタチに代えて伝える ・伝えるとは ・コミュニケーションにおける基本的欲求 ・接遇で築く利用者様との信頼関係 ・福祉サービスの五段階 ・視覚的要素・聴覚的要素・感覚的要素 ・５段階サービスの応用 ・ビジネス畑の「ほうれんそう」を再認識・再確認 ・電話のマナー ・福祉現場での心配り１０ポイント （講師）マナークライス代表、フリーアナウンサー　羽山　京子
	5月29日 ビッグユー		29名	
質の高い仕事の進め方のノウハウを学ぶ！	6月27日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者	34名	【講義・ワークショップ】 1）質の高い報連相って何だろう？～“仕事の進め方”が上手な職員は、報連相が上手なワケ 2）“3つの方向”“3つの視点”“3つの深度”と真・報連相のレベル表 3）【事例ワーク】3つの視点で円滑な人間関係を築き、職場のチームワークを円滑にする ◇相手の視点　◇目的の視点　◇自己の視点 4）【事例ワーク】3つの深度で、情報の共有化を活発化させ、活き活きとした職場を実現する ◇深度1：事実情報の共有化 ◇深度2：意味（目的）の共有化 ◇深度3：考え方の波長の共有化 5）“中間報連相”の意味とは？どのような時に使うのか？　等 （講師）株式会社紀の州コンサルティング 代表取締役　濱田　智司
風通しのよい職場づくり研修（オンライン）	7月12日	社会福祉事業従事者	19名	【講義・演習】 ・受講皆さんの職場の風通し具合は？ ・何が問題なのか？ ・等和（とうわ）とは？ 【講義・演習】 風通しがよく、心理的安全性が高く、温かく、やる気がおきる職場づくりに向けて、ブレイクアウトルームでの少人数による等和の実践を通して、お互いに心を開き合い、存分に「風通しがよい」状態をつくりあげる実体験をしてみましょう！ （まとめ）等和で、互いに福祉の仕事も人生もWell-beingを！ （講師）尚絅学院大学人文社会学類　教授 問題解決ファシリテーター 「だがしや楽校(がっこう)」「等和」発案者　松田　道雄
アンガーマネジメント研修	8月8日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	43名	【講義・グループワーク】 ・アンガーマネジメントとは ・アンガーマネジメントの実践 ・伝わる怒り方 （講師）一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネジメントトレーニングプロフェッショナル 堀部　三智子
アサーティブコミュニケーション研修	8月16日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	35名	【講義・演習】 ・アサーティブとは？ ・コミュニケーションパターンのくせ ・アサーティブに頼む ・ほめる、ほめられる （講師）NPO法人アサーティブジャパン 会員トレーナー　堀部　三智子
社会福祉法人の会計研修（会場・オンライン併用）（初任者編）	9月3日 和歌山ビッグ愛	社会福祉法人施設に勤務及び社会福祉法人会計に携わっている方	中止	【講義】 経営管理実践のための社会福祉法人会計（入門編） ・社会福祉法人の有り様と会計 ・基本になる貸借対照表をまず理解しよう ・会計は“ダム”である ・建物は老朽化する・・ ・自法人の経理規程を見てみよう ・フローの計算書はなぜ2種類あるのか？ ・実際の計算書類はどうなっているの？ （講師）光吉直也税理士事務所　税理士 社会福祉士　光吉　直也

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容（※講師名敬称略）
社会福祉法人の会計研修（実務編）（会場・オンライン併用）	9月10日 和歌山ビッグ愛	社会福祉法人施設に勤務及び社会福祉法人会計に携わっている方	中止	【講義】 経営管理実践のための社会福祉法人会計（初級編） ・簿記・会計とは？ ・勘定科目 ・仕訳と転記 ・支払資金の取引 ・精算表 ・固定資産と減価償却 ・固定負債と引当金 ・フローの計算書はなぜ2種類あるのか？ ・実際の計算書類はどうなっているの？ ・基本金・国庫補助金等 ・決算 ・計算書類の種類と様式 ・復習とまとめ （講師）光吉直也税理士事務所　税理士 社会福祉士　光吉　直也
コーチング＋（プラス）研修	11月20日 和歌山ビッグ愛	社会福祉施設等に勤務し、現に主任・係長等に就いている職員	46名	【講義・演習】 人を育てるための様々な取り組みが実践されていますが、自分と相手の関係内だけではなかなか成果は現れません。 職場全体で人を育てるために、また教える立場の自分が育つために必要な基礎知識と、職場全体での実践の方法のエッセンスを参加者全員で考えます。 （学習項目）組織とは　やる気にさせるために必要なもの 人が学ぶ意味とは　等 （講師）オフィスカナン　代表　山田　奈津美
組織マネジメント基礎講座（オンライン）	11月27日	社会福祉施設等の施設・事業所における管理職以上の職にある方	8名	【講義・演習】 1.「経営・マネジメントの基礎を知る」 ①「組織をマネジメントする」が意味すること ②管理職は何を行い、どんな役割が期待されるのか 2.「福祉事業の特性と人材の動機づけ、コミュニケーション」 ①社会福祉施設が取り組む事業の特徴 ②部下とのコミュニケーションのポイント （講師）兵庫県立大学大学院社会科学研究科経営専門職専攻 教授　當間　克雄
	12月6日			【講義・演習】 1.「人材育成のための具体的なマネジメント手法」 ①1日目の振り返り（質問への回答） ②職場づくりのために理解しておきたい5つの視点 ③具体的なマネジメントの実践・分析手法を学ぶ 2.「部下の育成・学習を促進する目標設定」 ①管理職としての課題を明確にし、今後の行動目標をたてる ②2日間の振り返り・まとめ （講師）兵庫県立大学大学院社会科学研究科経営専門職専攻 教授　當間　克雄
カスタマーハラスメント対策研修	令和7年1月30日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	28名	【講義・グループワーク・個人ワーク】 1. はじめに 2. カスタマーハラスメントとは 3. ハラスメントの法的理解 4. カスタマーハラスメントの判断基準 5. カスタマーハラスメントとクレーマーの違い 6. 事例から考えるカスタマーハラスメント 7. 組織対策と管理上のポイント （講師）株式会社ユメコム　代表取締役　橋本　珠美
リスクマネジメント研修	令和7年2月13日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	30名	【講義・ワーク】 福祉介護の現場で起きる事故を知る ・事故事例のリストアップとカテゴリー分けによって、事故によるリスクマネジメントを学ぶ 【講義】 事故発生時の間違わない初動を学ぶ ・事故対応は、迅速に・正しく・すべて ～ 【講義・ワーク】 事故予防のためのリスクマネジメント ・KYTを使ったリスクの想定 ・リスク・アセスメント（リスクの発見） （講師）株式会社ユメコム　代表取締役　橋本　珠美
メンタルヘルス研修	令和7年2月27日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者	32名	【講義・演習】 ○ストレスマネジメントについて学ぶ ・ストレスの基礎知識を学ぶ ・自分自身のストレス反応について知る ・ストレス対処法を習得する、など ○業務上のストレスを考え解決のヒントを探る （講師）フェリアン　副所長　津村　薫

（4）資格取得支援研修の実施

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容（※講師名敬称略）
介護支援専門員試験対策勉強会Ⅰ（会場・オンライン併用）	8月20日 和歌山ビッグ愛	第27回（令和6年度）介護支援専門員実務研修受講試験　受験予定者	35名 （来場32名、オンライン3名）	出題傾向の分析と対策 ・介護支援分野 （講師）一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会 小長谷　恭史
介護支援専門員試験対策勉強会Ⅱ（会場・オンライン併用）	8月22日 和歌山ビッグ愛	第27回（令和6年度）介護支援専門員実務研修受講試験　受験予定者	31名 （来場29名、オンライン2名）	出題傾向の分析と対策 ・介護支援分野 ・保健医療福祉サービス分野 （講師）一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会 小長谷　恭史
介護支援専門員試験対策勉強会Ⅲ（会場・オンライン併用）	8月27日 和歌山ビッグ愛	第27回（令和6年度）介護支援専門員実務研修受講試験　受験予定者	30名 （来場28名、オンライン2名）	出題傾向の分析と対策 ・保健医療福祉サービス分野 ・その他 （講師）一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会 小長谷　恭史

4　介護支援専門員実務研修受講試験の実施

試験会場		申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数
紀 北	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛	411	35	376	103
紀 南	情報交流センタービッグ・ユー	135	11	124	36
計		546	46	500	139

(試験事務の概要)

時　期	内　容
5 月 27 日	受験の手引き配布開始
5 月 31 日	申込受付開始
6 月 21 日	申込受付終了
8 月 28 日	会場下見、打合せ（情報交流センタービッグ・ユー）
9 月 20 日	受験票、身体障害者等試験特別措置決定通知書の発送
9 月 24 日、25 日	試験監督員等事前説明会（紀北）
10 月 13 日	試験の実施
11 月 6 日	採点・合否判定
11 月 25 日	合格発表
随　時	受験資格等、照会応答

５　その他

（1）研修に関する周知・広報

① 研修パンフレットの作成

令和６年度実施予定の研修事業について、周知・広報を目的に「研修のご案内」パンフレットを作成し、県内福祉施設・事業所に送付した。

（2）関係機関・団体との連携

① 全国・近畿ブロック会議等への参加

期　　日	会 議 名	場 所 等
４月２０日 ～３月２９日	福祉人材情報システム研修会	オンライン
４月２１日	福祉人材センター業務・法令研修会	オンライン
９月２２日	福祉人材センター全国連絡会議	東京都
１０月３０日	近畿ブロック社会福祉研修実施機関連絡会議	京都府
１２月７日 ～８日	マッチング機能強化研修	東京都
１月１９日	近畿ブロック福祉人材センター連絡会議	滋賀県
１月３１日	保育士・保育所支援センター等実施福祉人材センター連絡会議	オンライン

～事項別報告～

Ⅳ 福祉介護サービス評価センター

≪福祉介護サービス評価センター≫

1　受審事業所数の拡大と評価の質の向上

（1）福祉サービス第三者評価事業

評価機関として、福祉サービスを提供する施設を対象に、サービスの質の向上を目的とした第三者評価を実施し、本年度9件の訪問調査を行った。平成24年度から3年ごとに第三者評価の受審が義務付けられている社会的養護関係施設について、8件の第三者評価を行った。

受審後の施設に対し、第三者評価結果を効果的に活用する事を目的として、利用者アンケート等を提案し支援に努めた。

① 実績

	施設名	種　別	定員	評価結果公表日
社会的養護関係	みらい	児童心理治療施設	30名	4月15日
社会的養護関係	旭学園	児童養護施設	36名	5月23日
社会的養護関係	白浜なぎさホーム	母子生活支援施設	20世帯	11月12日
社会的養護関係	こばと学園	児童養護施設	45名	12月12日
社会的養護関係	紀南学園	児童養護施設	30名	1月30日
福祉サービス関係	ともにー	就労継続支援A型	20名	2月21日
社会的養護関係	丹生学園	児童養護施設	36名	3月21日
社会的養護関係	くすのき	児童養護施設	18名	3月31日
社会的養護関係	和歌山すみれホーム	母子生活支援施設	40世帯	3月31日

② 施設への支援

社会的養護関係施設においては、評価のガイドラインについて説明を行った。

③ 評価調査者の登録状況及び質の向上

ア　評価調査者の登録数　評価調査者18名

イ　研修への参加

名称／主催	期　日	場　所	参加者	講師
令和6年度福祉サービス第三者評価事業評価調査者継続研修会／県福祉サービス第三者評価事業推進委員会　主催	2月12日	和歌山市	5名	1名
令和6年度社会的養護関係施設第三者評価事業「評価調査者」養成研修会／社会福祉法人全国社会福祉協議会　主催	3月3日～3日6日	東京都	1名	－

（2）地域密着型サービス外部評価事業

評価機関として、認知症対応型共同生活介護のサービスの質の向上の支援、利用者への情報提供に資することを目的に、本年度は23件の外部評価を行った。

① 実績

	事業所名	法人名	調査日
1	グループホーム友愛	(福) 皆楽園	4月25日
2	グループホーム第六親和園	(福) 親和園	4月23日
3	グループホームほたるの家	(福) 南紀白浜福祉会	4月26日
4	グループホームゆらり	(有) 響	5月27日
5	グループホームたんぽぽ	(株) 愛和	6月12日
6	愛光園第2グループホーム	(福) 愛光園	6月26日
7	愛光園グループホーム	(福) 愛光園	7月4日
8	春風会きし	(株) 春風会	8月22日
9	寿寿ソーラス	(福) 福美会	9月4日
10	フローレンス三寿	(福) 公風会	9月19日
11	わかうら園第２グループホーム	(福) わかうら会	9月27日
12	わかうら園第１グループホーム	(福) わかうら会	10月3日
13	グループホームアネックスパル	(株) イクロス	10月10日
14	医療法人恵友会認知症対応型共同生活介護事業所グループホームなぎの家恵友	(医) 恵友会	11月1日
15	グループホームすこやか	(福) 三田福祉会	11月18日
16	グループホーム向日葵倶楽部	(福) 和歌山ひまわり会	12月10日
17	グループホームぷすぷす	(福) 河西福祉会	1月14日
18	グループホームささゆり	(福) きしゅう福祉会 ささゆり	1月16日
19	グループホームあんず	(福) 東和歌山福祉会	1月28日
20	グループホームサニーワン	(福) 紀成福祉会	2月18日
21	グループホーム下湯川苑	(福) 熊野福祉会	2月18日
22	グループホーム海南ささゆり２	(有) ささゆり	2月18日
23	グループホームひまわり	(有) プライムタイム	3月11日

② 評価調査者の登録状況

ア 評価調査者の登録数 評価調査者18名

イ 研修会の開催

名称/主催	期 日	場 所	参加者
令和6年度外部評価調査員フォローアップ研修会 /県社会福祉士会との共催	12月7日	和歌山市	参加希望者1名のため、中止
令和6年度和歌山県地域密着型サービス外部評価調査員新規養成研修／株式会社第三者評価機構（県介護サービス指導課指定機関）	① 12月4日～2日15日 ② 1月22日	① オンライン参加 ② 和歌山市	4名

～事項別報告～

Ⅴ 福祉サービス運営適正化委員会

≪和歌山県福祉サービス運営適正化委員会≫

1　和歌山県福祉サービス運営適正化委員会の組織・委員等

【和歌山県福祉サービス運営適正化委員会：委員 12 名】
・福祉サービスに関する利用者等からの苦情相談を受け付け、適切な解決を図る。
・福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）の適正な運営を確保する。

○事務局
・苦情相談の第一次受付
・研修、調査研究活動
・広報啓発活動
・その他委員会事務

【苦情解決合議体：委員 5 名】
・福祉サービスに関する利用者等からの苦情を解決するための相談助言、事情調査、あっせん、並びに虐待や重大な法令違反については県知事への通知を行う。

【運営監視合議体：委員 7 名】
・福祉サービス利用援助事業の透明性、公正性を確保するため、事業実施主体（県社協及び受託市町村社協）の運営を監視し、必要な調査、助言、勧告を行う。

【和歌山県福祉サービス運営適正化委員会委員構成】（令和 7 年 3 月現在）

委員長：◎　副委員長：○

分野			氏名	所属等	合議体 苦	合議体 運
社会福祉に関する学識経験者	公益代表	◎	栗山　隆博	元 県社会福祉協議会	◇	
			星野佳世子	社会福祉士・精神保健福祉士	◇	
			奥村里枝子	県民生委員児童委員協議会	◇	
			井溪　芳市	県民生委員児童委員協議会		◇
	福祉サービス利用援助事業の対象者を支援する団体の代表		大畠　信雄	県精神保健福祉家族会連合会		◇
			梅本　靖子	公益社団法人認知症の人と家族の会和歌山県支部		◇
	福祉サービス提供者代表		米川　徳昭	県共同作業所連絡会		◇
			竹中　昭美	県老人福祉施設協議会		◇
法律に関する学識経験者			内川真由美	弁護士	◎	
		○	本田　壽秀	公認会計士・税理士		◎
医療に関する学識経験者			野村　繁雄	医師		○
			東　直子	和歌山県看護協会	○	

≪任期≫令和 6 年 8 月 10 日～令和 8 年 8 月 9 日

苦：苦情解決合議体　運：運営監視合議体
◎：合議体長 ○：職務代理者 ◇：委員

【県福祉サービス運営適正化委員会選考委員会】（令和 7 年 3 月現在）

委員長：◎　副委員長：○

分野		氏名	所属
公益代表	◎	岡本　美智子	県民生委員児童委員協議会
	○	新解　美紀	県福祉保健部福祉保健政策局
福祉サービス利用者代表		西井　幸男	県身体障害者連盟
		（欠員）	
社会福祉事業経営者代表		森田　昌伸	県社会福祉法人経営者協議会
		林　保行	県市町村社協連絡協議会

≪任期≫令和 6 年 7 月 8 日～令和 8 年 7 月 7 日

2　福祉サービス運営適正化委員会（全体会議）の開催

回	月　日	出席委員	場　所	内　　容
1	9 月 3 日	12 名	和歌山市	（1）令和 5 年度事業報告を承認した。 （2）令和 6 年度事業計画を確認した。

3　福祉サービスに関する苦情への対応

（1）苦情解決合議体の開催

苦情解決合議体を開催し、福祉サービスに関する苦情への対応協議等を行った。

①　苦情解決合議体の開催

回	月　日	出席委員	場　所	内　　容
1	5 月 21 日	4 名	和歌山市	・令和 5 年度及び 6 年度の苦情相談受付状況（4 月末現在）を確認した。 ・受付の苦情の対応を協議及び確認した。
2	7 月 16 日	4 名	和歌山市	・令和 6 年度苦情相談受付状況（6 月末現在）を確認した。 ・受付の苦情の対応を協議及び確認した。
3	9 月 3 日	5 名	和歌山市	・令和 6 年度苦情相談受付状況（8 月末現在） ・受付の苦情の対応を協議及び確認した。
4	11 月 13 日	3 名	和歌山市	・令和 6 年度苦情相談受付状況（10 月末現在） ・受付の苦情の対応を協議及び確認した。
5	1 月 21 日	5 名	和歌山市	・令和 6 年度苦情相談受付状況（12 月末現在） ・受付の苦情の対応を協議及び確認した。
6	令和 7 年 3 月 18 日	5 名	和歌山市	・令和 6 年度苦情相談受付状況（2 月末現在） ・受付の苦情の対応を協議及び確認した。 ・令和 7 年度年間日程（案）を承認した。

②　苦情等の受付状況（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）

ア 苦情等の受付件数（単位：件）

	件数	高齢者	障害者	児童	その他
苦情	60	16	34	7	3
問合せ	22	7	6	2	0

イ 月別苦情等受付件数（単位：件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
苦情	11	13	3	7	1	5	7	3	2	1	3	4	60
問合せ	2	0	1	2	1	0	0	4	1	3	4	4	22

ウ 苦情受付方法（単位：件）

	来所	電話	文書	FAX	E メール	その他	合計
苦情	1	45	3	0	11	0	60

エ 苦情申出人の属性（単位：件）

	苦情／相談					
	利用者	家族	代理人	職員	その他	合計
高齢者	2	5	0	6	3	16
障害者	27	4	1	1	1	34
児　童	0	6	0	0	1	7
その他	3	0	0	0	0	3
合　計	32	15	1	7	5	60

オ 苦情内容・解決結果【苦情として受け付けた 60 件の内訳】（単位：件）

	相談助言	紹介	あっせん	県へ通知	その他		継続中	意見	合計
					調査・申入れ	中断・取下等			
職員の接遇	14	0	0	0	0	0	0	0	14
サービスの質や量	10	0	0	0	0	0	0	0	10
利用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
説明・情報提供	5	0	0	0	0	0	0	0	5
被害・損害	1	0	0	0	0	0	0	0	1
権利侵害	9	0	0	0	0	0	0	0	9
その他	22	0	0	0	0	0	0	0	22
合計	60	0	0	0	0	0	0	0	60

カ　事情調査等の実施

苦情　　60 件のうち、事務局による事業者への面接調査実施　2 件
事業者への聞き取り(電話のみ)　　58 件

キ 県福祉サービス運営適正化委員会　苦情相談受付状況（単位：件）

	R2	R3	R4	R5	R6
高齢者	26	20	23	27	16
障害者	57	62	68	59	34
児　童	8	10	5	6	7
その他	17	13	17	18	3
合　計	108	105	113	110	60

（2）広報・啓発活動

苦情解決事業について、利用者及び福祉サービス事業者等に対して幅広く周知を図るため、ポスター配布等を行った。

① 事業概要、事業報告のインターネット掲載

和歌山県社会福祉協議会ホームページ（http://www.wakayamakenshakyo.or.jp/）において、和歌山県福祉サービス運営適正化委員会のページを更新し、広報啓発・情報提供に努めた。

② 広報紙への掲載

和歌山県社会福祉協議会広報紙「福祉わかやま」(月 10,000 部発行)を活用し、”苦情解決のツボ”と題してコラム等を掲載した。

③ ポスターの配布

福祉サービス事業所内で苦情解決体制を掲示するためのポスターを希望事業所へ配布した。

（3）関係機関等との連携

① 和歌山県人権相談ネットワーク協議会（県人権政策課）への参加

月　日	場　所	内容概要
6 月 13 日	和歌山市	「相談対応の方法について」 講師　臨床心理士・公認心理師・シニア産業カウンセラー 北　かずみ氏
令和 7 年 2 月 4 日	動画配信	子どもの人権 講師　弁護士　伊藤　あすみ　氏

②県民生委員児童委員協議会での説明

月　日	場　所	出席者	内容概要
令和 7 年 2 月 28 日	和歌山市	事務局 1 名	令和 4 年の一斉改選以降に委嘱された新任民生委員･児童委員を対象に開催された研修会で、和歌山県福祉サービス運営適正化委員会（福祉サービスの苦情解決）について説明を行うとともに協力を依頼した。

4　苦情解決システムの機能強化

（1）研修等の実施

社会福祉事業の経営者等に対して、苦情解決体制が円滑に機能するように研修会の開催等を行った。

① 福祉サービス苦情解決研修会の実施

令和 6 年度　福祉サービス苦情解決研修会「苦情対応力研修」

＜講師＞　株式会社ユメコム　代表取締役　橋本　珠美　氏

月　日	場　所	参加人数	参加対象
11 月 8 日	和歌山市	61 名	社会福祉施設・社会福祉事業所で事業者から選任された第三者委員、苦情解決責任者、苦情受付担当者、管理者等

② 出前講座の実施

福祉サービス事業所の職員や第三者委員が、苦情解決を適切に行えるよう、福祉サービス事業所等が主催する研修会（職員研修等）に福祉サービス運営適正化委員会事務局の職員が出向き、苦情解決の仕組みなどのテーマに沿って、一緒に考え助言等を行った。

・実施　　計 2 事業所

（2）巡回訪問の実施

福祉サービス事業者の自主的な苦情解決が適切に行われるよう、その体制整備についての相談・助言を目的に巡回訪問を実施した。

・実施　　計 2 事業所

5　福祉サービス利用援助事業の運営監視

（1）運営監視合議体の開催

運営監視合議体を開催し、実施主体から福祉サービス利用援助事業について報告を受けるとともに、現地調査結果による助言等の協議を行った。

回	月　日	出席委員	場　所	内　　容
1	9 月 3 日	7 名	和歌山市	・令和 5 年度運営監視合議体現地調査に基づく勧告・助言に対する回答を実施主体から聴取した。 ・令和 5 年度日常生活自立支援事業の実績報告を聴取した。 ・令和 6 年度運営監視合議体現地調査の実施について

回	月　日	出席委員	場　所	内　　容
				審議した。
2	3月4日	7名	和歌山市	・令和6年度「現地調査」の調査結果及び助言等文書通知事項について審議した。 ・令和7年度「運営監視合議体」事業計画を承認した。

（2）現地調査及び助言等

福祉サービス利用援助事業全般の監視を行い、現地調査及び助言を行った。

① 現地調査の実施

調　査　先	現地調査 月　日	出席 委員	予備調査 月　日	内　　容
海南市社会福祉協議会	10月29日	5名	9月11日	【事前調査事項】 ・ 事業実施体制、広報活動等の状況、契約および相談の状況 【現地調査事項】 ・相談状況や処理状況、課題、要望等の聞き取り ・利用者各ケースについて、契約書、ケース記録、書類等預かり書記載事項実物照合（貸金庫及び事務所金庫内） 令和４年度に勧告した「実施主体である県社会福祉協議会による委託先に対する業務監督の実施」が履行され、これに併せて、事務局による予備調査を実施のうえ、委員による現地調査を実施した。 また、現地調査対象のうち５町村社会福祉協議会については、事務局による予備調査をもって現地調査に代えることとした。
上富田町社会福祉協議会	10月30日	3名	9月26日	
広川町社会福祉協議会	11月26日	4名	8月27日	
かつらぎ町社会福祉協議会	11月28日	3名	6月28日	
有田市社会福祉協議会	12月4日	4名	9月9日	
有田川町社会福祉協議会	12月13日	4名	8月30日	
すさみ町社会福祉協議会	―	―	7月4日	
北山村社会福祉協議会	―	―	7月5日	
古座川町社会福祉協議会	―	―	7月5日	
白浜町社会福祉協議会	―	―	7月30日	
美浜町社会福祉協議会	―	―	8月2日	

②現地調査を行った社協に対する勧告・助言

現地調査の結果を踏まえ、県社協に対し通知し、是正を求めた。

社　協　名	勧　告	助　言
和歌山県社会福祉協議会	―	4 件

助言内容について

(1)　実施主体（社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会）への助言

①　委託先の業務について指摘があった各事項（別添資料１）について、全委託先に対し周知・徹底を図られたい。

②　①について、指摘を受けた委託先それぞれの改善状況をとりまとめ、報告されたい。

③　実施主体の業務及び委託先からの要望（別添資料 2）について、実施主体として対策を講じられたい。

④　実施主体による委託先に対する業務監督を継続し、令和 7 年度実施計画を提示されたい。

1　委託先の業務について　　別添資料１

前年度指摘	改善指摘事項	
	1	代筆立会証明書の作成をすること。
	2	日常的金銭管理にかかる通帳は残高 50 万円以下とすること。
○	3	支援計画評価票は、6 か月ごとに作成し、6 か月毎の通帳記帳面のコピーを裏面に添付すること。
○	4	支援計画書の返却先（氏名・住所）の記載を徹底すること。
	5	援助実施記録を作成すること。
○	6	援助実施記録は、複数人でチェックすること。
○	7	日常的金銭管理にかかる現金保管にあたっては、現金出納帳を整備すること。
	8	現金出納帳には、利用者の署名押印が必要であること。
○	9	払戻・支払依頼書に領収書の添付漏れがないこと。（本事業利用料の領収書等）
	10	入金依頼書（兼報告書）を作成すること。
	11	入金依頼書（兼報告書）に通帳のコピーの添付漏れがないこと。
	12	代筆者の（所属）署名・押印の漏れがないこと。
○	13	書類当預かり書の作成を徹底すること及び項目に変更がある場合は更新すること。
○	14	「書類等預かり書」には合算ではなく、それぞれ記載すること。
	15	書類等預かり書の変更に伴う返還依頼書・返還受取書を作成すること。
○	16	貸金庫で預かる定期預金等の残高確認及び自動継続の記帳を行うこと。
	17	死亡している人の通帳が利用者の預かり物になっている。相続手続きの支援が長引くことが予想されるため、随時県社協へ報告すること。

2　実施主体の業務について

・社協の金庫で預かっている日白の通帳の金額が 100 万円を超えるとことが増えてきているため、今後どうするか県社協の方向性を決められたい。

・援助実施記録に係る様式及び当該様式に記載する情報の統一を図られたい。また、様式についてはなるべく簡便なものとされたい。

・契約件数の増加や支援内容の変化に対応できるよう、財源の確保に努められたい。

・行政との役割分担で問題を抱えている社協があるため、県社協として行政に理解を求める努力をされたい。

3　委託先からの要望について

令和 6 年度から、利用終了後書類等の返却先がない場合、10 年間保管後に処分できるようになったが、10 年後も同じ担当者がいるとは限らないので、10 年経ったらシステム上わかるようにしてほしい。

６　福祉サービス運営適正化委員会全般にかかる事業の実施

（1）都道府県運営適正化委員会との連携

① 都道府県運営適正化委員会相談員研修会

月　日	場　所	参　加　者
10 月 31 日～11 月 1 日	東京都	本会事務局 1 名

② 近畿ブロック運営適正化委員会事務局担当者会議

月　日	場　所	参　加　者
令和 7 年 1 月 28 日	奈良県	本会事務局 1 名